

令和8年度

同仁

社会福祉法人 同仁会

事業概要



つくば香風寮 分園型小規模グループケア施設「はるかぜ」

はじめに

令和7年度はつくば香風寮の分園型小規模グループケア施設の新築工事が完了し、施設の地域分散化が実現しました。このことにより、今後の課題としては、唯一地域分散化が実現していない同仁会子どもホームの施設整備をどのようにしていくかということです。また、将来的に同仁東保育園の園児数の減少が予測される中、特色ある保育園づくりを目指して病児保育事業の開設や保育メニューの多様化を検討してまいりました。

令和8年度はつくば香風寮の分園施設の開始、同仁会子どもホームの機能強化の検討、里親委託率の上昇により入所率の減少が懸念される乳児院の多機能化の検討、昨年度に引き続き、里親支援センターの開設に向けた検討を行ってまいります。

また、通所施設においては、同仁東保育園の病児保育棟の建設を行い、年度内の事業開始を予定しています。くれよんクラブ高萩では、昨年度開始した居宅訪問型児童発達支援事業の広報活動や保育所等訪問支援事業のさらなる拡大に取り組みます。ゆうゆうクラブにおいても、親支援に力を注いでまいります。

このように各施設の機能を向上させながら、国や県動向を見据えて事業を展開していく所存です。しかし、これらの事業を推進していくには、職員の資質と専門性の向上が不可欠です。引き続き、研修の充実や処遇の改善に努めてまいります。

同仁会の主人公は子どもです。未来ある子どもたちのために働けることは素晴らしいことだと思います。一人ひとりが「生まれてきてよかった」と思える社会にしていくなために何ができるのか、これからも探究していきたいと思えます。

今後とも、どうぞこの同仁会の活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

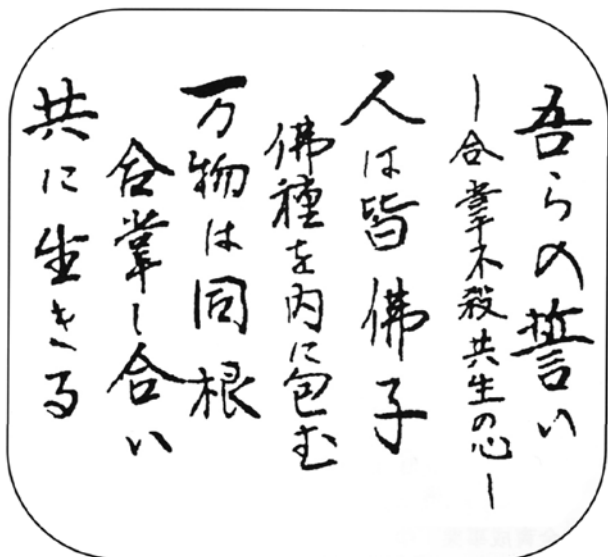
令和 8年 6月18日

理事長 塩澤 幸一

目 次

はじめに

綱領・年間目標・経営基本方針	1
1 施設の概要	8
2 法人の沿革	10
3 令和8年度経営計画	14
4 役員、評議員及び施設長等	14
5 組織及び職員の配置	15
6 法人の運営	17
7 部門別運営計画及び令和8年度の状況	31
1. 同仁会児童家庭支援センター	31
2. 児童家庭支援センター あいびー	35
3. 発達障害者支援センター COLORSつくば	38
4. 同仁会地域子育て支援センター	40
5. 保育所型認定こども園 同仁東保育園	45
6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ	50
7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩	53
8. 児童養護施設 臨海学園	56
9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム	64
10. 児童養護施設 内原和敬寮	71
11. 児童養護施設 つくば香風寮	79
12. 乳児院 同仁会乳児院	87
13. 乳児院 さくらの森乳児院	95
14. 児童心理治療施設 内原深敬寮	103
8 令和8年度収支予算書及び令和7年度決算の状況	111



創設者理事長 遠藤 光静 書

綱 領

『合掌深敬の心』

三つの誓い

ふ	せ	(あ	よ	を	ま
布	施	与	える	悦	び	を
持	戒	己	の	誓	い	を
智	慧	豊	かな	精	神	を

大自然は“共生”の大原則のもと、それ自体の摂理と自浄作用により全体のバランスを保ち生存維持の営みを続けている。

人間も自然の一部として、この生の営みの埒外ではない。この事は自然保護や環境保全が新しい現代の人間課題として登場してきた現実に照らしても自明である。

“釈迦牟尼”－仏陀の教示する不殺生の戒は、現代的にはこの共生の原理に当るものである。また所謂、共存や生命尊重も以上の事を踏まえたうえでの論理に立つものである。とりわけ、生命尊重は何人も仏性（己を高めたい願望）を内蔵する故に尊く、また人間の仏教的生きる使命は、その内なる能力開発（仏性開顕）にあると訓されている。福祉が人間の幸福課題を希う実践であろうとする限り、その人間課題の深い部位で、仏陀の覚り得たものと密に弧を接する群類にあると言える。

本会はこのような基本理念に立ち、福祉の実践を目指すものである。関係者一同、この共通理解に立ち職分を自覚し、異体同心にその担い手として社会福祉の一隅を照らそう。

－ 年 間 目 標 －

四月 合掌聞法 — 最高の聞き耳を持つ —

話を聞くのに一番大切な事は、関心のある心のベースがある事が物事をよく聞き取る基である。聞法の「法」とは仏教哲学の教える規範、「人はいかに生くべきか」の教を指す。本当は、この事が「生きる」と言う生命を持続している限り第一の関心事である筈だ。

この心構えで話を聞けば、何事も自分の生きる糧とならないものはなく、有り難い事である。限りある人生の中で、見聞き得た事が勉強となるなら、全て合掌感謝とならなくてはならない。私も子供に法を聞く者である。

五月 持戒和合 — きまりを守る —

客体的な戒としては法律があるが、ここで言う「戒」は主体的戒を指します。客体的集団規制の掟以前の人の生き態に係る、自分が自分に課する戒の事です。速度を高くすればする程、それに対応する制禦が働かない事には実用に役立たない。人間も地位・立場に相応する自己制禦のブレーキが必要である。それを生涯の戒とする人は、立派な人生と言える。和合は実は内なる盲目の自己と自己制禦の葛藤の上に支えられる至宝である。

六月 生命尊重 — 全ての物の生命を大切にする —

宇宙は一体・全体が連鎖集合の生命体、人間を頂点とする生命体の連鎖生滅、弱肉強食の上に生命が維持されている。

殊に人間の生命は、宇宙の最高の生命顕現として、覚者—仏性—たる可能性を持つ故に尊厳である。それ故、全生命系の支配と同時に護り育てる責任がある。全てをその本来のいのちの如く、完全に自己実現できるよう祈らねばならない。

七月 布施奉仕 — 社会に喜ばれる —

グローバルな生態系の中で、生物は相互に食い合う連鎖関係で生きて居ります。人間だけが食われる連鎖から解放され、色々の生命体を食って生きて居ります。意識して与える事のできるのは人間のみです。その事を踏まえての奉仕の心です。大乘仏教の布施行は、意識して他に与え、みかえりを求めない修行です。

「財 施」 無償の金品施与の行です。心がければ誰でもできます。それでも「あんなにしてやったのに」と愚痴るもの、求めない事は至難の技です。

「法 施」 人間の生き態、ものの道理を教えてあげる、心の糧を与えられる人は幸せです。

「無畏施」 危難や生死の関頭に立って安祥として対処できる悟道を与える事、凡人のできない事です。身体で、口で、意で常に心掛ける事が大切です。

八月 自利利他 — 相手の立場を考える —

仏教は物の道理を教える理論を持って居ります。「因縁」と言う言葉がそれです。よく「袖ふれ合うも多生の縁」等と言います。物事は全て因が先ず有って、それが縁にふれ果が生じ、その果がまた第二因となって、縁にふれ第二果を生む、連鎖して無尽の相関関係の世界を展開します。

人と人の結び付きも無尽世界そのものです。その中で本能的に生きる限り、誰もが自利を追求するのは当然です。

だが人間相互の係りは、自利が利他になる様な積算が成立しない限り、個と個は結ばれる事はありません。自利とは利他によって与えられたものです。この事を踏まえて、自利を得る「受け皿」をつくる事が先決です。

「利他行」 他^{りたぎょう}の為にお役に立つ心掛けは、社会生活の基本です。利他行なくして得たものは、本当の自分のものでなく、一時預りのようなものです。

九月 報恩感謝 — 有難うと心から言える —

マスコミ情報^{うず}の渦、騒忙^{そうぼう}の日々の中では、自己凝視^{ぎょうし}とは縁遠いものとなりました。今日只今、此処^{こんにちただいま}に存生^{ぞんじょう}する自己を凝視^{ぎょうし}することを仏教^{きび}は厳しく教えて居ります。親ありて、師ありて、友人ありて、郷土故国ありて、親、師、衆生^{しゅうじょう}、国土^{こくど}の四恩^{しおん}を掲げて居ります。

人間だけができる自己^{めぐ}を環る凝視^{めく}の深い温もりと、ほのぼのとした感謝^{じょうねん}の情念^{じょうねん}です。生命のルーツ、育ての親、学習し得た師友先輩、自然の山河、国土風俗等、どれを取っても自分を養い^{はぐく}育^いんでくれた大自然の営^{いとな}みです。一つ一つの反省点検^{むしやうきょうじゅ}を経て、無償^{むじやう}享受^{じやうじゆ}の施与^{せよ}を受けて居る事にハッと気付いたものです。四恩を感じ取れる人は、この施与^{せよ}に応え、亦、感謝「ありがとう」の言葉の素直に言える、内懐^{うちぶとこ}の深く豊かな人です。そんな人に育て、なりたいものです。

十月 同事協力 — 心こもる協力 —

お互いに同じ空の下、同じ時代を共受共有して「今ここにある」と言う己の存在を考えてみた事がないだろうか。当り前の事を、永遠の時、無限の空間の位相^{いそう}で考えてみる。そう言う位相^{いそう}に己を打ち据えて探求する。同事とはその様な哲学する姿勢である。そこでは大きな価値転換、つまり偶然、当り前の事が必然なものとなり、私と他者との出会いが運命的必然として再生してくる。

同事協力とは、だからそんな深い思索^{しさく}の底で縁^{ほんしょう}の本性に^{ほんしょう}気付き、心から協力する生き方である。思い付きや、一寸^{ちよつと}した縁での協力もあるが、親兄弟、夫婦、恩師上司、親友同僚等、その関係には浅深^{せんしん}があるが、「袖ふれ合うも多生の縁」とやら、路傍^{ろぼう}のものとして過ぎ去って行くのではなく、心の永遠の相の窓に映し、心の中にどのように慈^{いつく}しみ育てるか、豊かな人生^{きず}を築^{かぎ}く鍵でもあると言えよう。

十一月 精進努力 — 己の成長を愛せ —

秋もたけなわ、自然は秋の果実をみのらせ、「食欲の秋」とも言われる。“精進料理”と言われ魚介類を使用しない仏教の調理がある。心身を調和して養い、求道修行の目的^{めくどう}を果すに好都合な料理の意味である。

人も自然の一部として、その自然環境に育つ食物によって生き、生かされている。「身土不二」と言う東洋思想がその事を物語っている。肉体は環境自然に依^よって養われて居り、だとすれば大地と肉体とは大きく連続して居ると思惟^しする発想である。

霊長類^{れいちやう}としての人の生きて居る目的は、自然の調和^{じゆんのう}に順応して、地上に平和の世界を実現する事である。その為の生命、その生命維持の為の「食」である限り、徒らに肉体生理上の糞として排出する丈ではない。それは身を養い、そのエネルギーを社会に活性化する事である。精進努力とはその様な深い意味をもつものである。

十二月 忍辱持久 — 苦しい事に耐える —

受刑者が、「刑務所を出る」ことを「沙婆^{しゃば}に出る」と言う。シャバとは梵語で、「忍土^{にんど}」と訳す。人間の生きるこの世は、苦しい事^{いや}や嫌な事に耐えて生きる世界であると言う大前提が、仏教には先ずあることを考えて見る事である。物質文

明の恩恵に浴し、その中にどっぷりと埋没した現代は、エゴだけが露出し、耐える事を忘れかけた時代とも言えるかも知れない。

その様な時代だからこそ、肉体の鍛練の凡ゆるスポーツが大切なと同様に、意図的な自己耐性の涵養が心がけられるべきである。仏教の忍辱持久の徳目は、人が生きる姿を、耐えてゆく事と捉えた大前提に立って、凡ゆる苦しい事に立ち向かって生きる生き態を教えて居るものとして意味深いものと思う。

自己の耐性は誰も手伝ってくれないもの、自分で開発するしかない徳目である。

一月 和顔愛語 — 心に慈愛をたたえ、相手の為になる言葉かけをする —

「愛語」とは、その言葉が、その人の人生の転機となる、亦は生涯の生活の指針となる様な言葉。だから常に心の奥深く、他者を慈愛する心がなくては生まれない一語である。従って愛語を発する時は自然に、慈しみをたたえた和顔であるので「和顔愛語」と言う。

悟りを得た後の仏陀の言葉は、衆生慈愍の言葉を謂うもの、全てが和顔愛語である。愛憎、悲喜、怨恩等々現実の姿を、仏智見と言う絶対慈悲の境位で把える世界である。親の児に示す、無条件の慈愛、犠牲、奉仕、言葉かけ、どれ一つ取っても、人間の持つ靈性、仏性の一分顕現である。

愛語は、にたにた笑いからは出ない。時には仁王の様な叱怒も伴う。心底は和顔なのである。無償の慈愛なしには一語もない世界だ。

二月 禪定寂靜 — 心を無の状態に静坐し、常に根源的発想を養うこと —

人間開発を心身共に最高に開発活性化し、地上楽土を建てる事が仏教の目的である。仏陀の切り開いた内証の世界は、禪定と言う静坐の姿勢から得た地上最高の精神世界である。

独生独死、独去独来と言われる自己の「己れ」とは何者かを見据えて見る事は大切な事である。情報時代と言われる、余りにも多種多様な情報に包まれ、時に情報選択すら放棄し慌しく返す日々の多い今日この頃、心掛けねばならない事である。心の大掃除、点検、自己回復の手段である。人は半神半獣、靈肉二重層の世界を生きる、欲望と言う名の馬車に乗る生きものである。

臍下丹田呼吸は坐禅の初歩、そして奥儀である。自信溢れる福祉実践者は、丹田を養生する事から始まる。一呼吸置いてする心掛けである。

三月 智慧希望 — 困難を乗り越えてゆく人生智を持ち、祈りと希望を捨てるな —

人の生活する現実、は、相対の世界である。苦楽、愛憎、悲喜は、相互に裏腹である。この相即相対の原理に立って、苦に居て、楽の日の近い事を、愛の日々が、憎の時にならない様、発想出来る人間訓練が望まれる。

智慧とは、知識とは異なる流動的な生の流れの真っ只中で行なわれる人格的総合判断である。

多難の人生、毎日が決断の日々であるが、決断に戸惑う暗黒の日もないとは言えまい。そんな時は、動かずじっと希望を捨てず、祈る事である。祈りは、危機に臨んで最高のエネルギーを分与してくれる。祈り、希望しない処には何も生まれて来ないからである。

仏語の智慧とはもっと高次元のものだが、我々も常にこの人生を切り開いてゆく智慧を養いたいものである。

誓 願

綱領及び年間目標は、創始者初代理事長遠藤光静氏が描いた熱き思いである。

私たちは、永遠の課題としてこの基本理念を尊重し、誠心努力することを誓願する。

理 念

綱領「合掌深敬の心」を基本理念とする。

合掌深敬とは「感謝して深く敬う」との言葉であるが、狭義では人間尊重や個性尊重を意味している。しかし、課題として捉えるには漠然としている。故に、これを「人権を守る」と定義し、以下のとおり解釈する。

- ① あなたのことを知っています
- ② あなたに関心があります
- ③ あなたを必要としています

これらを具現化するために、次のとおり実践する。これらが、私たちのめざす「自立支援」の基本です。

- (1) 「あなたのことを知っています」とは、その基本は名前を知っているということです。必ず名前を呼ぶようにします。
- (2) 「あなたに関心があります」とは、人間関係を示唆し、その基本はあいさつすることにあります。常に明るくあいさつすることを心掛けます。
- (3) 「あなたを必要としています」とは、「ありがとう」と言葉でいえることです。私たちは福祉を志し、奉仕やボランティアのこころを強く持っているため、常々「ありがとう」と言われる立場にあります。しかし、福祉の専門職としては、私たちが「ありがとう」と言える環境を造ることが求められています。子ども達の行事の参加や常々のお手伝いの中で「ありがとう」と言える場面を沢山造っていきます。

法人の求める職員像

職員は常に自律の心を持ち、他人の為に働く喜びを忘れず、物事に柔軟に対応できることを基本とする。

職員は常に理想を描き、その実現のため他人と協調し、積極的に行動するように努める。

職員は常に法人理念及び年間目標を理解し、正しい判断ができるように研鑽に努める。

- 人事規程第9条
 - 1 人格見識に優れていること
 - 2 常に精進努力を心がけること
 - 3 法人の綱領及び年間目標を理解し、実践できること
 - 4 他と協調し又は共同して業務の推進を図れること
 - 5 情報の収集と分析ができること
 - 6 将来を先見し目標達成のため努力できること
 - 7 安全への配慮と適切な対応ができること

経営基本方針

社会福祉法人同仁会は、主に児童福祉に関する事業を実施することを宣言し、法人の経営及び事業の実施にあたっては、次の事項を遵守してまいります。

1 人権の尊重

- (1) 法人綱領及び理念の理解と実践に努める。
- (2) 利用者（以下「児童」という。）の権利を尊重したサービスの提供、発展に努める。
- (3) 児童や家族からの苦情、相談に対して誠意を持って対応するとともに、第三者委員制度の活用などにより、適切な是正、改善に努める。
- (4) 児童や家族のプライバシーや個人情報の保護に努める。
- (5) 人権の尊重や個人の尊厳への配慮意識を高める研修を定期的実施する。

2 サービスの質の向上

- (1) 児童の個性や特性に応じ、児童自身が自主的、主体的に活動できるように支援する。
- (2) 家庭との連携及び相互理解を図りながら、早期に家庭復帰ができるように家庭環境の整備に努める。
- (3) 施設ごとにサービス提供方針、業務手順や必要なマニュアルを策定し、職員に浸透させる。
- (4) 施設ごとにリスクマネージャーを置くとともに、共通理解を図るためリスクマネージャー会議を定期的開催する。
- (5) 第三者評価の受審により、客観的な視点でサービスの質をチェックする。
- (6) 学校教育との連携協力体制を構築し、一体とした支援に努める。

3 地域との連携協力

- (1) ボランティアの受入を積極的に行い、住民参加による福祉の実践に努める。
- (2) 地域の関係機関、団体とのネットワークの構築に主体的に関わり、福祉ニーズを抱える住民への適切な支援の基点となるように努める。
- (3) 地域の再生又は活性化に向け、町おこしや雇用の創出に積極的に関わるとともに、人の集う場の提供等に努める。

4 コンプライアンス（法令及び法人倫理遵守）の徹底

- (1) 法令及び法人倫理の遵守の徹底に向けた管理体制や規定を整備し、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営に努める。
- (2) コンプライアンスの適切な理解と啓発に努める。

5 説明責任の徹底

- (1) 法人事業や財務に関する情報を積極的に公開し、透明性の高い経営を実現する。
- (2) サービス提供に関する適切な記録と保管を行う。
- (3) 児童との信頼関係の構築及び地域とのコミュニケーションに努める。

6 関係業者との適正な契約関係の構築

- (1) 関係業者との公正、透明かつ自由な取引に努めるとともに、適正な契約関係の構築を行う。
- (2) 反社会的勢力や団体に対する対応マニュアルを策定する。

7 行政との連携・協力の促進

- (1) 行政との連携及び協働により、地域の課題への積極的な対応に努める。
- (2) 行政との透明性の高い関係を構築する。

8 人材育成、適切な人事・労務管理の実践

- (1) 人材育成に関する方針を明確にし、研修体系の整備等、人間性の向上や必要な能力開発に努める。
- (2) 職員の自己研鑽を支援する。
- (3) 職員の自己実現に配慮し、多様な人材が個々の能力を発揮できる職場づくりに努める。
- (4) 労働関係法令の遵守と適切な労務管理を実施するとともに、適正な人事制度を構築する。また、高齢者、障害者の働く場の確保に努める。
- (5) 安全で健康的な職場環境を確保し、快適な働く場の実現に努める。
- (6) 福祉職員養成における実習及び教員養成課程における介護等実習を積極的に受入、質の高い人材育成に資する。

9 公共的・公益的取組の推進

- (1) 地域の児童福祉ニーズを幅広くかつ迅速に把握するように努め、先駆的、開拓性のある事業経営を実践する。
- (2) 地域において児童の支援を要する者に対して、既存制度の枠組みにとらわれずに支援の実施に努める。

10 組織統治の確立

- (1) 経営に対する適切なチェック・牽制機能の強化を意図した組織作りに努める。
- (2) 外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを行う。
- (3) 公益通報者保護法に基づく相談・通報窓口を整備する。

11 財政基盤の安定化

- (1) 業務分掌及び職務権限を明確にし、適正な会計処理が行える体制を整備する。
- (2) 施設の長及び会計担当職員は、会計処理に必要な知識の習得に努める。
- (3) 法人の経営状況及び財務状況をホームページや広報誌等により積極的に公表し、透明性の高い財務管理に努める。
- (4) 施設整備など長期的計画に基づき、積立等の資金管理を実施する。
- (5) 職員全員のコスト意識の醸成を図る。

12 経営責任の明確化

- (1) 事件事故が発生した場合は、理事長又は施設の長が率先して対応に当たり、原因の究明、被害の拡大の防止、再発防止策の明確化等、責任ある対応に努める。
- (2) 理事長又は施設の長は、事実関係や再発防止策を公表するなど、迅速な説明責任を果たす。
- (3) 施設の長は、日常的にリスクマネジメント及び危機管理の具体的な取組を行う。

1 施設の概要 (同仁会ホームページ : <http://www.doujinkai.or.jp/>)

1) 同仁会子どもセンター

所在地 〒318-0011 茨城県高萩市肥前町 1-80
敷地 3,449.93 m²
建物 鉄骨造 4階建 (一部地下1階) 3,160.15 m²
児童養護施設 臨海学園 (定員 30名)
TEL 0293-22-2357 FAX 0293-23-3224 E-mail rinkai@doujinkai.or.jp
施設長 塩澤 幸一
乳児院 同仁会乳児院 (定員 20名)
TEL 0293-23-6251 FAX 0293-23-3278 E-mail baby@doujinkai.or.jp
施設長 谷 由紀子
同仁会児童家庭支援センター
TEL 0293-22-2471 FAX 0293-22-0337 E-mail kodomo@doujinkai.or.jp
TEL 0293-22-0318 (相談専用電話)
センター長 芳賀 英友 (兼務)
法人事務局
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260 E-mail mail@doujinkai.or.jp
事務長 塩澤 幸一 (兼務)

2) 臨海学園小規模グループケア施設 オハナ (定員 6名) ※臨海学園定員30名に含まれる

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町3-60-2
敷地 320.07 m²
建物 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 155.32 m²
TEL 0293-24-8771 FAX 0293-24-8772

3) 認定こども園 同仁東保育園 (定員 135名)

所在地 〒318-0013 茨城県高萩市高浜町 2-35
敷地 1,944.88 m² (内借地 906.01 m²)
建物 鉄骨・木造コンクリート屋根スレートかわらぶき陸屋根2階建 993.36 m²
TEL 0293-23-6121 FAX 0293-23-2413 E-mail higashi@doujinkai.or.jp
施設長 佐藤 ゆかり

4) ゆうゆう館

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-144
敷地 506.36 m²
建物 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根2階建 399.74 m²
放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ (定員 40名)
TEL 0293-23-7643 FAX 0293-20-5103 E-mail club@doujinkai.or.jp
子育て支援拠点事業 同仁会地域子育て支援センター
TEL 0293-20-5559 FAX 0293-20-5103 E-mail kosodate@doujinkai.or.jp
館長 伊藤 ミサ子

5) 児童養護施設 同仁会子どもホーム (定員 25名)

所在地 〒318-0024 茨城県高萩市秋山 712-1
敷地 1,736.04 m² (借地)
建物 本館：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 514.61 m²
ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 165.41 m²
TEL 0293-23-3254 FAX 0293-20-5188 E-mail home@doujinkai.or.jp
施設長 芳賀 英友

6) 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩 (定員 10名)

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-46
敷地 538.93 m²
建物 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 111.79 m²
TEL 0293-44-7301 FAX 0293-44-7302 E-mail kureyon@doujinkai.or.jp
責任者 伊藤 ミサ子 (兼務)

7) 内原同仁会子どもセンター

所在地 〒319-0325 茨城県水戸市小林町 1186-84
敷地 14,125.26 m²
建物 和敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1205.10 m²
小規模ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 345.43 m²
管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 302.67 m²
深敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1,751.91 m²
学校棟：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 739.18 m²
児童家庭支援センター：鉄骨造2階建 323.06m²

児童養護施設 内原和敬寮 (定員30名)

一時保護専用施設 和の家 (定員4名)

TEL 029-212-5054 FAX 029-239-3083 E-mail wakei@doujinkai.or.jp

施設長 西野宮 由紀

児童心理治療施設 内原深敬寮 (定員入所30名・通所10名)

TEL 029-212-5053 FAX 029-239-3082 E-mail uchihara@doujinkai.or.jp

施設長 渡邊 孝幸

内原同仁会事務局

TEL 029-257-5501 FAX 029-259-6688

児童家庭支援センター あいびー

TEL 029-291-3770 FAX 029-291-3772

センター長 西野宮 由紀 (兼務)

8) つくば同仁会子どもセンター

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 802-1
敷地 9,101.00 m²
建物 つくば香風寮本館：鉄骨造陸屋根2階建 1,074.92 m²
さくらの森乳児院本館：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 497.29 m²
管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 323.30 m²
COLORS棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 159.35 m²

児童養護施設 つくば香風寮 (定員30名)

TEL 029-875-3451 FAX 029-875-3460 E-mail tukuba@doujinkai.or.jp

施設長 江原 勝久

乳児院 さくらの森乳児院 (定員20名)

TEL 029-875-3452 FAX 029-875-3460 E-mail sakura@doujinkai.or.jp

施設長 小林 亮一

発達障害者支援センター COLORSつくば

TEL 029-875-3485 FAX 029-875-3486 E-mail colors@doujinkai.or.jp

センター長 江原 勝久 (兼務)

9) つくば香風寮小規模グループケア施設 はるかぜ (定員 6名)

※つくば香風寮定員30名に含まれる

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 804-9
敷地 370.11 m²
建物 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 173.20 m²
TEL 及び FAX はつくば香風寮と同じ

2 法人の沿革

設立発起人 遠藤光静
大高新一郎
今川三九郎
鈴木藤雄
滝宗作

年月	種別	概要
昭和25年 4月	(同仁会)	創立者 遠藤光静氏、自坊にて里子3名を養育
10月	(同仁会乳児院)	日立市助川町2-15を市より無料貸与 恩賜財団同胞援護会日立支会「日立乳児預かり所」認可 定員9名(10月7日)
昭和27年 1月	(臨海学園)	建設中の施設建物焼失、焼失時竣工率80%(1月12日)
6月	(臨海学園)	秋山小学校廃材にて竣工、「高萩臨海学園」認可 定員40名(6月24日)
昭和28年 4月	(同仁会乳児院)	保育棟増築(共同募金会・日立市補助)
昭和30年 4月	(臨海学園)	定員50名に増員
昭和32年 3月	(同仁会乳児院)	恩賜財団同胞援護会日立支会解散、私立日立乳児院となる
昭和37年 11月	(同仁会)	社会福祉法人設立認可、「高萩臨海学園」と称す
11月	(同仁会)	遠藤光静氏、初代理事長に就任
昭和38年 3月	(臨海学園)	児童小舎寮新築(お年玉付年賀はがき寄付金補助事業)
4月	(臨海学園)	御下賜金拝受
8月	(臨海学園)	調理室改築
昭和39年 4月	(同仁会乳児院)	御下賜金拝受
7月	(臨海学園)	臨海学園本館全面改築(日本自転車振興会補助事業)
昭和41年 11月	同仁会	法人名称変更 「同仁会」と改称
昭和42年 4月	臨海学園	「臨海学園」と改称
4月	(同仁会乳児院)	創設者院長 立花 寿氏 物故 社会福祉法人同仁会帰属
9月	同仁東保育園	建物竣工、臨時開園(日本自転車振興会補助事業)
10月	(同仁会乳児院)	施設増築、「日立乳児院」認可、定員13名
昭和43年 4月	同仁東保育園	「同仁東保育園」認可、定員60名
昭和44年 4月	同仁東保育園	定員70名に増員
昭和45年 4月	同仁東保育園	定員90名に増員
昭和51年 2月	(同仁会乳児院)	高萩市に施設建物竣工及び移転(日本船舶振興会補助事業・2月5日)
4月	同仁会乳児院	「同仁会乳児院」と改称、定員24名
昭和53年 12月	臨海学園	児童ホール新築(日本自転車振興会補助事業)
昭和54年 12月	臨海学園	調理棟改築(日本馬主協会補助事業)
昭和56年 4月	同仁東保育園	乳幼児室増築、0才児保育開始
11月	同仁会	施設設立30周年記念祝賀会開催

年 月	種 別	概 要
昭和62年 12月	同仁東保育園	幼児室及び遊戯室の増改築（日本自転車振興会補助事業）、障害児保育開始
平成4年 4月	同仁会	施設設立40周年記念
平成6年 5月	同仁会	創設者理事長 遠藤光静氏 逝去
6月	同仁会	遠藤光洋氏 第二代理事長就任
平成7年 4月	同仁会乳児院	定員30名に増員
平成9年 4月	同仁会	法人事務局、高萩市有明町に移転（ゆうゆうクラブ2F）
4月	同仁東保育園	延長保育開始（午後8時まで）
4月	ゆうゆうクラブ	放課後児童健全育成事業「ゆうゆうクラブ」開設、定員40名
平成11年 12月	臨海学園	臨海学園全面改築「同仁会子どもセンター」竣工（国・県補助事業）
平成12年 1月	臨海学園	定員70名に増員
4月	臨海学園	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
4月	同仁会乳児院	同仁会子どもセンターに移転合築、定員35名に増員
4月	同仁会乳児院	「同仁会子育て支援センター」の付置
平成13年 4月	臨海学園	定員80名に増員
4月	同仁会乳児院	定員40名に増員
4月	同仁東保育園	一時保育開始
4月	同仁会子どもホーム	児童養護施設「同仁会子どもホーム」設置認可、定員26名（旧乳児院跡地）
平成14年 5月	同仁会	評議員会設置
5月	同仁会乳児院	乳児室増築のための確認申請完了（事業の実施は延期）
10月	同仁東保育園	保育園舎増改築（高萩市補助事業）
平成15年 2月	同仁会	施設設立50周年記念祝賀会開催
3月	同仁会	児童情報管理システム導入（臨海学園・子どもホーム）
3月	同仁会乳児院	乳児室内部改装工事実施
3月	同仁東保育園	保育園舎増改築工事完了
4月	同仁会乳児院	同仁会子育て支援センターの廃止
4月	同仁東保育園	「同仁会地域子育て支援センター」の付置
7月	内原深敬寮	情緒障害児短期治療施設「内原深敬寮」設置認可 計法定員30名（通所10名・入所20名）
7月	内原和敬寮	児童養護施設「内原和敬寮」設置認可、定員30名
平成16年 3月	同仁会	法人事務局、高萩市肥前町に移転（同仁会子どもセンター内）
3月	同仁東保育園	同仁会地域子育て支援センター、ゆうゆうクラブ2Fに移転
4月	臨海学園	ユニットケア推進のため小規模改修
4月	同仁東保育園	定員120名に増員
4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所10名・入所30名）
4月	内原和敬寮	定員40名に増員
4月	内原同仁会	第二期内原同仁会大規模改修工事（国・県補助）
平成17年 3月	内原和敬寮	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
4月	臨海学園	定員70名に減員
4月	内原深敬寮	計法定員35名（通所5名・入所30名）
7月	内原同仁会	従たる事務所設置
10月	同仁東保育園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
10月	同仁会子どもホーム	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
平成18年 11月	臨海学園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）

年 月	種 別	概 要
平成19年 4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所5名・入所35名）
平成20年 3月	同仁会	法人中長期経営計画策定
平成21年 4月	同仁会	地域子育て支援拠点事業独立
4月	同仁会	一時預かり保育事業独立
平成23年 4月	臨海学園	定員40名に減員
4月	同仁会乳児院	定員20名に減員
4月	同仁会子どもホーム	ユニット棟竣工・開設
4月	つくば香風寮	児童養護施設「つくば香風寮」開所、定員30名
4月	さくらの森乳児院	乳児院「さくらの森乳児院」開所、定員20名
4月	同仁会	一時預かり保育事業を保育園に統合
平成24年 5月	内原深敬寮	施設建物改築のため体育館解体撤去
平成25年 3月	内原深敬寮	内原深敬寮全面改築・竣工（国・県補助事業） 旧深敬寮建物解体撤去
4月	内原深敬寮	高校生の措置受入開始
平成26年 2月	内原和敬寮	内原和敬寮全面改築・竣工（国・県補助事業）
3月	内原和敬寮	旧和敬寮建物解体撤去
4月	臨海学園	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	定員42名に増員
平成27年 4月	臨海学園	定員29名に減員
4月	内原和敬寮	定員40名に減員
平成28年 4月	同仁会子どもホーム	定員25名に減員
平成29年 4月	臨海学園	定員30名に増員
5月	同仁東保育園	園舎（乳児棟）改築・竣工（自主財源）
11月	内原和敬寮	児童養護施設退所者等アフターケア事業を茨城県から受託
平成30年 3月	同仁会	第二期法人中長期経営計画策定
4月	同仁会子どもホーム	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
平成31年 1月	COLORSつくば	発達障害者支援センター事業を茨城県から受託
平成31年 3月	くれよんクラブ高萩	くれよんクラブ高萩事業所新築・竣工（高萩市補助事業）
4月	くれよんクラブ高萩	障害児通所支援事業「くれよんクラブ高萩」開所・定員10名
令和元年 6月	同仁会	塩澤幸一 第三代理事長就任
11月	内原和敬寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	つくば香風寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	COLORSつくば	COLORSつくば事業所新築・竣工（自主財源）
12月	内原深敬寮	内原深敬寮学校棟全面改築・竣工（自主財源）
令和2年 6月	内原和敬寮	「同仁会児童家庭支援センター あいびー」の付置
令和4年 2月	さくらの森・あいびー	里親訪問等支援事業を茨城県から受託
3月	同仁会子どもホーム	ユニット棟増築
4月	同仁東保育園	保育所型認定こども園に移行 定員135名に増員
4月	香風・さくら・あいびー	フォスタリング事業を茨城県から受託（他法人と共同受託）
4月	くれよんクラブ高萩	保育所等訪問支援事業開始

年 月	種 別	概 要
6月	同仁会	同仁会子どもセンター大規模修繕工事完了 (臨海学園・同仁会乳児院のオールユニット化) (国・県補助事業)
令和6年 2月	さくらの森乳児院	さくらの森乳児院増改築工事完了 (オールユニット化) (国・県補助事業)
4月	あいびー	社会的養護自立支援拠点事業を茨城県から受託 (旧アフターケア事業)
令和7年 3月	臨海学園	分園型小規模グループケア施設新築工事完了 (国・県補助事業)
4月	臨海学園	分園型小規模グループケア施設「オハナ」開設 (定員6名)
4月	内原和敬寮	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	分園型小規模グループケア施設「青空」開設 (定員6名)
4月	内原和敬寮	一時保護専用施設「和の家」開設 (定員4名)
4月	くれよんクラブ高萩	居宅訪問型児童発達支援事業開始
令和8年 3月	つくば香風寮	分園型小規模グループケア施設新築工事完了 (国・県補助事業)
4月	つくば香風寮	分園型小規模グループケア施設「はるかぜ」開設 (定員6名)
4月	内原深敬寮	入所定員30名に減員
4月	さくらの森乳児院	茨城県里親養育包括支援事業 (県南県西地区) を茨城県から受託

3 令和8年度経営計画

社会的養護関連施設では、今年度も引き続き、養育の高機能化のための専門性の向上と、地域の子育て家庭全体を支えるため地域支援を意識した事業展開を考えていく年となります。その中でも、同仁会子どもホームの機能をどのように生かしていくべきかの検討を本格的に進めます。さらには、里親支援の拠点化を図るべく茨城県の動向を注視しながら、里親支援センターの開設についても検討して参ります。

通所施設では、引き続き、新しい事業への取り組みを研究していきます。中でも、同仁東保育園において病児保育棟を新たに建設し、12月からの事業開始を計画しています。さらに園児確保のための方策を早急に検討する必要があります。その他、県や市から委託をされている事業についても、その目的が果たせるよう取り組みます。

引き続き、重要な課題である福祉人材の確保や処遇の改善、離職率の改善に取り組むとともに、法令遵守を一層強化し、人権に配慮した安全で安定した組織運営に努めます。令和8年度は以下の事項について計画をいたします。

1 事業の方向

- (1) 策定した第二期中期経営計画の後期計画に基づいた経営
- (2) 社会的養育推進計画に沿った事業の推進（高機能化・地域支援の拡大）
- (3) 同仁会子どもホームの地域分散化・小規模化へ向けての検討
- (4) 同仁東保育園における病児保育棟の建設及び病児保育事業の開始
- (5) 通所施設（保育園・ゆうゆう館・くれよん）各事業の連携強化
- (6) 里親支援センター開設の検討

2 組織の強化

- (1) 専門家（弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の活用
- (2) リスクマネジメント及び危機管理の強化
- (3) こども性暴力防止法への対応

3 人材の確保・育成・定着

- (1) 人材確保に向けた取り組みの強化
- (2) 人権擁護・虐待防止に対する法人研修の継続実施
- (3) 人事考課制度の継続実施及び評価項目の見直し

4 財政基盤の強化

- (1) 予算管理の徹底による財務管理の強化
- (2) 各種加算の確保などによる収入増と無駄の排除による経費削減

4 役員、評議員及び施設長等

(イ) 役員（任期：令和7年6月19日～令和8年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

理事長	塩澤 幸一	理事	草間 吉夫
理事	遠藤 雅明	理事	西野宮 由紀
理事	江原 勝久	理事	今橋 優子
監事	大部 忠則（財務）	監事	大平 敏明（運営）

(ロ) 評議員（任期：令和7年6月19日～令和10年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

大橋 正男	渡邊 操
大高 達也	鈴木 教予
安藤 みゆき	北條 吉延
川口 啓予	

(ハ) 評議員選任・解任委員会（任期：令和7年6月19日～令和10年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

監事代表	大平 敏明	外部委員	宮田 哲郎
事務局	高島 早苗	外部委員	三國 省治

(ニ) 常任役員

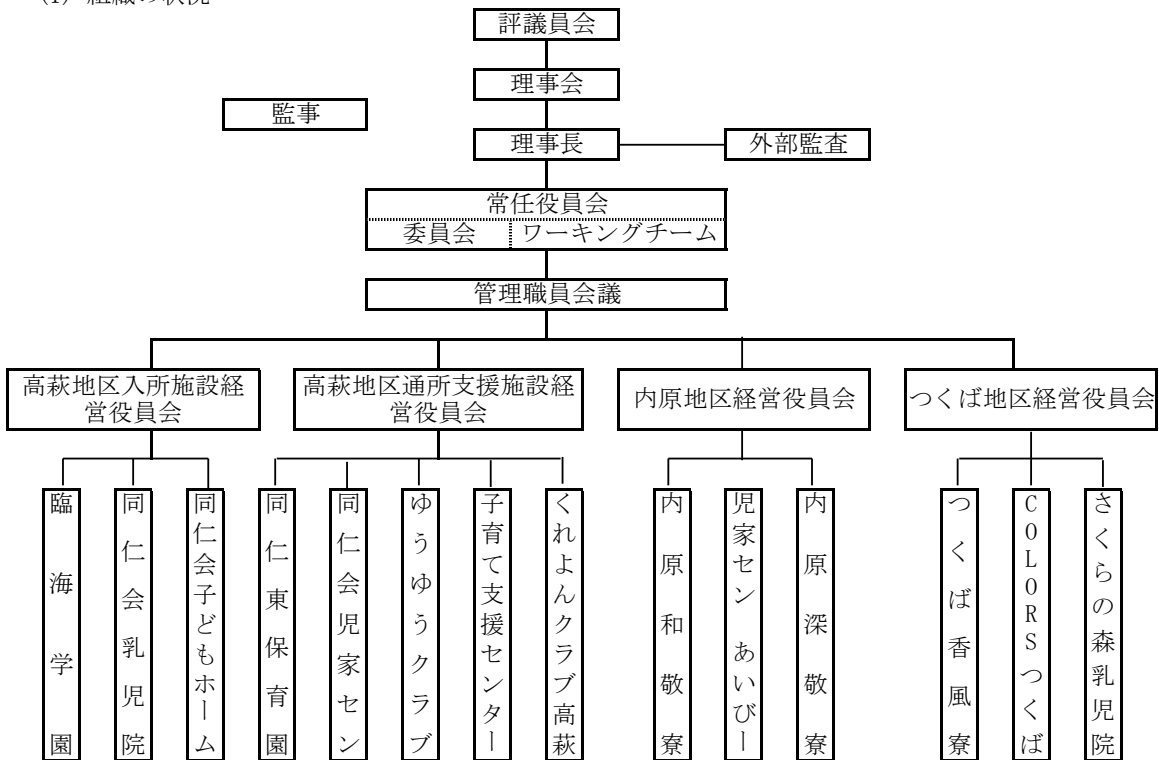
理事長	塩澤 幸一	
代表経営役員	野田 潤一郎	高萩地区入所代表経営役員
〃	佐藤 ゆかり	高萩地区通所支援施設代表経営役員
〃	西野宮 由紀	内原地区施設代表経営役員
〃	江原 勝久	つくば地区施設代表経営役員
理事	草間 吉夫	学識経験者

(ホ) 施設経営役員

- 1) 高萩地区入所施設経営役員
副参事 野田 潤一郎 副参事 谷 由紀子
副参事 芳賀 英友
- 2) 高萩地区在宅支援施設経営役員
副参事 佐藤 ゆかり 主 査 伊 藤 ミサ子
副参事 芳賀 英友
- 3) 内原地区施設経営役員
参事 西野宮 由紀 副参事 渡 邊 孝幸
参事 楠 篠 原 貴 参事 補 飯 村 謙司
- 4) つくば地区施設経営役員
参事 江 原 勝久 副参事 小 林 亮一
参事 補 西 野 勇二 参事 補 増 子 洋一

5 組織及び職員の配置

(1) 組織の状況



(2) 職員の状況

令和8年4月1日現在

施設名	施設長	副施設長	児童指導員	保育士	看護師	児発管 責任者	心理 療法士	家庭支 援専門	里親支 援専門	相談員 フォスタ	厚生員 支援員	調理員 等	栄養士	事務員	合計
本部事務局														2	2
臨海学園	1		5	20			1	2	1			2	2	2	36
同仁会乳児院	1			24	5		1	1	2			4	2	1	41
同仁東保育園	1			27	3							6	1	3	41
ゆうゆう館	1			4											5
同仁会児家セン	(1)						5			5				1	11
同仁会子どもホーム	1		5	12			1	1	2			1	1	1	25
くれよんクラブ高萩	(1)		1	7		1									9
内原和敬寮	1	1	10	15			1	3	1			3	1	1	37
児家セン あいびー	(1)						1			8					9
内原深敬寮	1	1	16	2	1		5	3				6	2	1	38
つくば香風寮	1	1	17	14			2	2	1	1			2	1	42
COLORSつくば	(1)						2			2					4
さくらの森乳児院	1	1	6	20	5		1	1	2	4		4	2	1	48
合計	9	4	60	145	14	1	20	13	9	20	0	26	13	14	348

注) 1 非常勤職員を含む。産休育休中の職員を含む。 2 医師、嘱託医は除く。 3 () は、兼務職員を示す。

(3) 職員の職層

令和8年4月1日現在

施設名		参事	副参事	参事補	主査	副主査	企画員	企画 研修員	研修員	非常勤	合計
本部事務局	男性									1	1
	女性					1					1
	計					1				1	2
臨海学園	男性	1	1		1		2	1	4		10
	女性						3	5	18		26
	計	1	1		1		5	6	22		36
同仁会乳児院	男性										0
	女性		1			2	4	3	28	3	41
	計		1			2	4	3	28	3	41
同仁東保育園	男性						1	1			2
	女性		1			2	2	4	17	13	39
	計		1			2	3	5	17	13	41
ゆうゆう館	男性										0
	女性				1			1	1	2	5
	計				1			1	1	2	5
同仁会児童家庭支援センター	男性						1		2		3
	女性							2	6		8
	計						1	2	8		11
同仁会子どもホーム	男性		1			2	1	1		1	6
	女性					1	1	5	12		19
	計		1			3	2	6	12	1	25
くれよんクラブ高萩	男性										0
	女性						1	1	4	3	9
	計						1	1	4	3	9
内原和敬寮	男性			1			1	4	2		8
	女性	1				1	3	2	17	5	29
	計	1		1		1	4	6	19	5	37
児家セン あいびー	男性								2		2
	女性						1	2	3	1	7
	計						1	2	5	1	9
内原深敬寮	男性		1	1			4	6	6		18
	女性						1	4	14	1	20
	計		1	1			5	10	20	1	38
つくば香風寮	男性	1		1			1	1	5		9
	女性					2	2	6	23		33
	計	1		1		2	3	7	28		42
COLORSつくば	男性						1				1
	女性							2	1		3
	計						1	2	1		4
さくらの森乳児院	男性		1	1			1				3
	女性						4	9	29	3	45
	計		1	1			5	9	29	3	48
合計	男性	2	4	4	1	2	13	14	21	2	63
	女性	1	2	0	1	9	22	46	173	31	285
	計	3	6	4	2	11	35	60	194	33	348

6 法人の運営

1) 評議員会

＜令和8年度事業計画＞

第78回評議員会《令和8年6月18日予定》

- 第1号議案 令和7年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和7年度決算報告(案)について
- 第3号議案 定款変更について

第79回評議員会《令和8年11月26日予定》

- 第1号議案 令和8年度第1回補正予算(案)について

第80回評議員会《令和9年3月25日予定》

- 第1号議案 令和8年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和9年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和9年度当初予算(案)について

2) 評議員選任・解任委員会

＜令和8年度事業計画＞

《開催予定なし》

3) 理事会

＜令和8年度事業計画＞

第272回理事会《令和8年4月30日》

- 第1号議案 同仁東保育園病児保育棟新築工事に係る工事請負契約の締結について
- 第2号議案 経理規則の一部改正について

第273回理事会《令和8年5月26日》

- 第1号報告 令和7年度第三者評価結果並びに自己評価の実施について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和7年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和7年度決算報告(案)について
- 第3号議案 定款変更について
- 第4号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

第274回理事会《令和8年11月10日予定》

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和8年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

第275回理事会《令和9年3月12日予定》

- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
- 第1号議案 令和8年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和9年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和9年度当初予算(案)について
- 第4号議案 定款変更について
- 第5号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

＜令和7年度事業報告＞

第75回評議員会《令和7年6月19日》

- 第1号議案 令和6年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和6年度決算報告(案)について
- 第3号議案 理事及び監事の選任について
- 第4号議案 定款変更について

第76回評議員会《令和7年11月28日》

- 第1号議案 令和7年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 同仁東保育園における病児保育事業の開設について

第77回評議員会《令和8年3月26日》

- 第1号議案 令和7年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和8年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和8年度当初予算(案)について

＜令和7年度事業報告＞

《令和7年6月19日開催》

＜令和7年度事業報告＞

第267回理事会《令和7年5月27日》

- 第1号報告 令和6年度第三者評価結果並びに自己評価の結果について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和6年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和6年度決算報告(案)について
- 第3号議案 定款変更について
- 第4号議案 評議員候補者の推薦について
- 第5号議案 理事・監事候補者の推薦について
- 第6号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 第7号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について
- 第8号議案 評議員選任・解任委員会の開催について

第268回理事会《令和7年6月19日》

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 つくば香風寮分園型小規模グループケア施設新築工事に係る入札参加業者の選定方針について

第269回理事会《令和7年8月29日》

- 第1号議案 つくば香風寮分園型小規模グループケア施設新築工事に係る工事請負契約の締結について

第270回理事会《令和7年11月11日》

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和7年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 諸規程等の一部改正について
- 第3号議案 同仁東保育園における病児保育事業の開設について
- 第4号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

第271回理事会《令和8年3月12日》

- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
- 第2号報告 諸規程の一部改正について
- 第1号議案 令和7年度最終補正予算(案)について

- 第2号議案 令和8年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和8年度当初予算(案)について
- 第4号議案 諸規則の一部改正について
- 第5号議案 幹部職員の人事について
- 第6号議案 同仁東保育園児保育棟新築工事に係る請負業者選定方針について
- 第7号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

4) 監事会

＜令和8年度事業計画＞
 《令和8年5月21日開催》

＜令和7年度事業報告＞
 《令和7年5月15日開催》

5) サービス向上委員会(苦情解決委員会)

(地区ごとに設置：苦情解決責任者・苦情受付担当・第三者委員2名)
 法人の職員・児童及びその父兄、利用者等からの意見提案を広く集め、対応にあたる。

- (1) 高萩地区
 受付件数0件
- (2) 内原地区
 受付件数1件
 内原深敬寮(職員からの苦情)
 職員の言動についての苦情
 (対応)
 ・会議で注意を促していく等、施設で対応した。
- (3) つくば地区
 受付件数1件
 COLORSつくば(職員からの苦情)1件
 職員から異動命令に関する苦情(公益通報)
 (対応)
 ・第三者委員、顧問弁護士、顧問社会保険労務士と連携し、適切に対応した。

6) 法人運営・連絡会議等

- (1) 定期開催会議等
 - イ) 常任役員会 年1回(理事長、常任役員)
 - ロ) 施設経営役員会 原則毎月(施設を4グループに分けて設置)
 - ハ) 管理職員会議 年6回 奇数月開催
 - ニ) 家庭支援会議 原則隔月(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、児童家庭支援センター相談員等)
 - ホ) リスクマネージャー会議 法人会議年6回(隔月)
 - ヘ) 栄養士会議 年2回
 - ト) 心理職会議 年4回
- (2) 随時開催会議等
 - イ) 処遇システム管理者会議
 - ロ) 事務職員会議 年6回
 - その他

7) 法人委員会の事業

＜令和8年度事業計画＞
 研修委員会(委員11名)
 委員会 …… 12回予定
 講演会 …… 2回予定
 研究発表会 … 1回予定
 ※内容は未定

＜令和7年度事業報告＞
 研修委員会(委員11名)
 委員会 …… 7回
 講演会 …… 2回
 研究発表会 … 1回
 ○講演会
 第1回 令和7年7月3日
 テーマ「同仁会の歩みと今後の展望」
 ー同仁会が抱える問題や人材育成についてー
 講師 同仁会理事長 塩澤 幸一
 会場 各施設(WEB配信・視聴)
 第2回 令和7年11月14日
 テーマ「こどもの心と身体を動かす音楽」
 講師 茨城女子短期大学 准教授
 馬立 明美先生

情報公開委員会（委員10名）
 委員会 … 9回予定
 広報誌発行 … 2回
 第61号 令和8年8月 発行予定
 第62号 令和9年1月 発行予定

会 場 内原同仁会子どもセンター（参集型）
 ○研究発表会
 期 日 令和8年2月5日
 テーマ 「地域で支える里親子支援」
 ーあいびーでの連携を通じてー
 児童家庭支援センター あいびー
 会 場 各施設（WEB配信・視聴）

情報公開委員会（委員10名）
 委員会 …… 9回
 広報誌発行 … 2回
 第59号 令和7年8月 発行部数 1,200部
 第60号 令和8年1月 発行部数 1,200部

8) 法人職員研修

<令和8年度事業計画>

イ) 新規採用職員研修 : 参加対象職員29名

第1回 期日 令和8年4月1日、2日

会場 同仁会子どもセンター
 内原同仁会子どもセンター

内 容
 「同仁会の理念について」 塩澤理事長
 「施設内虐待防止への取り組み」 芳賀施設長
 「就業規則、給与規則について」 遠藤雅明
 「福祉職員の生活と職場のマナー」 西野宮施設長
 「児童の権利擁護について」 渡邊施設長
 「先輩からのアドバイス」 福田麻衣・横山菜月

第2回 期日 令和8年10月9日予定

会場 つくば同仁会子どもセンター
 内 容

「講話」 江原施設長
 「子どもの病気と対応について」 井上あや
 「先輩からのアドバイス」 柳澤拓実・池田みなみ
 「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 令和9年2月12日予定

会場 同仁会子どもセンター
 内 容

「リスクマネジメントについて」 飯村副施設長
 「特別講演」 草間吉夫
 「先輩からのアドバイス」 手塚玲菜・友常愛弓
 「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員31名

期日 令和8年5月15日

会場 同仁会子どもセンター

「講話」 佐藤施設長
 「講話」 野田施設長
 「食育について」 海老澤暁子
 「先輩からのアドバイス」 金川千夏・江尻瑠菜

ハ) 新任副グループ長及び新任企画研修員研修

期日 令和8年12月11日

会 場 つくば同仁会子どもセンター

「副グループ長・企画研修員に求めること」 江原施設長
 「予算や会計など事務について」 西澤碧美
 「同仁会が目指す未来について」 塩澤理事長
 「副施設長からのアドバイス」 西野・増子副施設長
 「3分間スピーチ」 参加職員発表

ニ) 5年次職員研修 : 参加予定職員17名

<令和7年度事業報告>

イ) 新規採用職員研修 : 参加対象職員25名

第1回 期日 令和7年4月1日、2日

会場 同仁会子どもセンター
 内原同仁会子どもセンター

内 容
 「同仁会の理念について」 塩澤理事長
 「創業者 遠藤光静師」 草間吉夫（理事）
 「福祉職員の生活と職場のマナー」 西野宮施設長
 「児童の権利擁護について」 飯村副施設長
 「就業規則、給与規則について」 野原よう子
 「先輩からのアドバイス」 石川瑞稀・白土みなみ

第2回 期日 令和7年10月3日

会場 つくば同仁会子どもセンター
 内 容

「講話」 小林施設長
 「リスクマネジメントについて」 西野主任
 「先輩からのアドバイス」 芳賀水麗・比屋根陽
 「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 令和8年2月6日

会場 同仁会子どもセンター
 内 容

「自己管理とメンタルヘルス」 芳賀施設長
 「子どもの病気と対応について」 鈴木紀子
 「先輩からのアドバイス」 遠山拓美・生井杏奈
 「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加職員32名

期日 令和6年5月16日

会場 同仁会子どもセンター

「講話」 佐藤施設長
 「リスクマネジメントについて」 野田副施設長
 「食育」 海老澤暁子
 「先輩からのアドバイス」 鈴木みとの・下山田奈央子

ハ) 新任副グループ長及び新任企画研修員研修

期日 令和7年12月12日

会 場 つくば同仁会子どもセンター

「副グループ長・企画研修員に求めること」 江原施設長
 「予算や会計など事務について」 西澤碧美
 「同仁会が目指す未来について」 塩澤理事長
 「主任からのアドバイス」 佐々木主任・増子主任
 「3分間スピーチ」 参加職員発表

ニ) 5年次職員研修 : 参加予定職員20名

期 日 令和8年9月11日
会 場 同仁会子どもセンター
内 容
「講話」 谷施設長
「不適切な関わりの防止について」 高根澤武
「グループ長からのアドバイス」 渡邊祐未・磯山かおり
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修

期 日 令和8年6月12日 : 参加職員18名
会 場 同仁会子どもセンター
内 容
「講話」 塩澤理事長
「グループワーク (マシュマロタワー)」
「3分間スピーチ」 参加職員発表

9) 県主管課等実地検査の状況

<令和8年度事業計画>

茨城県一般検査
令和8年9月予定
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室

10) 職員の採用及び退職の状況

<令和8年度事業計画>

○採用面接選考会
(第1次選考会) 令和8年6月～7月予定

(第2次選考会) 令和8年9月～10月予定

11) 令和7年度職員福利厚生状況

1. 退職共済制度への加入 (独立行政法人福祉医療機構及び茨城県民間施設退職共済会)

令和7年度実績
加入者数 313名
加入掛金 独立行政法人福祉医療機構 15,247,500円

期 日 令和7年9月12日
会 場 内原同仁会子どもセンター
内 容
「講話」 篠原副施設長
「講話」 渡邊施設長
「主任からのアドバイス」 中嶋主任・佐々木主任
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修

期 日 令和7年6月13日 : 参加職員17名
会 場 同仁会子どもセンター
内 容
「講話」 塩澤理事長
「食育について」 海老澤暁子
「3分間スピーチ」 参加職員発表

<令和7年度事業報告>

茨城県一般検査
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室
令和7年6月18日
(1) 運営指導
くれよんクラブ高萩
令和7年9月9日, 11日, 17日, 18日
(2) 実地検査
臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム・同仁東保育園
同仁会児童家庭支援センター・内原和敬寮・内原深敬寮
児童家庭支援センターあいびー・つくば香風寮・さくらの森乳児院
・是正又は改善を要する事項
<同仁会乳児院・同仁会児童家庭支援センター
・児童家庭支援センターあいびー>
・決算において、当期末支払資金残高が措置費(運営費)収入の30%を超えることが認められた。運営費の運用を適正に行うこと。
<内原和敬寮・内原深敬寮>
・処遇計画策定の際、合議した会議の議事録がないので、整備すること。
<内原深敬寮>
・小口現金の取り扱いに係る立替金や仮払金は速やかに精算し、保管している現金を適正に管理すること。

<令和7年度事業報告>

○採用選考会
面接選考会
令和7年6月25日・7月5日(第1次募集)
応募者総数 14名 採用内定者数 11名 (辞退2名)
令和7年10月7日・10月12日(第2次募集)
応募者総数 15名 採用内定者数 8名 (辞退1名)
令和7年10月15日から(随時募集)
応募者数 8名 採用内定者数 7名
○採用の状況(正規職員)
・令和7年 5月 1日付 1名 ・令和7年 6月 1日付 1名
・令和7年 6月13日付 1名 ・令和7年 6月16日付 1名
・令和8年 2月 1日付 1名
○退職の状況(正規職員)
・令和7年 7月 3日付 1名 ・令和7年10月25日付 1名
・令和7年12月31日付 1名

茨城県民間施設退職共済会 12,358,030円

2. 茨城県社会福祉施設職員互助会加入

加入者数 313名
加入掛金 2,274,000円 (同額を職員も負担)

3. 職員表彰

・茨城県知事

益子 智恵子 栗原 彩子

・茨城県社会福祉協議会

金澤 辰哉 磯山 かおり 田地 綾希子 水地 菜穂子

・茨城県保育協議会

遠山 拓美 瀬尾 明子

・全国児童養護施設協議会

塚本 真理子 末永 香代子

・全国児童心理治療施設協議会

道越 ひとみ

・高萩市社会福祉協議会

海老澤 拓弥 奈良 奈月 清川 実梨 蛭田 美智子 田所 悠希

・法人内表彰(R8.4.1)

勤続45年…1名 35年…2名 25年…4名 20年…3名 15年…6名 10年…6名 5年…20名

4. 職員親睦会厚生委託事業

1. 高萩

1. 会員数/会費 154名/1,852,000円 (月額1,000円)

2. 決算

収入	6,002,864円	支出	5,016,808円
会費収入	1,852,000円	福利厚生事業	1,497,121円
補助金収入	3,510,499円	職員研修事業	490,495円
雑収入	99,139円	グループ別事業	1,359,500円
繰越金収入	541,226円	慶弔費	165,010円
		事務費	550円
		退会金積立	154,000円
		卒園者等支援事業費積立	1,350,132円
		予備費	円
次年度繰越金	986,056円		

3. 事業

- ・親睦会総会 2025年5月 参加136名
- ・福利厚生事業
 - 春の懇親会 令和7年6月12日 秋の懇親会 令和7年10月31日 役職員懇親会 令和8年1月15日
- ・研修・サークル活動事業
 - 親睦会研修
 - ・ヨガ教室 (12名)
 - ・料理教室 (19名)
 - ・寄せ植え教室 (25名)
 - サークル活動
 - ・サークルCafé一休 (29名) / グルメサークル (13名) / 手芸サークル (14名)
 - ・外で遊部 (19名) / GoGoトラベルサークル (13名) / 推しごとサークル (7名)
 - ・B級グルメと映画サークル (14名) / ランチサークル (9名) / 同仁会トレンド部 (11名)
- ・慶弔 (結婚2名 出産3名 退会8名 家族弔意13名 傷病見舞1名)
- ・役員会 年12回開催
- ・卒園者等支援事業 6名 (1,500,000円)

4. 令和8年度事業計画

- ・令和8年度親睦会総会 令和8年5月
- ・新入会員歓迎事業 6月
- ・役職員懇親会 1月
- ・親睦会研修
- ・サークル活動事業
- ・グループ別事業
- ・職員の慶弔
- ・卒園者等支援事業
- ・役員会 (毎月開催)

2. 内原

1. 会員数/会費 82名/949,000円 (月額1,000円)

2. 決算

収入	2,620,635円	支出	1,789,400円
会費収入	949,000円	歓迎会	390,382円
補助金収入	956,947円	新年懇親会	444,625円
雑収入	2,959円	年度末懇親会	311,000円
繰越金収入	711,729円	研修に関する事業	192,483円
		忘年会	180,000円
		その他(慶弔費・退会積立金等)	270,910円

次年度繰越金 831,235円

3. 事業

- ・令和7年度親睦会総会 令和7年4月23日
- ・サークル活動
 - ・子育て中の食育を考える会(6名)/ラポール形成の会(10名)
 - ・カフェサークル(13名)/食いしん坊の会(7名) まんぶくたいよう(9名)
- ・歓迎会(和敬寮・あいびー) 令和7年5月23日 参加人数 44名
- ・歓迎会(深敬寮) 令和7年5月28日 参加人数 36名
- ・忘年会(和敬寮・あいびー) 令和7年12月16日 参加人数 22名
- ・忘年会(深敬寮) 令和7年12月10日 参加人数 22名
- ・新年懇親会 令和8年1月22日 参加人数 31名
- ・年度末反省会 令和8年3月18日 参加人数 39名
- ・役員会 7回
- ・慶弔(出産2名 結婚2名 香典6名 傷病見舞金1名 退会餞別金2名)

4. 令和8年度事業計画

- ・令和8年親睦会総会 令和8年4月22日
- ・春期懇親会・職員歓迎会 未定
- ・新年会(日時未定) ・忘年会(日時未定) ・年度末反省会(日時未定)
- ・親睦を深める事業(日時未定) ・研修に関する事業(日時未定) ・役員会(年8回予定)

3. つくば

1. 会員数/会費 79名/954,000円 (月額1,000円)

2. 決算

収入	2,410,073円	支出	2,029,006円
会費収入	954,000円	年度初めの懇親会(歓迎会)	261,820円
補助金収入	790,000円	暑気払い	449,063円
雑収入	764円	新年懇親会	324,833円
繰越金収入	665,309円	忘年会	310,277円
		年度末懇親会(送別会)	293,998円
		秋のレクリエーション	52,325円
		その他(慶弔費)	156,360円
		役員慰労	100,000円
		消耗品	330円
		退会金積立	80,000円

次年度繰越金 381,067円

3. 事業

- ・親睦会総会 令和7年4月24日 地域交流スペース
- ・年度初めの懇親会(歓迎会) 令和7年5月16日 参加者49名 天下一鳥
- ・暑気払い 令和7年8月8日 参加者50名 炭火焼肉 平城苑
- ・忘年会 令和7年12月18日 さくらの森乳児院34名 地域交流スペース
- 令和7年12月19日 COLORSつくば5名 札幌ゾックスカシ綿羊
- つくば香風寮感染症のため未実施
- ・新年会懇親会 令和8年1月16日 つくば香風寮19名 アルゾーニ・イタリア
- 令和8年1月16日 さくらの森乳児院23名 シャぶ辰
- 令和8年1月23日 COLORSつくば5名 肉Bar
- ・年度末懇親会(送別会) 令和8年3月13日 参加者38名 中華料理 福祿寿
- ・役員会 年7回開催
- ・慶弔(結婚2名 出産5名 傷病見舞1名 家族弔慰12名 退会餞別金2名)

4. 令和8年度事業計画

- ・令和8年度親睦会総会 令和8年4月22日

・年度初めの懇親会（歓迎会）	令和8年5月15日
・暑気払い	日時未定
・新年懇親会	日時未定
・年度末懇親会	日時未定
・研修事業	内容検討中
・役員会（年6回）	

12) 令和7年度寄付受託の状況

現金

・法人本部

匿名様	30,000円	霊友会様	500,000円
今川 恭子様	30,000円	(株)茨城ビジネスマシン様	100,000円
大谷 節子様	20,000円	西野宮由紀様	50,180円
今橋 優子様	100,000円	高島 早苗様	49,952円
大平 敏明様	100,000円		

・臨海学園

株式会社アンテックス様	100,000円	東会様	5,000円
川口 啓予様	30,000円	高萩市社会福祉協議会様	135,000円
菊地 猛様	30,000円	日本児童養護施設財団様	50,000円
沼田 武志様	10,000円		

・同仁会乳児院

(匿名)様	50,000円	高萩市歳末助け合い募金様	100,000円
高野重美、康二様	30,000円	大谷 節子様	10,000円
加藤 温子様	10,000円		

・同仁東保育園

2025年度卒園児保護者様	64,000円	のぞみそろばん塾様	5,000円
高萩小学校様	5,000円	今橋 優子様	10,000円

・くれよんクラブ高萩

高萩市社会福祉協議会様	70,000円		
-------------	---------	--	--

・同仁会子どもホーム

山本 千賀子様	10,000円	作間 政雄様	5,000円
大谷 節子様	5,000円	作間 好様	5,000円
宮田 よし子様	5,000円	坂本 均様	5,000円
川口 啓予様	5,000円	ご芳名非公表の方々	1,510,000円
若林 初枝様	5,280円		
	(※お米ギフト券)	(株)アンテックス様	100,000円
高萩市社会福祉協議会様	120,000円	S B I 子ども希望財団様	185,800円
日本児童養護施設財団様	100,000円		(※通塾費用補助)

・内原和敬寮

一般社団法人日本児童養護施設財団様	50,000円		
匿名様	5,000円		

・つくば香風寮

伊藤 麻夫様	50,000円	◎つくば香風寮へ自転車のプレゼントの為のご支援	
牛久茎崎ライオンズクラブ様	50,000円	(株)相澤建築設計事務所 相澤様	30,000円
塚本 和男様	34,870円	(株)飯塚造園 飯塚様	30,000円
つくばアウルライオンズクラブ様	88,682円	(株)山崎煙火製造所 山崎様	30,000円
田口 正則様	20,000円	(株)大和田建設 大和田様	30,000円
島田 照夫様	5,000円	大里農園 大里様	30,000円
龍ヶ崎市主任児童委員会様	5,000円	(株)須藤設計 櫻井様	30,000円
茨城県信用組合従業員組合様	58,700円	大成不動産(株)沼尻様	30,000円
西野 玲子様	5,000円	沼尻産業(株)中崎様	30,000円
日本児童養護施設財団様	100,000円	(株)椿屋商事 瀬戸口様	30,000円
匿名様	10,000円	戸田建設(株)関東支店 渡部様	30,000円
匿名様	50,000円	えるふ農園 長谷川様	30,000円

匿名 様	2,500 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	4,945 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	100,000 円
匿名 様	10,000 円
匿名 様	5,000 円

新和アメニティ(株) 新村 様	30,000 円
日本都市開発(株) 山田 様	30,000 円
(一財) つくば都市交通センター 関 様	30,000 円
(有) 大樹設計事務所 岸田 様	30,000 円
(株) 侑弘物流 五頭 様	30,000 円

◎つくば香風寮分園の家具家電購入の為のご支援
公益財団法人 SBI子ども希望財団 様 1,500,000 円

・さくらの森乳児院

伊藤 麻夫 様	50,000 円
田口 正則 様	20,000 円
赤川 朱美 様	10,000 円
島田 照夫 様	5,000 円
匿名 様	2,500 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円

龍ヶ崎市主任児童委員会 様	5,000 円
西野 玲子 様	5,000 円
匿名 様	5,000 円
匿名 様	100,000 円
匿名 様	4,945 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円

物 品

・臨海学園

高萩市社会福祉協議会 様	米・食品・事務日用品
日興建設(株) 様	菓子
イガラシ綜業 様	文具雑貨、ケーキ
毎日新聞東京社会事業団 様	玩具
菊地青果店 様	果物
ヤマサエコネットサービス 様	飲料
コストコホールセールジャパン様	米・菓子・雑貨
フィリップモリスジャパン 様	ケーキ
ファーストリテイリング 様	衣類
全国シャンメリー協同組合 様	飲料
カープスフードドライブ 様	食品
フィールドマップ 様	青果
日本遊戯関連事業協会 様	米
篠原欣子記念財団 様	菓子・青果
太平産業 様	食品
リスカ株式会社 様	菓子
としのぶさん家の粉 様	たこ焼き粉
日本鏡餅協会 様	鏡餅
みのりや 様	衣類
(株)チュチュアンナ 様	衣類
福田屋 様	茶・食品
東海DOS 様	菓子
ダシーズファクトリー 様	アイス
カルフル 様	青果
岡野農業 小高 様	米
JAIFA茨城県協会 様	時計
ほっともっと 様	DVD
フレーベル館 様	書籍

大橋正男 様	青果・飲料
川口啓予 様	菓子
鹿野光春 様	飲料
松本英美 様	飲料
木村直人 様	米、文具、雑貨
作間 様	青果
ひまわり 様	文具、日用品
大橋亜由美 様	飲料菓子
畠山和夫 様	菓子
奥原 様	菓子
仲西 様	菓子
山田 様	青果
仲田 様	菓子
川邊 様	食品
白岩 様	テレビ他娯楽用品
大橋 様	菓子
大森 様	青果
関根 様	青果
三村 様	菓子
何川 様	青果
風咲 様	書籍
安藤 様	書籍
木村 様	スポーツ用品
中山 様	娯楽用品・家電
荒木 様	家電・日用品

・同仁会乳児院

Amazon 乳児院支援プログラムに協力くださった方々	
東京のお母さん 様	靴
朝日 江梨香 様	乳児用玩具
匿名 様	人形用ベビーカー
高橋 直美 様	汁お椀
匿名 様	SDカード、空気入れ
加藤 尚樹 様	リラックスボトル
加藤 温子 様	掛け時計、玩具
太田 まさ子 様	フック、玩具
匿名 様	マラカス
原島 菜乃葉 様	玩具

Amazon 乳児院支援プログラムに協力くださった方々	
匿名 様	絵本
匿名 様	玩具、パズル他
三浦 麻衣 様	マグネット、お弁当セット他
匿名 様	玩具、お茶碗、絵本
前島 明日香 様	玩具
前田 穂積 様	トミカ、ダーツ他
佐藤 様	歯固め
高柳 春香 様	お茶碗
奥田 純也 様	マグネット
後藤 和美 様	帽子

かんの みゆき 様	ドームミラー
匿名 様	ラカス、タンバリン
大野 様	キッズスモック、玩具他
神宮司 誠仁 様	玩具
匿名 様	絵本
富山 怜子 様	感情ボトル
飯塚 千春 様	動物マグネット
平塚 様	すいすいお絵かき他
みんなで応援プログラム 様	絵本、フック他
サンタクロース 様	玩具、すいすいお絵かき他
末永 陽子 様	玩具、歯ブラシ他
サンタクロース 様	すいすいお絵かき
小野 紀子 様	リトミックスカーフ、粘土
匿名 様	歯固め
二階堂 友彦 様	紙おむつ
匿名 様	歯固め
匿名 様	靴
匿名 様	靴、シール
北岡 様	花火
野村 桃子 様	歯固め、玩具
summer 様	絵本
匿名 様	マスキングテープ
南無阿弥陀佛 様	デジタルタイマー
よしなが さき 様	スタイ
匿名 様	スタイ
ちみ 様	コップ重ね
匿名 様	乳児用玩具
tsumugu sewing room の皆様	
谷川 様	(ロンパース、スタイ、バック、ヘアゴム他)
西 様	山口 様 大野 様 飯田 様
高峯 様	高橋 様 大久保 様
村川 様	大野 様 佐藤 様
作間 様	野菜
柴田 様	野菜
北畠 様	折り紙
梅原 美香 様	紙オムツ、玩具他

・同仁東保育園

菊池青果店 様	果物
Itレボリューション 様	飲み物
鈴木商店 様	ビール・ワイン
筑波銀行高萩支店 様	飲み物
たかはぎ認定こども園 様	飲み物
川崎 様	菓子
松崎 様	菓子
中塚 様	飲み物
大山 様	菓子
大森 様	菓子
佐藤 様	菓子
長谷川 様	トイレットペーパー・ティッシュ
後藤 様	飲み物
石崎 様	菓子
小池 様	玩具・菓子

・ゆうゆうクラブ

今橋 様	菓子
白土 様	菓子
佐藤 様	菓子
滑川 様	菓子

望月 由香子 様	お茶碗
匿名 様	クレヨン
奥田 真希 様	靴
匿名 様	歯固め
匿名 様	マグネットフック
匿名 様	お茶碗、歯固め他
近藤 知子 様	リラックスボトル
南 優香 様	靴
森田 健夫 様	紙オムツ
匿名 様	絵本
匿名 様	ステッカー
横川 寛 様	プラレール
大條 しんや 様	スタイ
アサヒビール (株) 様	お節料理
平塚 様	ままごとベビーカー
岡野農業生産 (株) 様	玄米
宮澤 修 様	リンゴ
小林 和子 様	玩具他
守屋 直美 様	服、靴
山田 博元 様	クリスマスプレゼント
佐藤 珠美 様	菓子、玩具
門司 一徹 様	カード他
明治ホールディングス (株) 様	粉ミルク
日本ベビーサイン協会 様	図鑑、パペット
篠原 欣子記念財団 様	菓子
台湾カラフル 様	バナナ
横浜幸銀信用組合 様	絵本
(株) ストームレイベルズ 様	七五三お祝い
阿久津 美香 様	果物他
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード
佐川 博志 様	プール
芳賀 洋子 様	栗
匿名 様	おくるみ他
谷津 静江 様	粉ミルク定期便
佐藤 香緒利 様	玩具他
柴田 勝典 様	サツマイモ堀体験
大森 郁男 様	米

のぞみそろばん塾 様	菓子
超禅 様	菓子
沼田農園 様	野菜
酒井 (さくら保育園) 様	麵・菓子
大和田 様	野菜・菓子
今橋 様	菓子
才丸 様	玩具・菓子
小林 様	飲み物
柴田 様	菓子
加藤 様	菓子
平尾 様	菓子
阿部 様	野菜・菓子
関根 様	飲み物
永沼 様	菓子

松井 様	菓子
鈴木 様	菓子
渡邊 様	菓子
織田 様	菓子

春日 様	菓子	鈴木 様	日用品 飲み物
橋本 様	菓子	鈴木 様	菓子
佐川 様	菓子	田中 様	文房具 菓子

・同仁会地域子育て支援センター

皆川 様	玩具	白土 様	玩具
長谷部 様	菓子	佐藤 様	菓子
佐山 様	玩具	原 様	玩具・菓子
鈴木 様	玩具	蛭田 様	玩具

・くれよんクラブ高萩

高塩 様	画用紙・手芸用品・菓子	岩内 様	菓子
善方 様	菓子	渡辺 様	菓子
斎藤 様	菓子	鈴木 様	菓子・玩具
飯泉 様	菓子	大森 様	菓子
細谷 様	飲み物・菓子	佐藤 様	菓子
長谷川 様	菓子	今橋 様	飲み物
竹ノ下 様	菓子		

・同仁会子どもホーム

あなたのHeart便PROJECT (Amazon ほしい物リスト) からご協力下さった皆さま

渡辺 五大 様	ボードゲーム,ぬりえ,折り紙	murachi 様	玩具複数
田中 ことみ 様	家電複数	tina 様	玩具複数
浜田 義寿 様	玩具複数	amazon 様	ぬりえ,玩具,シール
青木 祐也 様	ぬりえ	相澤 大雅 様	折り紙,ぬりえ
高橋 直美 様	文具,日用品複数	匿名 様	ぬりえ
名無し 様	すごろく		

物品・食品等の寄付や行事等のご招待

青木 聡美 様	食品	大楽 敏明 様	食品
石川 恭規 様	チョコレート	高瀬 謙一 様	すいか,野菜
一澤 ユアナス 様	米	土田 順一 様	花火
植野 美夏 様	米,菓子	中村 祝美 様	果物
梅田 淳 様	菓子	中村有美子 様	菓子
大谷 節子 様	菓子	芳賀 西次 様	野菜,タオル
小野崎廣喜 様	野菜	長谷川千賀子 様	食品
海藤 朋之 様	タオル	服部 淳一 様	菓子
鹿志村 薫 様	野菜	疋田 志津子 様	絵本
神永 好夫 様	野菜	堀江 沙也香 様	菓子
川並 道子 様	書籍	松村 貴幸 様	バスケットボール
蔵品 誠 様	食品	松本 永遠 様	干しいも
小泉 親彦 様	野菜	溝口 良弘 様	絵本
小松 肇 様	食品	三輪 崇夫 様	食品,家電,文具
小山 様	菓子,玩具,雑貨	門司 一徹 様	クリスマスカード
坂本 昭治 様	菓子	八木 政一 様	干しいも
作間 政雄 様	菓子,タオルケット	山本 千賀子 様	菓子
佐野 羽奏 様	菓子	若林 初枝 様	果物
柴田 絵瑠 様	衣類	渡辺 寛 様	絵本
荘司 恒夫 様	食品	笑家・富永茂樹 様	食品
鈴木 一行 様	野菜	ご芳名非公表の方	食品

NPO法人ALBERIDEL CACA0-カカオの木 様	カレンダー	ルイ・ヴィトンジャパン・株式会社 様	イベント招待
株式会社 井戸川建築 様	菓子	公益財団法人資生堂子ども財団 様	セミナー招待
キッチンやさい畑 様	菓子	公益財団法人報知社会福祉事業団 様	野球観戦招待
大部林業製材所 様	菓子	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック 様	サッカー観戦招待
北方そばの会 様	生そば		
GROOVE X 株式会社 様	家族型ロボット	株式会社茨城ロボッツエンターテイメント 様	バスケットボール観戦招待
一般財団法人ぐるーん佐藤香緒利 様	おせち料理		
NPO法人子ども食堂れん 様	食品	いばらきコープ生活協同組合 様	サッカー観戦招待
サンエックス株式会社 様	ぬいぐるみ,文具	東京ガスネットワーク株式会社 様	キッズシアター招待
JA常陸高萩地区女性部高萩支部 様	もち米	公益財団法人シェアチアアップメント日本 様	イベント招待

コバヤシ花店	様	クリスマスメント
株式会社 講談社	様	書籍
全国シャンメリー共同組合	様	シャンメリー
コストコホールセールジャパン	様	食品
株式会社チュチュアンナ	様	靴下
東海DOS	様	菓子
公益財団法人24時間テレビチャリティ委員会	様	グルメ券、旅行券
正念寺	様	食品
日本鏡餅組合	様	鏡餅
公益財団法人日本漢字能力検定協会	様	問題集
JAIFA茨城県協会	様	デジタル時計
株式会社 日本教文社	様	カレンダー
一般社団法人ハートリボン協会	様	絵本

NPO法人里山文化ネットワーク	様	蛭鑑賞
太平産業株式会社	様	イベント招待
日本赤十字社アマチュア無線奉仕団	様	炊き出し、野菜、衣服
スタジオ千成屋	様	七五三等写真撮影
不二家高萩イオン店	様	日用品、菓子
株式会社フレーベル館	様	絵本
ほっともっと	様	DVD
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	様	玩具
株式会社ゆうちょ銀行	様	カレンダー
株式会社ユニクロ	様	衣類
リスカ株式会社	様	菓子
ユニマテック株式会社	様	野菜
株式会社パイロット	様	文具
フードバンク茨城	様	食品

・内原和敬寮

水戸ホーリーホック様	様	試合観戦
茨城乳配(株)様	様	クリスマスプレゼント
ゆうちょ銀行様	様	カレンダー
バイクサンタ様	様	玩具、雑貨等
フードバンク様	様	食品
日本教文社様	様	書籍
地域の学校様	様	映画鑑賞
いばらきコープ生活協同組合様	様	試合観戦
㈱チュチュアンナ様	様	靴下
としのぶさんちの粉様	様	食品
日本鏡餅組合様	様	鏡餅
㈱フレーベル館様	様	書籍
鹿野光春様	様	食品
日本出版販売株式会社様	様	書籍
朴明俊・朝子様	様	食品
楢崎 ひろ子様	様	食品
㈱リスカ様	様	食品
医療法人協会ボンボン保育園様	様	催し物招待
那須記念財団様	様	文具
千成屋様	様	写真撮影
堀江製菓様	様	コンサート招待
篠原光様	様	食品
吉江哲様	様	食品
松村貴幸様	様	ボール
吉成智子様	様	書籍
溝口良弘様	様	書籍

全国シャンメリー協同組合	様	食品
コストコひたちなか店	様	おもちゃ、菓子等
ほっともっと	様	DVD
茨城県サッカー協会	様	試合観戦
ローソン水戸内原店	様	食品
JAIFA	様	時計
TOCAR FOOTBALL	様	サッカー教室
茨城県共同募金会	様	クリスマスプレゼント
坂田雅之	様	食品
茨城ロボッツ	様	試合観戦
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団	様	玩具・スポーツ用品
ローソン水戸内原	様	食品
餃子の王将水戸桜通り店	様	食品
東海設計	様	食品
水戸西ロータリークラブ米作り隊	様	食品
(公財)日本漢字能力検定協会	様	教材
(株)フレーベル	様	書籍
カスミニオン	様	DVDプレーヤー・DVD
篠原欣子財団	様	食品
鹿島臨海ロータリークラブ	様	ランドセル
茨城県遊戯業協同組合	様	食品
東海DOSE	様	食品
情熱クラブ	様	催し物招待
西尾美代子	様	食品

©Amazon欲しいものリストより

中崎 様	様	家電製品
所 様	様	家電製品

・児童家庭支援センターあいびー

餃子の王将	様	食品
おてらおやつクラブ	様	食品

フードアライアンス	様	食品
-----------	---	----

・内原深敬寮

石橋 様	様	野菜
佐竹 様	様	メロン
分教室 様	様	野菜
真下 様	様	野菜
楢沢 様	様	梨・リンゴ
遊戯共同組合	様	米
東海DOS	様	菓子
寺田 様	様	商品券

東海設計株式会社	様	さつまいも
(株)笠間ソフトメン橋本屋	様	生ラーメン
(株)リスカ	様	菓子
石川 様	様	菓子
フードバンク	様	食品
田原 様	様	ジュース
村上 様	様	お茶

・つくば同仁会子どもセンター (つくば香風寮、さくらの森乳児院)

(有)ハート企画 吉倉 尚希 様 お菓子
 広瀬 美津子 様 餃子
 古山 和一 様 野菜・お米・花苗 他
 山崎 桃子 様 玩具・靴
 茨城直売(株)様 野菜
 子育て応援「バトンの会」様 衣類・玩具
 つくばフォレストクラブ 様 野菜

茎崎地区民生委員 様 お菓子
 横田 文雄 様 お菓子
 石山 由美子 様 野菜
 吉原 くに子 様 衣類
 大石 有紀子 様 衣類
 樋口 カズ子 様 食品
 石田 謙一 様 お米

・つくば香風寮

TOCAR FOOTBALL協会 様 サッカー教室開催
 リスカ株式会社 様 お菓子
 つくばアウルライオンズクラブ 様
 果物狩招待・クリスマスケーキ・手袋
 株式会社フレーベル館 様 書籍
 全国シャンメリー協同組合 様 シャンメリー
 ほっともっと 様 DVD
 日本鏡餅組合 理事長 樋口 元剛 様 鏡餅
 毎日新聞東京社会事業団 様 玩具・ボール他
 JAIFA 茨城県協会 様 時計
 メクテック株式会社 様 食品
 飯島 悦子 様 靴
 茨城県職員 様 日用品
 フードバンク茨城 様 食品
 鈴木 直美 様 衣類
 高野 てる子 様 ぬいぐるみ
 島田 照夫 様 梨
 倉重 正樹 様 お米
 酒井 政彦 様 お米
 須加尾 晴美 様 雑貨
 大東建託リーシング(株) 様 玩具
 (株)イーラニング研究所 様 ボードゲーム
 しみず整形外科リハビリクリニック 様 ランドセル
 コストコホールセールジャパン つくば倉庫店 様
 食品・日用品

(株)相澤建築設計事務所 相澤 様
 (株)飯塚造園 飯塚 様
 (株)山崎煙火製造所 山崎 様
 (株)大和田建設 大和田 様
 大里農園 大里 様
 (株)須藤設計 櫻井 様
 大成不動産(株) 沼尻 様
 沼尻産業(株) 中崎 様
 (株)椿屋商事 瀬戸口 様
 戸田建設(株) 関東支店 渡部 様
 えるふ農園 長谷川 様
 新和アメニティ(株) 新村 様
 日本都市開発(株) 山田 様
 (一財)つくば都市交通センター 関 様
 (有)大樹設計事務所 岸田 様
 (株)佑弘物流 五頭 様
 中根 祐一 様 自転車
 ◎Amazonほしい物リストでご支援いただいた方々
 さぶろう 様 日用品
 明日がいい日でありますように 様 日用品
 匿名でのご寄付の皆様 玩具・衣類・日用品
 クリスマスプレゼント・食品・文房具 他

・さくらの森乳児院

明治ホールディングス株式会社 様 ミルク
 いばらきコープ生活協同組合 様
 粉ミルク・紙おむつ
 横浜幸銀信用組合 様 書籍
 カープスフードドライブ 様 食品
 日本ベビーフード協議会 様 ベビーフード
 ◎Amazon乳児院支援プログラムでご支援いただいた方々
 送り主 様 チャイルドシート・ブースターシート
 サンタ 様 玩具
 おんじんじ 様 ブースターシート
 将軍 様 玩具
 2歳の子を育てる母 様 絵本
 ひみママ 様 玩具
 a 様 玩具
 ユリ 様 玩具

日本ベビーサイン協会 様 書籍
 (株)ブライトアップ 様 衣類
 菅野 明奈 様 衣類・日用品
 平野 千尋 様 玩具・日用品
 永田屋 様 衣類
 石田 謙一 様 お米
 広島のサンタ 様 絵本・玩具・日用品
 モフリーノ・モフリータ 様 干し芋
 ぼぼ 様 玩具
 pukutai 様 バッグ・日用品
 いよ 様 絵本
 匿名でのご寄付の皆さま 日用品・絵本・お菓子・麦茶
 衣類・アルバム・玩具 他

13) 令和7年度ボランティア活動受入の状況

・臨海学園

・散髪 小貫結宇多 様
 ・散髪 桑名沙友里 様
 ・レクリエーション 関暁夫 様・情熱クラブ一般社団法人 様
 ・人形芝居観劇 おてらおやつクラブ 山添真寛 様 長松寺 中村純裕 様

・同仁会乳児院

- ・エプロンシアター 鈴木弘子 様
- ・抱っこボランティア 佐藤香緒利 様 阿久津美香 様
- ・いとの会出し物 茨城キリスト教大学学生9名(人形劇サークルTanpopo) 様
- ・ふれあい 清水真星 様

- ・同仁東保育園
 - ・エプロンシアター 鈴木ヒロ子 様
 - ・パネルシアター レインボーおはなしの会 様

- ・ゆうゆうクラブ
 - ・お話し会グループ 5名様
 - ・行事のボランティア 高校生2名様

- ・同仁会地域子育て支援センター
 - ・子育て支援事業サポーター 主婦 8名様
 - ・エプロンシアター 主婦 1名様

- ・同仁会子どもホーム
 - ・散髪 鹿志村 薫 様
 - ・裁縫(手提げ袋、台布巾等の作成) 唐沢みちこ 様
 - ・生活支援 山藤 勉 様
 - ・行事補助 作間 政雄 様
 - ・そば打ち 北方そばの会 様
 - ・ホテル学習会・工作 NPO法人里山文化ネットワーク 様

- ・くれよんクラブ高萩
 - ・遊びのボランティア 県立日立北高等学校学生 1名

- ・内原和敬寮
 - ・空手教室 社会人 2名様
 - ・調理 社会人 1名様
 - ・遊び・余暇 医療法人社団職員
 - ・セブンイレブン株式会社 様 職場体験

- ・内原深敬寮
 - ・学習ボランティア 大学生 1名様

- ・つくば香風寮
 - ・イタリアンご招待 アルゾーニ・イタリア 様
 - ・いちご狩り・ブルーベリー狩り体験・炊飯体験 つくばアウルライオンズクラブ 様
 - ・花の植え替え 大好き茨城 様
 - ・焼肉ご招待 プラネタリウム焼肉72& BarB 様
 - ・散髪 美容師 小松 様
 - ・ラーメン屋台 とんかつ丸三 様
 - ・除草作業 つくば市更生保護女性会 様
 - ・余暇支援 社会人 2名様

- ・さくらの森乳児院
 - ・畑づくり つくば市更生保護女性会 様 地域の方 4名様
 - ・花の植え替え チャレンジ茨城 様
 - ・散髪 美容師 1名様
 - ・ふれあい 主婦 3名様 社会人 9名様 学生1名様

14) 令和7年度保育実習等受入の状況

- ・臨海学園
 - 保育(入所施設)
 - 茨城女子短期大学 6名(10日間) 筑波研究学園専門学校 4名(10日間)
 - 茨城キリスト教大学 3名(12日間) 常磐短期大学 6名(10日間)
 - つくば国際短期大学 2名(10日間) リリーこども&スポーツ専門学校 5名(12日間)

- ・同仁会乳児院

保育（入所施設）

リリーこども&スポーツ専門学校 7名（12日間）
茨城女子短期大学 4名（10日間）
茨城キリスト教大学 4名（12日間）

常磐短期大学 6名（10日間）
筑波研究学園専門学校 4名（10日間）
つくば国際短期大学 2名（10日間）

・同仁東保育園

保育（通所施設）

常磐短期大学 2名（10日間）

・同仁会児童家庭支援センター

臨床心理実習

茨城キリスト教大学 1名（4日間）

社会福祉援助技術現場実習

茨城キリスト教大学 2名（8日間）

・同仁会子どもホーム

保育（入所施設）

常磐短期大学 2名（10日間）

・内原和敬寮

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

リリーこども&スポーツ専門学校 3名（12日間）
茨城女子短期大学 4名（10日間）
常磐短期大学 4名（10日間）
つくば国際短期大学 2名（10日間）
筑波研究学園専門学校 4名（10日間）
山梨県立大学 1名（10日間）

茨城キリスト教大学 1名（24日間）
茨城キリスト教大学 1名（12日間）
常磐大学 1名（12日間）

・内原深敬寮

保育（入所施設）

常磐短期大学 2名（10日間）

臨床心理実習

茨城大学大学院 4名（5日間）
常磐大学大学院 5名（5日間）
茨城キリスト教大学大学院 2名（5日間）

・つくば香風寮

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

茨城キリスト教大学 4名（12日間）
流通経済大学 2名（12日間）
茨城女子短期大学 2名（10日間）
つくば国際短期大学 2名（10日間）

筑波研究学園専門学校 4名（10日間）
東京こども専門学校 2名（10日間）
常磐短期大学 4名（10日間）
東京YMCA保育専門学校 1名（12日間）

臨床心理実習

茨城大学大学院 2名（5日間）

・さくらの森乳児院

保育（入所施設）・コミュニティヘルス実習

つくば国際短期大学 2名（10日間）
常磐短期大学 2名（10日間）
筑波研究学園専門学校 4名（10日間）
茨城女子短期大学 4名（10日間）
つくば国際大学医療保健学部 9名（3日間）

茨城キリスト教大学 4名（12日間）
東京家政大学短期大学部 1名（10日間）
聖徳大学短期大学部 1名（11日間）
東京成徳大学 1名（11日間）

社会医学実習

筑波大学医学専門学群 7名（1日間）

7 部門別運営計画及び令和8年度の状況

1. 同仁会児童家庭支援センター

1) 令和8年度運営計画

SNS相談を含む多様な相談援助を行う中で、児童家庭支援センターの活動もさらに認知が深まり、アウトリーチ事業に対してのニーズの高まりを感じています。特に、乳幼児家庭への訪問相談への協力を、市町村から要望する声も多く、より一層の早期支援へと向かっている地域の子ども家庭支援の方向性は、現場レベルにも浸透してきています。

加えて、他の機関からの人事育成に対するニーズも高くこれまでのカンファレンスへの派遣に留まらず、職員向けのプログラム実施などに対する要望も入るようになりました。

こうした状況から令和7年度には乳幼児家庭への支援展開の模索や、自主企画による研修等の自主事業の実施や計画してきた虐待防止プログラムなどの実施などを実現し、それらを通して、在宅指導委託の受託推進を図って参ります。

1 福祉サービスの向上

- (1) アウトリーチ支援活動の強化
- (2) フォスタリング活動の強化といばらき里親家庭支援センターへの協力
- (3) 支援計画の充実
- (4) 要保護児童対策地域協議会における活動強化
- (5) 社会的養育地域支援ネットワークセミナー茨城大会への協力

2 組織体制の強化

- (1) 乳児院等との連携による支援体制強化
- (2) 多様な職員によるフォスタリング活動への参画
- (3) 新たな市町村連携関係の構築
- (4) 関東ブロックおよび全国児童家庭支援センター協議会への協力

3 人材育成

- (1) 計画的な研修の参加
- (2) プログラムと研修の講師の育成
- (3) 本体施設や機関連携の調整力強化
- (4) 関連団体主催の研修会への参画

4 適正財源の確保

- (1) 活動資金の新たな助成の確保
- (2) 市町村要保護児童対策地域協議会における家庭支援の拡大
- (3) 連携する市町村などの拡大
- (4) 研修講師の派遣や自主事業による収入の拡大

2) 事業の概況

令和7年度は、相談実績として全体に増加傾向にあり、特に近隣地域の相談支援について虐待及び養護相談の増加が目立ちました。また、心理療法の実施実績も大幅に増加しました。これらの現況は、児童家庭支援センターの本来業務としては好ましい方向であり、地域における虐待等の支援専門機関として、認知が高まっていることも意味しているのではないかと推測しています。一方で、特に乳幼児家庭を対象としたアウトリーチ事業も開始するなど、未然防止のためのサポートにも力を入れてきました。

県単事業の実績として特筆すべきはSNS相談の大幅増化で前年度比約77%も増加し、内容も虐待養護相談に特化しており、高いニーズを感じる場所ですので、児童相談所とも密な連携を図りながら対応を進めてきました。

新たな傾向として研修等の依頼が多くなってきており、有料事業としての研修サービスも行ってきました。児童家庭支援センターの専門性を活かしながら、独自事業による将来的な収入の拡大を図っていききたいところです。

課題としては、児童相談所の指導委託がなかなか伸びません。これは日立児童相談所の地域的な状況によるところが大きく、児童家庭支援センターの強みを更にアピールしていく必要があります。また、キャリアの浅い職員が増える中で、事業拡大に向けた人材育成は急務となっています。

3) 令和7年度実績

1 福祉サービスの向上

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	21	22	38	41	33	41	36	48	22	35	27	37	401
来所相談	13	11	21	15	7	8	15	7	15	13	15	11	151
訪問相談	42	37	54	23	37	55	32	44	42	39	40	33	478
心理療法等	20	30	16	21	19	25	23	23	37	31	10	32	287
メール相談	5	2	10	2	5	2	4	1	0	2	7	2	42
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
月別延べ件数	101	102	139	102	101	131	110	124	116	121	99	115	1,361

◎相談・指導内容の種別延べ件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
728	165	278	120	0	195	26	2	1	0	0	11	1,361

- ・ 茨城県児童緊急対応事業の受託：延べ6792件（無言、間違い、その他問い合わせ含む）

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				DV	その他	合計	
					性格 行動	不登校	適正	いじめ しつけ				
1096	819	18	32	44	188	4	1	2	44	0	1301	2,730

緊急時対応件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ しつけ			
253	209	0	0	18	10				0	388	669

- ・ SNS相談実績

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
331	136	23	11	10	86	22	4	22	2	0	95	606

- (1) 物資のアウトリーチ支援活動の乳幼児家庭への展開

- ・ 乳幼児家庭アウトリーチ支援「でいじー」実施家庭 5家庭

- ・ アウトリーチ支援「すとっく」実施家庭 13家庭

4月：食品、日用品 10家庭

10月：食品、日用品 14家庭

5月：食品、日用品 9家庭

11月：食品、日用品 13家庭

6月：食品、日用品 10家庭

12月：食品、日用品 19家庭

7月：食品、日用品 14家庭

1月：食品、日用品 14家庭

8月：食品、日用品 11家庭

2月：食品、日用品 10家庭

9月：食品、日用品 11家庭

3月：食品、日用品 10家庭

- (2) 独自プログラムと研修サービスの実施

- ・ 株式会社アンフィニからの要請による学童保育職員対象研修 2回

- ・ 高萩認定こども園からの要請による保育職員対象研修 1回

- ・ 高萩市民生委員協議会における思春期問題理解の研修 1回

- ・ 高萩市社会福祉協議会からの要請によるファミリーサポーター対象研修 1回

- ・ 法務少年支援センターみとからの要請による職員対象研修 1回

- ・ 子育て支援センターからの要請による一般家庭保護者対象研修 1回

- ・ 法人内学童クラブからの要請による児童対象アサーショントレーニング 1回

○プログラム実施

- ・ プログラム「ばらそる」 9ケース 述べ101回実施

(3) 本体施設との連携による指導委託の積極的推進

○本体施設（同仁会子どもホーム）との連携による児童相談所からの指導委託

日立児童相談所：2ケース：延べ55回

土浦児童相談所：2ケース：延べ96回

○要保護児童対策地域協議会対象ケースへの支援

高萩市	449件（実件数 31件）	日立市	215件（実件数 3件）
北茨城市	355件（実件数 21件）	その他の地域	0件（実件数 0件）

○会議への参加

高萩市		北茨城市	
個別支援会議	1回	個別支援会議	0回
実務者会議	5回	実務者会議	11回
進行管理会議	8回	進行管理会議	0回
代表者会議	1回	代表者会議	0回

(4) フォスタリング事業への協力

○同仁会子どもホームの里親カフェでの研修実施

5月28日	「社会的養護の方針と里親の現状と方針」	(心理士による講義)
6月25日	「トラウマ及びトラウマケアについて」	(心理士による講義)
9月24日	「子どもの権利とアドボカシー」	(心理士による講義)
10月22日	「乳幼児発達」	(心理士による講義)
11月26日	「支援者の心構えと守秘義務について」	(相談員による講義)
12月23日	「不適切養育防止」	(心理士による講義)
1月28日	「発達障害について」	(心理士による講義)
2月25日	「支援者のメンタルヘルス」	(心理士による講義)

○茨城県里親関連事業

9月26日里親セミナー 「障害の一視点」 (心理士による講義)

・里親基礎研修会 1回

・登録前里親研修 2回

2 組織体制の強化

(1) アウトリーチ活動による支援体制の強化

地域で特定妊産婦の割合が高く、支援ニーズがより高まっていました。より早期からの虐待防止が求められる中、支援体制を強化することを目的とし、妊産婦、及び乳幼児の家庭を対象としたアウトリーチ事業「でいじー」を開始しました。家庭から、「子どもに与えられる食料がない」と緊急の援助を求める連絡が入った際に、迅速に対応することができました。

(2) 新規事業実施体制の整備

新規のアウトリーチ事業や市からの受託事業の担当体制を検討し、担当者に対するサポート体制を整備しました。

(3) 本体施設との連携強化

研修における連携を通して、双方で実施する研修に講師派遣や合同受講などを行ってきました。本体施設から性教育に関する講師の派遣、視察研修の同行、本体におけるトラウマインフォームドケアの研修参加、本体施設の研修や里親カフェに対する講師派遣など行ってきました。

(4) フォスタリング事業へのバックアップ体制整備

これまでは里親支援を担当してきた職員によってフォスタリング活動が推進されてきましたが、その他の職員もこの活動に具体的にサポートすることができました。既述の里親カフェでの講師を派遣して講義などをを行っています。

(5) 全国児童家庭支援センター協議会への協力

全国児童家庭支援センター研究協議会(横浜)に職員が参加しています。その他、書籍発行への原稿協力を行っています。

3 人材育成

(1) 初任者育成の強化

2年未満の職員が増える中、児童家庭支援センターの基礎業務理解が重要となっています。職員それぞれに担当サブリーダーが業務進捗確認面談等を実施し、その中で職員の相談支援体制を整えました。

(2) プログラムと研修の講師の育成

プログラム理解を全体に促進させるほか、ほぼ固定化していた講演会や講義への派遣職員を、これまでとは違った職員に経験させ、好評を得ました。

(3) 本体施設や機関連携の調整職員の育成

本体施設との調整はスムーズとは言えず今後も課題を残しています。また、今後の職員配置において、「機関調整担当職員」が配置される可能性もあることから引き続き丁寧に育成を進めて参ります。

(4) 外部専門研修の計画的参加

職員ひとりひとりに研修計画を策定し、外部研修には計画的に参加してきました。キャリアパスの概念をもとに、全職員がキャリアに応じて指定された研修を受講する体制をとっています。

4 適正財源の確保

(1) 児童相談所指導委託の受託推進

◎児童相談所からの委託による指導

＜ 対応延べ数 ＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	10	15	50	20	30	17	22	26	28	24	30	283

＜ 指導内容の種別 (実人数) ＞

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
				性格 行動	不登校	適正	しつけ				
3	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	6

日立児童相談所 3件 中央児童相談所 1件 土浦児童相談所 2件

(2) 市町村要保護児童対策地域協議会における家庭支援の拡大

◎市町村要保護児童対策地域協議会からの委託による指導

＜ 対応延べ数 ＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
45	42	44	55	57	67	96	72	72	77	51	73	751

＜ 指導内容の種別 (実人数) ＞

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
				性格 行動	不登校	適正	しつけ				
15	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15

高萩市 5件 日立市 2件 北茨城市 8件

(3) 市町村事業の受託と新たな事業の開拓

・高萩市要保護児童対策地域協議会研修・啓発、専門的支援事業の継続受託

実務者会議構成機関対象研修会 : 2回

①講義: 秋山 邦久 氏 (常磐大学人間科学部心理学科教授)

「インシデントプロセス法」

講義: 秋山 邦久 氏 (常磐大学人間科学部心理学科教授)

「インシデントプロセス法」

②視察研修: 常陸大宮市 総合保健福祉センターかがやき

③オレンジリボンキャンペーン: 市内店舗・市産業祭での啓発グッズ配布

(4) 自主事業による収入確保

既述の通り、今年度から有料による研修実施を行ってきました。市内の学童保育を運営する株式会社アンフィニからの要請を受け、研修事業を実施しました。内容的についておかげさまで好評を得ることができ、今年度も引き続き実施予定となっています。今後もこうした専門性を活かした独自事業による収入の確保を目指していきたくところです。

2. 児童家庭支援センター あいびー

1) 令和8年度運営計画

児童家庭支援センターあいびー内では、児童家庭支援センター業務に併せ、児童養護施設退所者等のアフターケアを行う社会的養護自立支援拠点事業、里親に関する支援を行う里親養育包括支援事業を行っています。

児童家庭支援センターでは、専門的な相談援助やプログラムの提供により指導委託の受託強化を図ると共に地域の子育て家庭への広報周知活動を推進しています。今後も関係機関との連携体制を維持し、地域の子ども家庭の健やかな育ちを支援していきます。

社会的養護自立支援拠点事業では、児童養護施設や自立援助ホームからの対応依頼や協働して支援する機会が増えています。また、児童福祉施設の専門性向上のための研修会の充実や、入所児童向けの行事拡充等を通して、児童福祉施設との連携体制が構築されつつあります。今後は、児童相談所や市町村との連携体制の構築を図り、里子や虐待経験者など、多様なニーズの相談に対応できるよう努めます。

里親養育包括支援事業では、SNSの運用を県内で統一することで里親制度に関心を持った方に受け取りやすい情報発信を目指します。里親支援等においては、地域や関係機関との連携強化を図り里親子のニーズに沿ったサポート体制の充実を推進します。

1 福祉サービスの向上

○児童家庭支援センター

- (1) 市町村や各事業所、児童相談所等との連携強化と支援体制の維持
- (2) グループでのペアレント・トレーニングの実施及び市町村への講師派遣事業の開拓
- (3) 地域親子交流の場の提供
- (4) 食支援等を活用したアウトリーチによる相談支援の推進

○社会的養護自立支援拠点事業

- (1) 多様な形の居場所事業を通じた相互交流の場の提供
- (2) 対象者のニーズに沿った支援計画及び多角的なアセスメントに基づいた生活・就労相談実施
- (3) 様々なケースへの協働を通して、児童福祉施設や児童相談所・市町村等、関係機関との連携強化

○里親養育包括支援事業

- (1) 児童相談所や市町村、地域との連携強化と支援体制の構築
- (2) 市町村の子育て短期支援事業において、里親家庭の活用を推進していく橋渡しを行い、地域での子育て支援体制の強化を図る
- (3) 地域や市町村と協働した広報啓発活動の実施

2 組織体制の強化

- (1) 本体施設との連携体制強化
- (2) 報告、連絡、相談の徹底
- (3) 専門研修の計画的実施
- (4) 三事業相互理解の促進と連携強化
- (5) 県内児童家庭支援センターとの連携体制の推進

3 人材育成

- (1) 人事考課の実施
- (2) 各種研修、法人研修への積極的な参加

4 施設・環境の整備

- (1) 職場環境の整備と管理の徹底

2) 事業の概況

《児童家庭支援センター》

令和7年度は、児童相談所からの指導委託の安定的な受託に加え、新たに市町村からの指導促進事業を受託しました。要保護児童対策地域協議会実務者会議の構成員となった市町村もあり、市町村との連携体制の構築が強化されつつあります。また、児童相談所と共催による子育て支援プログラムの実施や子育てサロンの開催といった新たな取り組みを行い、好評を得ています。年々、相談件数が増加している状況のため、専門性の向上に努めながら地域のニーズに沿った支援を提供して参ります。

《社会的養護自立支援拠点事業》

令和7年度は居場所事業の内容を拡充し、参加者は大幅に増加しました。また、対応人数も大幅に増加しており特に、児童福祉施設や児童相談所からの対応依頼や協働して支援する機会が増えています。また、自立支援担当職員等の専門性向上のための研修や入所児童向けの行事などを通して、児童福祉施設との連携体制が強固になっています。関係機関との連携体制の維持と多角的なアセスメントに基づく支援計画の策定を継続し、里子や虐待経験者など、多様なニーズに対応できるよう努めて参ります。

《里親養育包括支援事業》

令和7年度は、里親制度の周知と関心喚起を目的に、オンラインセミナーや里親カフェを開催し、地域住民が気軽に制度に触れられる機会を提供してきました。これらの取り組みに加え、里親ポータルサイトの活用が進み、

サイトを通じた参加申し込みや問い合わせが前年より増加するなど、広報活動の成果が見られました。

今年度は、管轄する全市町村で里親制度説明会を開催し、より多くの地域住民が身近に里親制度を知る機会を提供していきます。引き続き、里親委託の推進に向け、質の高い里親のリクルートに努めていきます。

訪問等支援事業では、家庭訪問や電話・SNSによる相談対応を継続して行い、日常的な不安や困りごとに寄り添う支援体制を維持してきました。また、里親同士の横のつながりを強化するため、里親子が交流できるサロンを定期的に開催し、孤立感の軽減や情報共有の促進につなげてきました。

今年度は、里親委託率の維持を目標に、不調の予防や早期対応を重視し、支援体制の質の向上に取り組んでいきます。今後も、里親委託の定着を図るため、里親子へのサポート体制を一層強化して参ります。

3) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議・研修に積極的に参加し自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) あいびり会議・・・月1回
- (2) 各部署会議（児家セン、拠点、フォスタリング、）・・・月1回
- (3) 同仁会児童家庭支援センターとの連絡会議・・・月1回
- (4) 里親包括支援
日立、中央、鉾田児相管内会議・・・随時
- (5) 法人リスクマネージャー会議・・・隔月1回
- (6) 法人家庭支援会議・・・隔月1回
- (7) 連絡会議・・・毎朝

2. 安全管理及び保健衛生

- (1) 安全点検・・・月1回
- (2) 非常時避難訓練・・・月1回
- (3) 健康診断・・・年2回
- (4) 保菌検査・・・年2回

4) 令和7年度実績

《児童家庭支援センター》

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	61	56	43	68	66	77	73	70	66	115	50	57	802
来所相談	6	11	12	13	13	20	18	13	19	21	15	29	190
訪問相談	19	23	17	62	56	34	56	35	34	78	7	39	460
心理療法等	11	4	9	11	6	13	9	4	10	2	5	8	92
メール相談	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月別延べ件数	97	97	81	156	141	144	156	122	129	216	78	133	1,550

◎相談・指導内容の種別延件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
461	240	0	85	46	555	110	0	47	1	0	5	1,550

◎児童相談所からの委託による指導<指導内容の種別延件数>

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
4	589	0	0	17	97	0	0	0	0	0	0	707
											実人数	14人

《社会的養護自立支援拠点事業》

◎生活相談（延べ件数）

退所前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講演・生活技能	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
不安・悩み	0	0	0	2	10	3	2	3	3	5	3	18	49
退学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自助	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	6
その他	4	4	6	7	3	7	8	7	1	15	14	20	96
退所後													
生活	92	120	65	61	75	64	84	61	64	80	57	54	877
自助	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0	0	1	7
その他	8	6	12	14	31	20	20	8	24	27	20	16	206
合計	104	130	83	84	120	95	114	85	99	127	94	112	1247

◎就労相談（延べ件数）

退所前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
環境確保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職場開拓	0	3	2	3	0	0	0	0	0	0	1	1	10
面接等	0	0	0	0	9	5	0	0	0	0	0	0	14
フォローアップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	1	3	5	22	12	6	9	2	15	1	7	87
退所後													
環境確保	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
職場開拓	4	1	3	4	1	0	11	12	0	0	2	2	40
面接等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フォローアップ	2	13	9	2	0	7	1	0	2	5	1	1	43
その他	2	3	0	0	1	2	0	2	0	2	2	3	17
合計	12	21	17	14	33	26	18	23	5	22	7	14	212

《リクルート事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談／電話・メール等	3	11	6	18	24	6	9	15	2	8	21	11	134
外部向け制度説明	3	3	2	1	6	4	4	13	1	2	4	2	45
ガイダンス	10	4	7	1	2	17	5	2	2	4	1	1	56
合計	16	18	15	20	32	27	18	30	5	14	26	14	235

《訪問等支援事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談／電話・メール等	48	53	62	62	27	20	23	25	11	21	35	22	409
家庭訪問	26	28	25	17	31	23	8	34	22	18	14	12	258
実家庭交流	1	1	0	1	2	0	1	1	0	3	1	1	12
レスパイト調整	5	3	0	8	7	0	0	2	1	0	6	2	34
里親交流	0	8	9	47	0	2	5	14	69	27	7	9	197
合計	80	93	96	135	67	45	37	76	103	69	63	46	910

3. 発達障害者支援センター COLORSつくば

1) 令和8年度運営計画

令和7年度は、茨城県障害福祉課および発達障害者支援センター「あい」との連携を深め、三者会議を軸とした協働体制の強化に取り組みました。また、地域の支援基盤づくりを目的としたアウトリーチや、多分野との連携推進にも継続して力を注いできました。

令和8年度も、これまでの方針を継続しつつ、地域全体で発達障害支援を支える体制の一層の充実を図ります。専門機関として、支援者支援や広域的な相談支援の質向上に重点を置き、職員の専門性向上とチーム力の強化を進めます。さらに、研修会やセミナーを通じた普及・啓発にも積極的に取り組み、地域の支援力向上につなげます。

また、地域ニーズに応じたアウトリーチの継続に加え、関係機関との協働を深化させ、県民の皆さまが安心して相談できる支援体制を整備します。医療・福祉・教育・労働・司法など多領域との連携を強化し、発達障害のある方やご家族、支援者の皆さまに寄り添った支援を展開してまいります。

今後も、地域における発達障害支援の中核機関としての責務を果たし、期待に応えられるセンター運営に努めてまいります。

1 施設提供サービスの向上

- (1) 地域支援や機関コンサルテーション等、広域支援・間接支援機能の強化
- (2) 県障害福祉課、市町村、各種事業所、医療機関等との連携強化
- (3) 相談支援・発達支援・就労支援におけるアセスメントやソーシャルワークの強化
- (4) 研修やセミナー、講演等の強化と発達障害の普及・啓発

2 人材育成

- (1) 外部専門研修への参加による専門性の向上
- (2) 人事考課の実施
- (3) 他機関との連携によるスキルアップ
- (4) センター内OJTの実施

3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 人材定着のための職場環境づくり
- (3) センター内の中長期計画の策定
- (4) リスクマネジメント意識の徹底と具体的取り組み
- (5) 報告・連絡・相談の徹底

4 財政基盤強化

- (1) コスト意識・節約意識の徹底

2) 事業の概況

茨城県発達障害者支援センターCOLORSつくばは、発達障害のある方やそのご家族、そして地域の支援機関を支えるため、相談支援、発達支援、就労支援、普及啓発など多面的な取り組みを行っています。令和7年度は、「茨城県発達障害者支援指針(R6~R11)」を踏まえ、相談活動の充実に加え、主催研修や講演会の開催を通じて、地域全体の理解促進と支援力向上に努めてまいりました。また、アウトリーチ支援を継続し、関係機関との連携をより一層深めることで、地域における包括的な支援体制の強化を図りました。

令和8年度においても、引き続き指針に基づき、これまで培ってきた取り組みをさらに発展させ、地域の中核的支援拠点としての役割をより確かなものにしていきます。相談支援の質向上や支援者研修の充実を図るとともに、関係機関との協働を通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

1 相談援助機能

- ・市町村や各支援機関が行う支援のバックアップ
- ・各種地域支援機関との連携による支援
- ・電話、来所等による第一義的な相談支援

2 普及・啓発活動

- ・地域住民対象の講演会の開催、Youtubeを活用した研修動画の配信
- ・関係機関・支援者対象の研修の開催
- ・外部機関が開催する研修への講師派遣

3) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) COLORSつくば職員会議 … 月 2 回
- (2) COLORSつくばケース会議 … 月 2 回
- (3) 県障害福祉課、「あい」との三者会議 … 月 1 回
- (4) 法人リスクマネージャー会議 … 隔月 1 回

2. 安全管理

- (1) 安全管理の点検 … 月 1 回
- (2) ヒヤリハットによるリスク管理 … 月 2 回

4) 令和7年度実績

事業内容		実績	
1. 相談支援・発達支援	実支援件数	493	
	延支援件数	1,102	
	心理学的判定	3	
2. 就労支援	実支援件数	34	
	延支援件数	89	
3. 関係施設及び関係機関への普及啓発及び研修	(1) センター主催または共催の研修	実施回数	6
	(2) 外部機関への講師派遣	実施回数	51
4. 関係機関等との連携	(1) 連絡協議会の開催状況	実施回数	1
	(2) 他の協議会への参加状況	参加回数	37

相談内訳		実績
1. 年齢別内訳	0～6歳	23
	7～12歳（小学生）	69
	13～15歳（中学生）	39
	16～18歳	58
	19～39歳	207
	40歳以上	98
	不明	33
	合計	527
2. 障害名別内訳 （複数診断の場合、重複）	自閉スペクトラム症（ASD）	112
	注意欠如多動症（AD/HD）	78
	限局性学習症（LD）	8
	上記以外の発達障害（協調性運動障害等）	34
	不明（未診断含む）及びその他	319
	合計	551

4. 同人会地域子育て支援センター（子育て支援室「カムカム」）

1) 令和8年度運営計画

少子化や核家族化が進む中、近年の課題として子育ての孤立化、不安感や負担の増加、子どもと多様な大人との関わりが減ったことが挙げられます。そのような状況の中、子育て支援センターに求められる役割は「親と子どもの最大の理解者」であることだと考えます。安心して遊べる場所や育児について学べる場所、悩みを相談できる心の拠り所として、関係機関と連携を図りながら、地域の人と人との関係を紡ぎ出すことができるよう、次の事項を推進して参ります。

1 子育て支援事業の強化

- (1) 子育て親子が交流する場の提供と交流の促進
- (2) 育児不安や親自身の悩みに対する支援などの相談機能の強化
- (3) 年齢発達に合う適切な生活習慣についての情報発信による親支援
- (4) 看護師や児童家庭支援センター職員による子育て講座の実施
- (5) 周産期にあたる家族への支援
- (6) 幅広い親支援の継続的实施
- (7) 集団療育の実施

2 食育の推進

- (1) 食に関する情報の発信
- (2) 栄養士による手作りおやつ教室、離乳食教室、子育て講座の実施
- (3) 食に関する紙芝居、絵本、パネルシアター等の実施

3 環境問題への取り組み

- (1) 節電、節水など省エネの実践
- (2) エコ指導と情報発信
- (3) 家庭だけでなく、公共の施設に対するエコ活動の推進

4 感染症・アレルギーの対策

- (1) 手洗い、うがい、手指の消毒、来所時検温の施行
- (2) 提供おやつのパッケージの表示
- (3) 感染症についての情報発信
- (4) 室温、換気、湿度の調整
- (5) 活動時のソーシャルディスタンスの確保

5 職員の資質向上

- (1) 研修会への積極的参加
- (2) ペアレントトレーニングの導入と実践

6 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

2) 事業の概況

少子化や就園時期が早まっていることで未就園児が少なくなり、また地域の子育て支援事業が充実する中、選ばれる子育て支援となるための工夫を重ねて参りました。K i F T やちびっこ広場を年齢別ではなく、どの年齢でも参加できるようにした事や、1回毎の開催にイベント性を持たせた事で、「いつでも行ける場所」「何度行っても楽しめる場所」にできたのではないかと思います。それにより、参加頻度が増え、親子に寄り添うことができ、相談件数、特に予約制の個別相談の利用者が増えたことは一定の成果だと考えます。就園後も保護者だけで参加できるイベントや相談日を設けることで、切れ目のない支援を行っていきたいと思っています。

また、ホームページだけでなく、インスタグラムを使った情報発信を始めたことで、子育て世代の方たちの目に触れる機会も増え、子育て支援の存在や活動を知っていただくきっかけになったのではないかと思います。子育て中の親子の孤立化を防ぐため、今後も様々な形での情報発信を続けていきたくと思っています。

これからも、母親向けの子育て講座や毎月発行の「カムカム」でも、ペアレントトレーニングを基とした、具体的で効果的な対応の仕方を伝えることで「ほめて、のばして、ラクラク子育て」を実感してもらえるようにし、子どもたちの健やかな成長と発達に繋げていきたくと思っています。また、親子にとっての学びの場、安らぎの場であり続けたいと思っています。

事業計画

1. 育児等、主に妊産婦、乳幼児のいる家庭への相談事業
2. 乳幼児の成長につながる遊びの実践と主体性を発揮できる場の提供
3. くれよんクラブ、児童家庭支援センターと連携した 集団療育事業の開催
4. 子育てサークルの育成・支援
5. 同仁東保育園と連携し、一時保育等の特別保育事業の実施
6. 子育て情報の収集・提供・発信
7. 子育て支援のための講座の開催

事業内容

- 1 「K i F T(キフト)」(Kids Forum Talky=「ちびっこ広場」の造語)の開催
 - *毎月第1・2・3木曜日に0歳から就学前までの年齢の未就園児対象に開催。
母親のリフレッシュ、仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間・育児相談の場の提供。
 - *毎月第3水曜日に「くれよんK i F T」(おおむね2歳～未就学児とその親)
歌やリトミック、体を動かす遊びなど、親子で遊びながら子どもの発達をはぐくむ関わりを支援。
 - *毎月第2水曜日にくれよんK i F T開放日 くれよんK i F T利用親子に共有空間を提供
また、就園後は親のみの参加も受け入れ、就園後も継続支援。
- 2 「ちびっこ広場」の開催
 - *毎月第1・2・3火曜日に「ちびっこ広場」を同仁東保育園で開催。
 - *保育園保育メニューを地域の未就園児とその親に提供し、保育園児との交流も図る。
年に2回程度、公園等への遠足を設定。地域の親子も巻き込み、交流を図る。
月1回給食体験、年2回離乳食体験を開催、また、希望者には随時園内見学など就園に対する不安解消を図る。
- 3 ゆうゆうK i F Tの開催
 - *毎月第3金曜日に、母親リフレッシュのための趣味の講座を開催。
年に2回、親子おやつ作りと食育相談を開催。
- 4 「M a F T(マフト)」(Maternity Forum Talky=「マタニティの広場」の造語)の開催
 - *周産期にある家族(特に初妊婦)への支援。母親のリフレッシュ・仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間と育児情報の提供。(予約制)
 - *「ちびっこM a F T」の開催
周産期から産後1年までの母親への支援。保育園とも連携し、看護師、栄養士への育児相談の場を提供する。
- 5 外部との連携
 - *高萩市健康づくり課との連携(「すこやかランド」に職員派遣)
 - *高萩市生涯学習課との連携
市内小学校・幼稚園・保育園向け「子育て講座」に職員派遣
- 6 子育て情報の発信
 - *KiFTなど支援事業の参加者に配布する機関紙(「Co.me Com.e(かむ かむ)」)の作成・発行。
 - *インターネット・メール(パソコン・携帯電話)による育児情報を地域の親子に発信。
 - *ブログ、インスタグラムによる最新情報の発信
- 7 特別保育事業の実施
 - *乳幼児の母親のリフレッシュを含む一時預かり保育を保育園と連携して行う。
- 8 子育てサークルの支援
 - *育児の情報交換の場として、「カムカムのおへや」(サークル支援室)を子育てサークルに開放し利用を促す。
- 9 子育て講座(お話し会)の開催
 - *子育てに関する講演会、講座等を開催する。
K i F T、ちびっこ広場で、子育て講座「ほめ方のコツ、上手な注目の外し方、指示の出し方」等を実施。
- 10 その他
 - *育児の情報の入手手段を持たない家庭への情報発信、育児ストレスの軽減、仲間づくりの促進を図る。

3) 令和7年度実績

1 職員の研修

市関係 4名 法人・施設 8名 その他 2名 計14名

2 子育て支援室相談状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
育児	3	6	8	3	0	2	3	2	2	5	2	4	40
しつけ	1	0	1	0	0	1	0	1	1	4	1	1	11
健康	2	1	3	0	0	0	1	1	0	1	1	0	10
食事	0	3	0	0	0	3	2	1	3	5	2	1	20
発達	2	3	2	1	0	2	1	2	1	2	1	1	18
電話問い合わせ	3	1	2	1	3	4	6	1	2	1	0	2	26
問い合わせ	1	3	3	3	0	2	2	2	4	1	3	2	26
その他	0	1	1	2	0	3	3	1	1	2	3	0	17
合計	12	18	20	10	3	17	18	11	14	21	13	11	168

3-1 赤ちゃんK i F T開催状況 (1歳未満の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 17	5	10	10月 9	6	12
5月 15	7	14	11月 13	実施せず	
6月 12	6	12	12月 11	7	14
7月 10	7	15	1月 15	6	12
8月	実施せず		2月 19	3	6
9月 11	実施せず		3月 12	10	20
計			57		115

3-2 K i F T開催状況 (1歳の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 24	5	10	10月 16	9	18
5月 22	4	8	11月 20	6	12
6月 19	3	7	12月 18	9	18
7月 17	7	14	1月 22	6	12
8月	実施せず		2月 16	9	18
9月 18	13	27	3月	実施せず	
計			71		144

3-3 K i F T開催状況 (2歳以上の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 10	5	10	10月 2	7	14
5月 8	6	12	11月 6	5	10
6月 5	6	12	12月 4	9	18
7月 3	5	11	1月 8	3	6
8月	実施せず		2月 12	4	8
9月 4	11	24	3月 5	3	6
計			64		131

3-4 くれよんK i F T開催状況 (おおむね2歳以上の未就学児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 16	1	2	10月 8	4	8
23	2	5	15	5	10
5月 14	2	4	11月 12	1	2
21	2	4	19	5	8
6月 11	0	0	12月 10	0	0
18	5	10	17	1	2
7月 9	2	4	1月 14	0	0
16	1	2	21	3	8
8月	実施せず		2月 18	1	2
			25	2	4
9月 10	1	2	3月 11	1	2
17	3	6	18	3	7
計			45		92

4 ゆうゆうK i F T

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	18	6	12	11月	21	3	6
5月	23	6	12	12月	12	6	12
6月	20	6	12	1月	23	5	10
7月	18	3	6	2月	20	2	4
9月	19	3	6	3月	13	5	10
10月	24	7	13				
計						52	103

5 ちびっこ広場開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	8	5	11	10月	7	6	12
	15	2	4		14	3	6
	22	9	19		21	4	8
5月	13	1	2		28	5	10
	20	5	11	11月	11	5	10
6月	3	0	0		18	7	14
	10	2	4	2	5	10	
	17	4	9	12月	9	5	10
	24	1	2		16	4	8
7月	2	4	8	1月	13	3	6
	9	6	13		20	4	8
8月	実施せず			2月	10	0	0
9月	2	4	8		17	4	8
				24	4	8	
				3月	10	4	8
					17	6	12
計						112	229

※ 6/24、10/28遠足

6 M a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	25	0	0	10月	17	0	0
6月	13	0	0	12月	12	1	1
				2月	13	0	0
計						1	1

7 ちびっこM a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
5月	27	1	2	11月	25	1	2
7月	15	3	6	1月	27	3	6
9月	30	4	8				
計						12	24

8 園庭開放開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	7	2	4	11月	17	2	4
5月	19	雨天中止		12月	1	2	4
6月	2	1	2	12月	15	3	7
6月	16	3	7	1月	19	1	2
7月	7	0	0	2月	2	1	2
9月	1	0	0	3月	2	5	10
10月	6	3	6	3月	16	4	8
10月	20	雨天中止					
計						27	56

9 サークル支援室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放日	18	18	16	19	17	16	18	16	17	15	13	17	200
利用日	4	3	3	2	1	3	3	3	3	3	2	3	33
キャンセル	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
合計	4	3	3	2	1	5	3	3	3	3	3	6	18%

10 育児相談会

同仁会児童家庭支援センター相談員、臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム
認定こども園同仁東保育園栄養士・看護師・保育士を交えての相談会

- 令和7年5月23日 「手作りおやつと育児相談会」
講師 同仁会子どもホーム栄養士 坂本 和代
参加者 6組
- 令和7年5月27日 「離乳食の大切さ・離乳食試食会」
講師 認定こども園同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
参加者 1組
- 令和7年7月15日 「赤ちゃんのスキンケアと夏に罹りやすい病気について」
講師 認定こども園同仁東保育園看護師 大串 千恵子
参加者 3組
- 令和7年9月18日 「ベビーマッサージの実践」
講師 同仁会乳児院保育士 小松 なぎさ
参加者 13組
- 令和7年10月21日 「給食体験・今日の献立について」
講師 認定こども園同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
参加者 4組
- 令和7年11月25日 「赤ちゃんのスキンケアと冬に罹りやすい感染症」
講師 認定こども園同仁東保育園看護師 大串 千恵子
参加者 1組
- 令和7年12月12日 「手作りおやつと育児相談会」
講師 臨海学園栄養士 横山 知恵
参加者 6組
- 令和8年1月27日 「離乳食の大切さ・離乳食体験」
講師 認定こども園同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
- 令和8年2月26日 「離乳食教室と育児相談会」
講師 同仁会乳児院栄養士 高梨 綾
参加者 9組
- 令和8年3月5日 「お友だちとの関わりの中で・子どもの心理について」
講師 同仁会児童家庭支援センター 心理療法士 佐竹 希
参加者 3組

11 令和7年度 子育てサークル（母親クラブ）

1. 暴れん坊将軍 7家族
2. メイメイ 4家族
3. ゆかいな仲間達 10家族
4. トーマス 4家族
5. K I T A T O K U 10家族
6. ひよこクラブ 3家族
7. カムカムで遊ぼう会 4家族
8. 水泳部 3家族
9. 11月生まれ 3家族

5. 保育所型認定こども園 同仁東保育園

1) 令和8年度運営計画

全国的に少子化が加速する中、当園においては、現在は定員数100%を維持しておりますが、近年の高萩市の出生数と新規入所数の動向を踏まえると、数年後には充足率が80～90%まで低下することが見込まれ、定員数の見直しを検討せざるを得ない厳しい状況にあり、保育園の維持と職員の継続雇用が大きな課題となっています。その打開策の一つとして、令和8年度に病児保育を開設いたします。病児保育は、高萩市で実施している園がないため、保護者の就労支援としてのニーズも高いと考えており、年度後半の開設に向け、病児保育室の建設や開所時間の設定等、具体的に準備を進めてまいります。また、空き保育室を利用した園児の課外教室（習い事）について保護者にアンケート調査を実施したところ、回答率が高く関心度の高さがうかがえました。結果を参考に今後に向け検討してまいります。

今年度も、子ども一人ひとりの育ちに寄り添った保育を大切に、多様なニーズを捉えながら、保育の充実と運営の安定を図ってまいります。

1 福祉サービスの質の向上

(1) 保護者支援

- ア 子育てに関する情報の提供（健康・安全・育児・食育等）
- イ 子育てに関する相談への対応
- ウ 子育ての仲間づくりの推進支援（親子遠足、保護者懇談会、給食試食会等）
- エ 親子参加型行事の開催（運動会、親子遠足、参加保育、給食試食会等）
- オ 食育（食に関する情報の提供、給食試食会の開催等）
- カ 多様な保育サービスの充実（病児保育・一時預かり保育等）

(2) 教育・保育の質の向上

- ア 様々な活動を通して、豊かな感性を育む
- イ 異年齢での関わりを増やし、様々な集団を体験する
- ウ 運動習慣の確立による体力づくり
- エ 小学校以降の生活や学習の基盤の育成
- オ 自己評価の結果検討と改善

2 人材の育成

(1) 園内研修（学習会）の充実

- ア 人権擁護のためのチェックリストの継続
- イ キャリアアップ研修後の伝達研修およびグループワーク

(2) 法人目標の実践による人間性の向上

(3) 研修計画を基に各種研修への積極的参加

3 地域との連携

- (1) ゆうゆうクラブ・くれよんクラブ高萩との交流
- (2) たかはぎ認定こども園・東小学校・高萩中学校との交流
- (3) 高萩市主催によるイベントへの積極的な参加
- (4) 中学生による職場体験の積極的な受け入れ

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進
- (3) 教育・保育の充実による利用児童の安定した確保

2) 運営の概況

7月に発令された津波警報時の避難誘導において、新たな課題が明らかとなり、その改善に取り組みました。まず、第一避難場所である高萩中学校（屋上）については、炎天下や雨天時に備えた避難を考え、高萩市の協力のもと同校と協定を結び、校舎内で待避できる体制を整えました。また津波到達までに1時間以上の猶予がある場合には、より安全な場所への避難が可能であると判断し、第二避難場所として高萩小学校を位置付けました。同校までは一定の距離があることから、避難途中における人員確認および緊急時の一時待機場所として、ビルを保有する企業と協定を結び、敷地の一部を使用できる体制を構築しました。今後も危機意識を持ち、継続的な避難訓練を実施しながら、児童および職員の安全確保に向けた改善に努めてまいります。

「こども誰でも通園制度」については、高萩市は公立園のみの実施となったため、病児保育の開設準備を中心に進めてまいりました。実施園での見学を通して得られたノウハウを活かし本格実施に向け努めてまいります。

ICT化については、さらに活用範囲を広げ、児童票や保育要録等、タブレットでの書類作成も可能となり業務の軽減につながっております。引き続きシステム活用の充実を図ってまいります。

1. 休園日 … 12月30日～1月3日
2. 開園時間 … 午前7時～午後8時まで
(日祝日 休日保育実施)
3. 対象児童 … 産休明け(第8週)より就学前まで

3) 教育・保育の内容

1. 基本方針

保育指針・子ども子育て支援法・法人目標に沿った計画を基に教育・保育を展開し、心豊かに生きる力や望ましい未来を創り出す力の基礎を培います。

自立 … 自分で考え行動する。

協調 … 思いやりの心、優しい心、仲間と力を合わせて物事を成し遂げ、喜びを共感する。

創造 … 感じたこと、思ったことなどをいろいろな形で表現する。

味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚などの五感を大切に、豊かな感性と創造性を育む。

2. 基本目標

保育園の主人公は子どもたちです。

その子どもたちの命を守り、未来へつなげていくことが、私たちの仕事です。

- ・明るい挨拶を心がけ、一人ひとりを大切に、きちんと目を見て、丁寧な言葉で「ありがとう」を伝えます。
- ・お子さんの個性は良い方に、ポジティブに捉え、一人ひとりが安心して、夢中になって遊べる環境に配慮します。
- ・子どもを中心に、保護者の方と保育者が互いに理解し合い、一緒に子育てや教育・保育ができるように努めます。
- ・お子さんの様子・成長を把握しながら、自然とふれ合う機会を多く作り、五感を育める教育・保育を計画します。
- ・職員は教育・保育の専門職として研鑽を心掛け、常に向上心を持って、お子さんの命を守ります。

3. 保育目標

0歳児…家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの生理的欲求が満たされた情緒の安定のもと、人への基本的信頼感を形成できるように保育を行います。

1歳児…自分ですることの楽しさを知り、自発性や探索意欲を高められるように保育を行います。

2歳児…基本的な生活習慣がほぼ身につくよう、人や物への興味を広げ、社会性が育めるよう、保育を行います。

3歳児…友達との関わりの中で、自己肯定感や他者を受容する感情が育めるよう、支援します。

4歳児…集団で生活することを楽しむ中で、決まりを守る大切さを知り、更に自主性や自律性が育めるよう、支援します。

5歳児…様々な経験・体験を通して自立性を高め、目標に向かって努力したり、協力して達成する喜びを味わえるよう、支援します。

4. 活動内容

- ① 養護(生命の保持・情緒の安定) 教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 食育の実践
- ② 健康への支援(異常が認められた時の適切な対応、保健指導計画の策定)
- ③ 環境・衛生の管理(清潔保持・清掃・消毒・点検)
- ④ 事故防止の徹底(避難訓練の実施、蘇生法研修、遊具等の点検、交通安全活動)
- ⑤ 保護者・地域への支援(休日保育、延長保育、育児講座の開催、説明責任)
- ⑥ 特色のある教育・保育
 - ・異年齢児教育・保育(4・5歳は混合クラス) ・砂浜を利用した活動 ・ちびっこ広場(園庭の開放)
 - ・音楽指導…専門講師(日本音楽総合研究所)の指導による鼓笛隊指導(4・5歳児)
 - ・リトミック…専門講師(日本音楽総合研究所)によるリトミック(2・3歳児)
 - ・体育指導…専門講師(ITRスポーツクラブ)による体育指導(4・5歳児)
 - ・そろばん教室…専門講師(のぞみそろばん塾)による算数とそろばんの指導(5歳児)
 - ・英語教育…専門外国人講師(超禅イングリッシュスクール・GELATO英語教室)による英語指導(4・5歳児)
 - ・たかはぎ認定こども園・東小学校・高萩中学校との交流

4) 運 営

イ) 会 議

1. 保育職員会議 (管理・園運営全般 ……………月 1 回)
2. 運営会議 (管理・運営・保育全般 ……………月 1 回)
3. カンファレンス会議 (保育内容の検討・ケース検討 ……………月 1 回)
4. 保育連絡会議 (主任・グループリーダー・企画研修員による保育会議 ……月 1 回)
5. グループ会議 (年長児・中間児・年少児グループ毎 ……………月 1 回)
6. 献立会議 (献立内容の検討等 ……………月 1 回)

ロ) 日 課

時間	生活のプログラム	時間	生活のプログラム
7:00	早朝保育 (絵本、玩具遊び)	13:00	午睡 (4,5才児はクラス別保育)
8:00	登園・挨拶・健康視診・自由遊び	14:00	1号認定こども降園
9:00	1号認定こども登園	15:00	起床・おやつ (全児)
9:20	片付け・朝のお集まり (0,1,2才児)	15:30	お集り
9:40	おやつ (0,1,2才児)	16:00	降園開始
10:00	片付け・朝のお集まり (3,4,5才児)		自由遊び (絵本・戸外遊び・玩具等)
	クラス別保育		製作遊び (粘土・折り紙等)
	造形製作・音楽リズム・体育遊び	17:30	延長保育 (テレビ・ビデオ視聴・絵本
	自然観察・散歩等		・玩具遊び)
11:30	昼食	18:30	補食
12:30	食後の片付け・歯磨き・午睡準備 (0~3才児)	20:00	降園終了

5) 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
 - ア. 園児健康診断 …………… 年 2 回 (嘱託医 滝有希子先生)
 - イ. 園児歯科検診 (2~5才児のみ) …………… 年 2 回 (滝川歯科医院 滝靖宗先生)
 - ウ. 園児尿検査 …………… 年 2 回 (江東微生物研究所)
2. 身体計測の実施 (毎月 … 身長・体重 年 2 回 … 胸囲・頭位)
3. 調理担当者の衛生管理の徹底 …………… 保菌検査の実施・消毒・白衣の着用
4. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
5. 環 境 衛 生 (トイレ清掃消毒・寝具消毒・下水道消毒等)
6. 園内外の危険個所の把握と安全管理点検 … 毎月10日
7. 園庭の遊具施設の安全管理と点検 …………… 毎月10日 (変更有り)
8. 玩具等の安全管理と点検消毒 …………… 毎日
9. 交通安全指導 …………… 年 1 回 (6月)
10. 閉園後は(株)総合警備保障に管理委託契約

6) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	24	入園・進級を祝う会	12	25	クリスマス会
5	2	こいのぼり集会	2	3	節分集会
	30	遠足 (4.5才児みどりぐみ)		14	保育参観・懇談会・公開リトミック
6	4	遠足 (4.5才児あかぐみ)		20	お別れ遠足 (4.5才児)
	7	保育参観・懇談会・公開体育指導	3	3	ひなまつり集会
	10	遠足 (4.5才児あおぐみ)		4	お別れ会
7	七夕集会	21		卒園を祝う会	
7	8	親子遠足 (4.5才児)	24	落語鑑賞会 (4.5才児)	
	17・18	お泊り保育 (5才児)	・安全の日 毎週木曜日		
	28	とうもろこし狩り体験 (4.5才児)	・室内外の消毒 毎日		
8	2	夏祭り	・地域の子育て支援サービス (ちびっこ広場・ちびっこMaFT・園庭開放) 毎月実施		
9	20	保育発表会 (2才~5才)	・ゆうゆうクラブとの交流 (異年令児交流) 年2回実施 (4/28・1/6)		
10	16	観劇 (4,5才児)	・くれよんクラブとの交流 (園庭交流) 月2回実施		
	21	秋の遠足 (3才児)	・たかはぎ認定こども園・東小・高中との交流 (5/21・2/4実施)		
	23	秋の遠足 (1才児)			
	28	秋の遠足 (2才児)			
11	16	産業祭 (4,5才児)			
	23	運動会 (0~5才児)			

7) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調理担当者検便	27	25	22	27	24	28	26	24	28	25	22	23
室内外の消毒	毎日											
非常時避難訓練	23	15 28	12	9 24・30	27	24	29	12 26	24	28	27	18
安全点検	10	12	10	10	12	10	10	11	9	10	10	11
健康診断 (児童)		22					10					
歯科検診 (児童)		17						30				
健康診断 (職員)				16								
児童尿検査			9・23					10・25				
火災報知器点検			17						15			
交通安全指導			9									

8) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	園長	保育士	調理員等	計
県又は社協等	4	47	8	59
法人及び施設独自	3	62	10	75
計	7	184	18	209

2. 各月初日在籍園児数 2・3号認定こども (入園時年齢による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才	1	1	4	5	6	6	7	8	8	10	12	13	81
1才	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	193
2才	24	24	24	24	23	23	23	23	23	23	23	23	280
3才	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	272
4才	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	310
5才	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	313
計	116	116	119	120	120	120	121	122	121	123	125	126	1,449
前年度	115	117	118	119	122	125	128	129	130	130	130	130	1,493

各月初日在籍園児数 1号認定こども (入園時年齢による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
満3才	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	16
3才	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	52
4才	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	57
5才	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	71
計	17	16	15	15	17	17	17	16	16	16	17	17	196
前年度	15	15	16	15	16	16	16	16	17	17	17	17	118

3. 出身地区別表 (R7.3.31現在)

地区	高浜町	有明町	東本町	肥前町	本町	高萩	安良川	上手綱	下手綱	高戸	島名	大和町	秋山	石滝	日立	北茨城	春日町	赤浜	合計
人数	15	11	3	13	10	13	17	6	9	10	19	1	2	1	4	5	2	2	143

4. 在園期間 (R7.3.31現在)

期間	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
人数	12	11	26	32	27	35	143

5. 一時預かり保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	1	0	1	0	8	2	0	3	0	2	1	18

一時預かり (教育)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	80	80	36	51	43	49	43	40	49	63	60	91	685

6. 日曜・祭日保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	4	7	8	14	7	6	5	3	5	10	14	83

7. 体調不良児型保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	20	11	10	7	14	18	17	8	18	7	11	5	146

8. 栄養投与状況

3才未満児	熱量	451 Kcal(食事摂取基準 438 Kcal)
	たん白質	15.6 g(食事摂取基準 17.5 g)
3～5歳児	熱量	619Kcal(食事摂取基準 609 Kcal)
	たん白質	22.0 g(食事摂取基準 24.3 g)

6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ

1) 令和8年度運営計画

放課後児童クラブにおける育成支援は、こどもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながらこどもが自ら危険を回避できるようにしていくとともに、こどもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確率等により、こどもの健全な育成を図ることが役割となっております。常に保護者と密接な連携をとり、児童クラブにおけるこどもの様子を日常的に保護者に伝え、こどもに関する情報を家庭と児童クラブで共有することにより、保護者が安心してこどもを育て、子育てと仕事等を両立できるよう支援して参ります。

また、こども自身への支援と同時に、学校等の関係機関と連携することにより、こどもの生活の基盤である家庭での養育を支援して参ります。

- 1 児童が充実した生活が出来る環境づくり
 - (1) 自然を生かした親子体験活動の実施
 - (2) 日本の文化に親しむ行事への参加
 - (3) 学年別活動の実施
 - (4) アサーショントレーニングの導入
 - (5) 異年齢交流の拡充
 - (6) そろばん教室の開催
- 2 保護者サポートシステムの構築
 - (1) 保護者同士の交流強化による子育て支援
 - (2) ペアレントトレーニングを導入した保護者支援
 - (3) 食育・健康・安全・子育て情報の発信
- 3 子育てネットワークづくり
 - (1) 保護者、学校、関係機関との連携の強化
 - (2) 児童家庭支援センターとの連携による家庭支援の実施
 - (3) 地域諸団体、ボランティア、地域住民との交流連携の取り組み
- 4 食育の推進
 - (1) 栽培、収穫、調理の体験
 - (2) 手作りおやつの実施と試食会や掲示等による保護者への発信
- 5 職員の資質向上
 - (1) 法人内外の研修への積極的参加
 - (2) ペアレントトレーニングを基にした援助支援の標準化
- 6 財政基盤の強化
 - (1) 計画的な予算の執行と節約意識の徹底

2) 運営の概況

増々少子化が進む中、今年度の1年生はクラス児童19名の内、11名が入会しました。災害への不安感が増し、安心安全の居場所という役割は大きいと感じています。子どもの遊び等の活動拠点の役割としても、玩具や素材を用意し室内遊びを充実させる工夫をしたり、屋外での遊びは、子どもの心身を開放し、運動能力を高めるとともに、子ども同士の遊びを豊かなものにできるよう、小学校のグラウンドも利用して活動しています。

また、昨年より学校へ行けていない児童の合理的配慮として、受け入れも行っています。学校とは違ったくつろげる場所で過ごすことで、学校に通えるきっかけを作れたらと考えています。保護者とも定期的に連絡を取ることで相談しやすい環境を整えています。今年度も子どもと保護者に寄り添った保育に努めて参ります。

3) 運営

- 1 開園の状況
 1. 開園日 年間290日
 2. 休園日
日・祭日
お盆休暇 8月13日～8月15日
年末年始休暇 12月30日～1月3日
 3. 開園時間
学校登校日 下校より午後7時まで
学校休日 午前7時30分より午後7時まで
- 2 活動内容
 1. 児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
 2. 遊びと活動への意欲と態度の形成
 3. 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上
 4. 児童の遊びの活動状況の把握と家庭への連絡
 5. 学習支援と読み聞かせによる学習向上と充実

- 6. 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- 7. その他児童の健全育成上必要な活動

3 会 議

- 1. 職員会議（子育て支援と合同） 毎月
- 2. 連絡会議（申し送り・連絡事項） 毎日
- 3. 運営委員会（情報交換会） 年2回
- 4. 児童家庭支援センターとの会議 各月
- 5. 経営役員会 毎月

4) 保健衛生及び安全管理

- 1 給食（おやつ、土曜日や長期休業期間の昼食）
 - 1. 季節感、栄養バランスのある食事
 - 2. 担当者の衛生管理の徹底（検便、消毒、着衣）
 - 3. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
- 2 安全指導
 - 1. クラブ内外危険箇所の点検指導及び保安全管理点検の実施（毎月）
 - 2. 交通安全指導の徹底
 - 3. 閉館後は、（株）総合警備保障に管理委託契約
 - 4. 非常時避難訓練（毎月）

5) 異年齢時交流

- ・ 同仁東保育園、くれよんクラブ高萩との交流
- ・ 読み聞かせボランティア団体との交流

○ボランティア受け入れ人数（令和7年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	3	3	3	3	3	5	7	4	4	3	3	3

6) 令和7年度保菌検査実施日記録 月1回 3名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	21	19	23	21	18	23	20	17	22	19	16	23

7) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1	入会歓迎会	10	16	不審者対応避難訓練
	21	花まつり（保育園児との交流）	11	13	地震・津波避難訓練
5	26	火災避難訓練	12	13	保護者交流会（餅つき）
6	17	冠水時の避難訓練（垂直避難）		25	クリスマス会
7	25	総合避難訓練		25	火災避難訓練
	30	冠水時避難訓練（子どもセンター）	1	5	初詣・避難訓練（地震津波）
8	8	館外学習（シビックセンター）		6	保育園交流（100円おやつごっこ）
	21	親子交流会（キャンドル教室）	2	4・10	遅番時間帯の火災避難訓練
	29	ゆうゆうフレンドパーク	3	28	お別れ遠足（願成寺）
9	30	竜巻時の避難訓練		31	お別れ会
				31	不審者対応避難訓練

※ 毎月の行事 ・ 誕生会 ・ 手作りおやつ ・ 150円おやつ

8) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	回数	参加者数	計
法人研修	3	3	9
高萩市子育てサポーター研修会	3	1	3
茨城県放課後支援員資質向上研修会	1	2	2

2. 各月初日在籍児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年生	5	6	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	73
2年生	8	8	6	5	6	5	5	5	4	4	4	4	64
3年生	11	12	12	11	10	9	9	9	8	8	9	9	117
高学年	18	18	17	16	16	16	16	16	16	16	16	15	196
計	42	44	41	39	39	36	36	36	34	34	35	34	450

3. 特別入会・短期利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別入会													0
短期利用	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
計	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14

* 特別入会は、夏休みなどの長期期間に入会する場合を言う。

* 短期利用は、保護者の都合により、1日単位で利用する場合を言う。

4. 出身地区別表 (R8. 3. 1現在)

地区	高浜町	有明町	肥前町	東本町	下手綱	高戸	安良川	本町	合計
男	2	6	1	1	2	2	1	0	15
女	6	5	1	1	3	2	1	0	19
計	8	11	2	2	5	4	2	0	34

5. 日課表

時間	平 日	土曜日及び長期休校日
7:30	学 校	受入れ
9:00		学習
10:00		自由時間
11:00		自由時間
12:00		昼食
13:00	受入準備	休 息 自由時間
14:00	児童受入	
15:00	宿題 自由時間	
16:00	おやつ	おやつ
17:00	清掃 自由時間	清掃 自由時間
18:00	(帰宅準備) 帰 宅	(帰宅準備) 帰 宅
19:00		

7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩

1) 令和8年度運営計画

2040年問題が挙げられるなか、障害福祉サービスの提供体制について考えていくことが必要とされています。人口減少や世帯構成の変化等のなか、地域における包括的な支援体制の整備、構築が必要であると捉えています。支援体制整備のための新たな仕組みや他の制度の事業と一体化に行えるよう努めることで“地域で支え合う機能強化”が期待できると考えております。

障害通所支援事業の在り方については、利用児の事業所内での安定だけでなく、社会的集団や家庭での般化を目指し“安心・安全”に児童やその子を取り巻く環境の在り方を支援していくことが役割だと感じております。そのなかで、“お互いにとってより良い在り方”を考えていくことを念頭に、インクルーシブ社会を目指したいと考えております。また、2024年4月1日から、障害福祉サービスにおける「意思決定支援」と「合理的配慮」の提供が義務化されています。相手を変えるという視点ではなく、“支援者”として意識の変化を図ることが必要であると捉えています。専門性を強化した丁寧な支援を維持、向上するために支援者一人ひとりの強みを活かしたスキルアップに努めて参ります。

1 専門職的サービスの強化と専門職性向上

- (1) 人事交流、連携による専門性強化
- (2) 内部・外部・地域・関係機関とのカンファレンス体制の強化、連携
- (3) 専門的、家族支援、訪問支援の充実と専門性強化

2 安定した事業運営を可能とする組織体制の確立

- (1) 支援体制の整備・構築
- (2) 関係機関連携強化
- (3) 障害地域支援におけるセーフティネット機能の向上

3 人材育成と人材確保

- (1) 経験に応じた計画的な専門外部研修への参加
- (2) 法人内研修への積極的参加
- (3) 園内研修の充実
- (4) 安定したサービス維持のため、応用行動分析学を用いた支援・ペアレントトレーニング支援の強化

4 安定した財政基盤の確立

- (1) 多様な人材配置
- (2) サービスの充実による利用児童の安定した確保
- (3) 包括的な支援を実現するための事業展開（多角化・多機能化）

2) 運営の概況

平成31年4月に事業が始まり丸7年が経過しました。少子化と言われているなか、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業の利用希望数、問い合わせは増えております。放課後等デイサービスは、空きを待っていただいている予約家庭をどう利用へ繋げていけるかが課題となります。保育所等訪問支援の実績は安定してきている印象です。令和6年4月より展開して参りました居宅訪問型児童発達支援事業については、居宅支援を行いながら社会的集団や外のサービスへと繋いでいけるよう支援の工夫が必要だと感じています。また、当該事業所や集団生活で大きな課題はないが家庭内で困り感が改善されないという相談がございます。家族支援や子育て支援の中で定期的な面談を重ね解決構築を一緒に考えさせていただいています。誰もが“今の状況から良い状況にした”という思いへ丁寧に介入し“誰にとってもより良い在り方とは何か”を考えていきたいと思っております。

「障害とは何か」を考えると、「障害の社会モデル」という捉え方があります。当該事業所では、この考え方を念頭に“違い”を互いに尊重できる社会の在り方を目指し誰にとっても過ごしやすい社会が1つでも増えていくことを目指し努めて参ります。

また、保護者の希望から展開された保護者交流「クーピー」の機会を、2か月に1回の頻度で行って参りました。その中で、保護者向けのペアレントトレーニング講座を行っております。また、今年度はワークショップの時間を設けました。保護者の参加人数が増えるよう提供内容を工夫していきたく思います。

3) 運営

1 営業時間及びサービス提供時間

- | | |
|----------------------|----------------|
| ・営業時間 | 9時00分から18時00分 |
| ・サービス提供時間 ※随時、延長支援対応 | |
| （月～金） | 9時00分から17時30分 |
| ・児童発達支援提供時間（月～土） | 9時00分から14時30分 |
| ・放課後等デイサービス提供時間（平日） | 14時30分から17時30分 |
| （土曜日・学校休業日） | 9時00分から17時00分 |

2 定休日

- ・日曜日、祝日、お盆休暇（8月13日～8月15日）、年末年始（12月30日～1月3日）

3 活動内容

（活動プログラム）PDCAサイクル呼ばれる、「PLAN（計画）」「DO（実行）」「CHECK（測定・評価）」「ACTIN（改善）」の流れを定期的に行います。

「アセスメント（評価・査定）」

- ・CARS2（小児自閉症尺度）という検査の項目を取り入れ、独自のアセスメントシートを作成。情緒面・身体・運動・生活・コミュニケーション・人間関係・社会性・認知行動など幅広く評価。また、生活動作・余暇活動、社会との関係性など必要な項目を加えて評価を行う。

（児童発達支援・放課後等デイサービス）

- ・ABA応用行動分析・ペアレントトレーニングに基づく支援
- ・発達支援（5領域に沿った本人支援）、家族支援、地域支援
 - 「健康・生活」：健康状態の維持、改善／生活リズムや生活習慣の形成／基本的な生活スキルの獲得
 - 「運動・感覚」：姿勢と運動、動作の向上、補助的手段の活用／保有する感覚の総合的な活用
 - 「認知・行動」：認知の発達と行動の習得／空間、時間、数等の概念形成習得／対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- 「言語・コミュニケーション」：言語形成と活用/言語の受容及び表出/コミュニケーションの基礎的能力の向上/コミュニケーション手段の選択と活用空間、時間、数の概念形成
- 「人間関係・社会性」：他者との関わり形成/自己理解と行動調整/集団参加への工夫
- ・専門的支援：心理担当職員が個々に合った支援を見立てプログラム作成。プログラム内容に沿った支援を1時間程度行う

（保育所等訪問支援）

- ・アセスメント：児童の様子を観察にいき、対象となる子どもと保育所等での環境（他の子どもを含む集団環境）やそこで行われている教育や活動と本人の特性の両方を適切にアセスメントを行う
- ・支援・介入：（集団介入・直接支援）支援員等の代わりに付いて、状況に合わせて支援
 （集団介入・間接支援）集団の中での様子等を観察し報告
 （個別介入・直接支援）別室で1対1のトレーニング支援
 ※子どもの状況、状態と希望に合わせて介入方法を検討
- ・カンファレンス：対象となる子どもが所属する機関の職員と話し合いを行います。保護者より希望がある場合には“ファミリーカンファレンス”も実施可能。必要に応じて、子どもに合わせた教材作成。専門職員が機関と共に集団で過ごせる“工夫”を考えていく。

（居宅訪問型児童発達支援）

- ・アセスメント：居宅での児童の様子と環境要因を観察し、本人・家族の希望を聞き取り。支援目的の確認を行う。
- ・発達支援（5領域に沿った本人支援）、家族支援、地域支援
 ※児童発達支援・放課後等デイサービス同様

4 会 議

- ・支援・職員会議 月1回
- ・連絡会議（振り返り・引き継ぎ・連絡） 毎日
- ・担当者会議（保護者・相談支援事業所・他事業所） 必要に応じて
- ・幼稚園、保育園、特別支援学校、市内小学校カンファレンス 必要に応じて・学期に1回
- ・管理運営・各種委員会会議（衛生管理委員会・虐待防止委員会・身体拘束委員会） 月1回

5 日 課

時 間	児童発達支援	時 間	放デイ（平日）	時 間	放デイ（休日）
9:00	受け入れ・送迎 荷物支度準備・個別支援	14:30	受け入れ・送迎	8:30	延長支援
10:00	朝の会	15:30	おやつ	9:00	受け入れ・送迎
10:15	小 集 団 活 動	15:45	SST活動	10:00	朝の会
11:30	設 定 遊 び	16:15	余暇活動	11:30	SST活動
12:30	給 食	17:15	パソコン		給 食
	リラックスタイム		帰りの準備	12:30	個別活動
13:00	余 暇 時 間	17:30	迎え引き渡し・送迎	13:00	パソコン
13:50	自 由 遊 び			15:00	おやつ
14:00	帰りの会			15:15	余暇活動
	迎え引き渡し・送迎			17:00	迎え引き渡し・送迎
				17:30	延長支援

6 保健衛生及び安全管理

- ・配送・配膳の衛生管理を徹底（保菌検査の実施（年12回）・消毒）
- ・キッチンの整理整頓と衛生管理の徹底
- ・給食運搬時の温度管理
- ・食物アレルギーの徹底管理、除去食対応
- ・環境衛生（室内清掃消毒の実施）

- ・園内外危険箇所の把握と安全管理と点検 (月1回)
- ・玩具等の安全管理と点検消毒
- ・営業終了後は(株)総合警備保障に管理委託
- ・自動ドアの解錠カードキーによる防犯対策及び利用児の飛び出し防止
- ・AEDの設置
- ・送迎車に置き去り安全装置取付、安全点検 (月1回)

令和7年度保菌検査実施日記録 月1回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	2	8	4	2	6	3	8	5	3	7	4	4

7 令和7年度利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
児童発達支援	90	84	97	83	75	92	95
放課後等デイサービス	110	99	102	99	77	101	102
保育所等訪問支援	8	11	14	15	9	17	18
居宅訪問型児童発達支援	0	0	0	0	0	0	0
計	208	194	213	197	161	210	215

区分	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	81	91	94	79	95	1,056
放課後等デイサービス	92	96	104	96	102	1,180
保育所等訪問支援	15	15	18	19	18	177
居宅訪問型児童発達支援	0	0	0	0	0	0
計	188	202	216	194	215	2,413

8 出身地区別

	高萩市	日立市	北茨城市	その他	合計
児童発達支援	10	7	1	1	19
放課後等デイサービス	18	4	1	1	24
保育所等訪問支援	10	5	2	1	18
居宅訪問型児童発達支援	0	0	0	0	0

9 職員研修等

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・法人内職員研修/施設内研修 ・強度行動障害基礎研修 ・社会福祉施設等新任研修 ・キャリアパス対応中堅職員研修 ・ミュージックケア研修 ・ABA応用行動分析(WEB・集合型) | <ul style="list-style-type: none"> ・ブリーフセラピスト養成講座 ・春季保健相談士更新セミナー ・チームリーダー研修 ・ABAセラピスト養成講座 ・障害福祉経営セミナー ・障害福祉事業経営セミナー |
|--|---|

8. 児童養護施設 臨海学園

1) 令和8年度運営計画

昨年の春、分園型小規模ユニットケア施設である「オハナ」を開設してから一年が経ちました。子どもたち、担当職員ともに新生活には随分慣れてきて、落ち着いた生活を送ることができています。本園との相互の連携について工夫しながら、分園の独自性と臨海学園としての統一性のバランスをとり運営しています。入所率は97%で新年度を迎えました。

また今年度は、職員体制や役割に変化のあるスタートとなりました。職員それぞれが自身の新たな役割を自認し、協力し合いながらその一步を踏み出せるよう、より円滑なコミュニケーション体制と働きやすい職場を目指します。

物価なども含めた世の中の情勢、子どもたちを取り巻く情報、人材の確保・育成・定着等懸念は多くありますが、柔軟に対応し支援の質の向上に努めて参ります。

1 提供するサービス向上と生活環境の改善

- (1) 分園型小規模グループケアにおける支援の評価と見直し
- (2) 県のアドボケイト受け入れと活用の検討
- (3) 職員の専門性を活かせる勤務環境の整理
- (4) リービングケア・アフターケアの強化
- (5) 食育の推進と楽しい食卓の雰囲気の創出

2 組織体制の強化

- (1) 中期計画に基づく各種マニュアルの見直し、業務の効率化
- (2) 職員間の相互理解と雰囲気作り、チームワーク強化
- (3) 地域や関係機関（学校・児童相談所等）との連携と情報共有
- (4) タブレット端末やグループウェアを活用したICT化の推進

3 人材育成

- (1) 小規模グループケアにおける職員の資質・意識の向上とOJT強化
- (2) スーパーバイズの体制強化とメンタルヘルスの向上
- (3) 職員個別の研修目標の設定と評価
- (4) ブログやSNSを活用した情報発信、人材確保に向けた取り組み
- (5) 実習生やボランティアの積極的な受け入れ
- (6) 人事考課の実施

4 財政基盤の強化

- (1) 社会情勢に応じた予算の見直しと計画的な執行
- (2) コスト意識の強化と節約の実践、人的コスト意識の強化
- (3) SDGsを意識した消費活動とゴミの削減

2) 運営の概況

令和7年4月に分園型小規模グループケア施設を開設してから一年が経ちました。新しい生活を創り上げることについては試行錯誤の繰り返しではありましたが、子どもたちは新鮮な気持ちで新生活を楽しんでいるようでした。本園では入退所や一時保護・ショートステイの受け入れが多く、環境の変化が苦手な子については落ち着かない一年でもありましたが、施設全体として見れば概ね落ち着いて日々を過ごせていたと思います。入所児童数は年間を通して9割余りでした。

近年は特別な支援が必要な児童が増えている傾向があり、学校など集団生活への適応や情動のコントロールなど、子どもと一緒に向き合っていかなければならない課題が多くあります。また、自立に向けた意識の醸成や就労支援など、リービングケア・アフターケアなども含め、将来の社会生活を展望に入れた支援がより必要な状況となっています。

令和8年度を迎えるにあたっては職員体制の大きな変化などがありました。対話を重ねながら職員間の相互理解を深め、働きやすさの向上にも努めていきます。

3) 児童支援の状況

イ) 基本方針

支援の基本は子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指している。具体的には子どもの生活基盤と生活を支援する職員を五つのグループに分け、少人数のグループによる支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合うなど、より密接な関係づくりを心がけ、一方学習面では多くの学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行う。その他、地域行事への参加など、地域の中で運営・支援していくことを基本方針とする。

ロ) 基本的目標

○法人理念・綱領を实践し、子どもが将来社会的に自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を持ちながら、対人援助サービスの基本である S・G・N・Tを实践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。 (和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。 (あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。 (あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」が言える場面を作る。 (あなたを必要としています)

ハ) 支 援 目 標

1. 生活支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習相談の強化 (基礎学力の向上と進路相談)
- (5) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (保護者会・家庭通信・帰省・面会・行事への参加)
- (7) 自治会活動の推進 (子ども会議の開催、各種実行委員会)
- (8) 食育の推進 (買い物体験と食事づくり)

ニ) 学 習 支 援

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。進路相談。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を实践する。(面談、学習支援、進路相談)
- ・情操教育(図工、手芸、料理、音楽)の実施。
- ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
- ・学習ボランティアの活用。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる習慣を作る。

(2) 内 容

- ・手洗い・消毒の習慣化、清潔感を養う。(服装、身体)
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染対策の徹底。
- ・衛生検査の実施。(身体、頭髪、爪、耳垢等)
- ・入浴支援。
- ・健康診断(年2回)
- ・定期保菌検査の実施。(年2回 6月 1月)
- ・年齢による段階的な掃除・洗濯の習慣化。
- ・環境整備(施錠、補修、整備、整理整頓)

- ・愛園デー（子ども自身が安全面に配慮する・環境美化）毎月第1土曜日
- ・安全点検日（職員が安全面の定期点検を実施）各グループ会議の日
- ・非常時（火災、地震、津波、風水害）対策、訓練の実施。
- ・交通安全の徹底（自転車点検、補修、通学路の確認、交通安全教室）

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 全体会議 … 月1回（給食関係会議等含）
- (2) グループ会議 … 月1回（3階・4階・分園）
- (3) 園内研修 … 月1回
- (4) 運営会議 … 月1回
- (5) 生活部会 … 年11回
- (6) マニュアル検討部会 … 年11回
- (7) 連絡会 … 毎日（9:20 / 13:00）

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 …… 週1回
- イ. 便所消毒 …… 週1回
- ウ. 寝具消毒（日光消毒） …… 毎 日
- エ. 浴場消毒 …… 週1回
- オ. 食器消毒（熱 風） …… 毎 日
- カ. 残留塩素調査 …… 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断（学校保健法に準じ当該学校にて）… 4月・5月・6月（診療科目別）
（本園嘱託医により）… 10月14日
- イ. 身体測定 …… 月1回
- ウ. 散髪 …… 月1回
- エ. つめ切り …… 週1回
- オ. 下着交換 …… 毎 日
- カ. 入浴 …… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …… 年2回
- ク. 調理職員保菌検査 …… 月1回

(3) 安 全 管 理

- ア. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約
- イ. 電気設備検査（関東電気保安協会）… 月1回
- ウ. 自動火災報知器の検査（作業検査）… 年2回
- エ. 非常通報装置の点検（業務委託）… 年2回
- オ. エレベーターの点検（ " ）… 月1回（目視点検：随時）
- カ. ガス湯沸器清掃点検（ " ）… 年2回

(4) 安全管理の点検（毎月第1水-木曜日）

(5) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月1回）
- イ. 登下校の通学路指定
- ウ. 交通規則の徹底
- エ. 河川、海岸等の事故防止
- オ. 愛園デー（毎月第1土曜日）

5) 週間予定及び日課

1. 週間支援目標

日	・衛生検査（頭髪、爪、耳） こども会議（第1日曜日）
月	・登校確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章）
火	・入浴支援
水	・室内消毒
木	・安全確認（施錠、交通安全、危険物）
金	・レクリエーション（東小体育館19～21時） 上履、靴洗い
土	・基礎学力養成 ・環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃） 屋外活動

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床 洗面 清掃	起床 洗面 清掃 朝食 学習 (土曜) 環境整備 昼 食 自由遊び	15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		15:30	小学生帰園 学習	
7:30			17:30	片付け	片付け
7:45	登校 (小中)		18:00	夕食	夕食
8:00	こども園登園		19:00	お知らせ会 学習(中・高)	学習(中・高)
9:00				入浴	入浴
10:00				テレビ視聴	テレビ視聴
12:00	昼 食		20:00	幼児就寝	幼児就寝
13:00	未満児午睡		21:00	小学生就寝	小学生就寝
13:30	こども園降園		22:00	中高生就寝	中高生就寝
	帰園				

6) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内外の消毒	16	14	18	16	20	17	15	19	17	21	18	18
身体測定	30	31	30	31	31	30	31	30	29	31	28	31
保菌検査(児童・職員)			9							13		
保菌検査(調理員)	14	12	9	14	12	8	14	10	8	13	9	9
安全管理点検	9, 10, 11	2, 5, 7	4, 5, 6	2, 3, 4	1, 6, 7	3, 4, 5	1, 2, 3	5, 6, 7	3, 4, 5	8, 9, 14	4, 5, 6	4, 5, 6
非常時避難訓練	13, 30	18	8	6	29	7	5	9	29	11	1	8

7) 令和7年度行事内容

月	日	行 事
4	29	花まつり・進学進級祝い
5	11	母の日祝い
	28	幼児レク (いわき)
6	14	分園レク (ラウンドワン)
	15	父の日祝い
	28	中高生レク (ラウンドワン)
7	14, 15	旅行 (那須)
	26, 27	高萩まつり
8	3	レク (ラウンドワン)
	5, 7, 27	プール遊び
	28	流しそうめん会
9	21-23	小学生キャンプ
10	6	十五夜
	15, 16	旅行 (ディズニーランド)
	25	情熱クラブ様ハロウィンイベント

月	日	行 事
11	2	十三夜
	2, 3	旅行 (東京)
	15-16	分園キャンプ
	22-24	中高生キャンプ
	30	七五三
12	25	クリスマス会
	26	餅つき会
1	5	小学生レク (ラウンドワン)
	12	レク (映画)
2	3	豆まき
	10, 11	分園旅行 (ディズニーシー)
	27	門出を祝う会
3	6, 7	幼児お泊り会
	27	おてらおやつクラブ様人形劇観劇

その他 誕生日に誕生会
趣味の教室 月1回

8) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	園長	指導員 保育士	F S W 里専	心理士	事務員	栄養士 調理員	計
県・社 協	0	19	0	0	0	1	20
団 体	2	33	5	4	1	4	49
法人・施設	3	295	38	12	12	46	406
計	5	347	43	16	13	51	475

2. 児童構成 (R8.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						学 生						中学生			高校生			他	計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3				
男			1		1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1					18
女				2					1	1	1		1	2		1		1				10
計	0	0	1	2	1	1	2	3	2	2	1	3	3	1	3	1	2	0	0			28

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	30 [1]	30 [1]	28	28	28	28	27	26	27	27	27	28	334
入 所								1			1	1	3
退 所		2				1	1					1	5
月末在籍	30 [1]	28	28	28	28	27	26	27	27	27	28	28	

4. 入園理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和	1		1
5. " 拘禁	2		2
6. " 入院	1		1
7. " 就労	4	1	5
8. " 精神疾患等	2		2
9. " 放任・怠惰	5	2	7
10. " 虐待・酷使	2	4	6
11. 棄児			
12. 養育拒否	1	3	4
13. 破産等の経済的理由	2		2
14. 児童の問題による監護困難	1	2	3
15. その他			
16. 不詳			
合 計	21	12	33

5. 退所理由別表

退 所 理 由	男	女	計
1. 自立	1		1
2. 進学 (大学・専門学校)			0
3. 措置変更	1		1
4. 家庭引取り	2	1	3
合 計	4	1	5

6. 在園期間 (R8.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
3	7	6	7	5	28

7. ショートステイ受入状況

実人員 9人
延べ日数 44日

8. 一時保護の受入状況
実人員 5人
延べ日数 280日

9. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… アンケート調査実施（年1回）

- | | | | | | |
|----------|------------|------------|--------|---------------|--|
| 1. 食費 | 1日当り | 880円 | (原材料費) | | |
| 2. エネルギー | 幼児 (3~5歳) | 1,483 Kcal | (基準 | 1,283Kcal) | |
| | 学童 (6~18歳) | 2,334 Kcal | (基準 | 2,050 Kcal) | |
| 3. たん白質 | 幼児 (3~5歳) | 45.7 g | (基準 | 41.7~64.2 g) | |
| | 学童 (6~18歳) | 71.0 g | (基準 | 66.6~102.5 g) | |

9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム

1) 令和8年度運営計画

令和7年度の状況は、高校を卒業する児童が4名おり、うち1名は短期大学への進学へと歩みをすすめました。自身が描き続けた夢に向かって新たな一步を踏み出し春を迎えています。就労を希望する児童も早々に県内の企業に就職を決めました。しかしその一方で、自身の問題行動もあり就労先を決められず、家庭復帰後もアフターフォローとして就労支援が必要なケースも発生しました。また、SNSトラブルから対人関係上の問題や事故に繋がることも目立ち、特に高齢児支援の難しさに直面する1年となりました。

そんな中、第三者評価の外部専門機関の受審においては、当施設が取り組んできたアセスメントの充実と丁寧な自立支援計画、包括的性教育について高い評価を得ました。引き続き取り組みを進めると同時に、改善点として指摘された労務環境の改善などにも取り組んで参りたいと思います。

これらを踏まえて、令和8年度の運営計画を以下のようにすすめて参ります。

1 福祉サービスの向上

- (1) 一時保護やショートステイ等における専門的貢献
- (2) トラウマインフォームドケアの導入
- (3) 家庭通信等の充実
- (4) ファミリーホーム支援の充実といばらき里親家庭支援センターへの協力
- (5) 児童養護施設関東ブロック研究協議会茨城大会への協力

2 組織体制の強化

- (1) アセスメント等の組織的対応強化
- (2) 専門研修等の強化
- (3) 施設全体で取り組む家庭支援の連携体制確立
- (4) 多様な職員によるフォスタリング活動への協力
- (5) 業務効率化に向けた設備改善

3 人材育成

- (1) 職員研修の計画的実践
- (2) 児童家庭支援センターとの連携による人材育成
- (3) 家庭支援等における多様な職員の参画によるOJT
- (4) フォスタリング関連機関との連携と推進

4 財政基盤の強化

- (1) 入所児童の確保と市町村ショートステイの受け入れ推進
- (2) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (3) リース等の活用による費用コストの抑制

2) 運営概況

令和7年度は対応の難しい課題が多い一年でした。特に高齢児によるSNSを介した問題では、対応に苦慮する場面が多く見られました。子どものインターネット利用は低年齢化・多様化が進む一方、リスク理解や対応体制は充分とはいえません。そのため、利便性だけに頼らず、発達や生活背景を踏まえた慎重な活用と社会的な注意喚起の必要性を感じています。

一方で、市町村からのショートステイ要請は前年度を大きく上回り、ニーズの高さを実感しています。中には緊急対応から一時保護へ移行するケースもあり、困窮家庭支援における重要な役割を再認識しました。潜在的な困窮ケースと早期につながり支援することは、現在の子ども福祉の方向性にも合致しており、引き続き注力して参りたいと存じます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども一人ひとりが安心して生活できる人間関係と安全な環境作りを目指し、子ども自らが主体的に生活に参加できるように支援していきます。

情緒の安定を図り、発達段階に応じた個別支援、自立に向けた生活力と学習の向上を図ります。また、子どもと保護者に寄り添いながら家庭支援を充実していきます。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
 - (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。

- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 将来社会的自立ができる。
- 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付ける。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
- 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活を送れる。

ハ) 処 遇 目 標

- 1. 児童処遇の向上
 - (1) 安定した日常生活の援助 (規則正しい生活と安心・安全の維持)
 - (2) 個性と意見の尊重 (個人の特性と個々の意見・意思を尊重する)
 - (3) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
 - (4) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
 - (5) 支持的援助 (強みや良さに着目し伸ばす)
 - (6) 治療的援助 (特に配慮を要する児童へのケア)
 - (7) 家庭との連携 (定期的な連絡・面会・帰省)
- 2. 業務に関わる事務処理
- 3. 安全・健康管理の徹底
- 4. 関係機関・団体・地域との連携強化
- 5. 職員の援助技術の向上

ニ) 学 習 指 導

- (1) 目 的
 - ・基礎学力を養成する。学習意欲を高め、自主的な学習習慣を身につける。
- (2) 内 容
 - ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
 - ・児童と一緒に学習計画を作成し、自主的な学習につながるようにする。
 - ・計画的な進路相談の実施

ホ) 環 境

- (1) 目 的
 - ・子どもが安全に生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
 - ・手洗い・うがいの習慣化
 - ・入浴指導の実施。
 - ・除菌消毒の徹底
 - ・定期保菌検査の実施
 - ・住環境を中心とした整理整頓、環境整備
 - ・災害時対策及び訓練の実施
 - ・交通安全指導

ヘ) 情 操

- (1) 野菜の栽培
- (2) 花木類の育成
- (3) 趣味の教室 (工作・フラワーアレンジメント・菓子作り、調理等)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

- 1. 職 員 会 議
 - (1) 全体会議 … 月 1 回
 - (3) 給食会議 … 月 1 回
 - (4) 施設内研修会 … 月 1 回

- (5) グループ会議 … 月 3 回
- (6) 連絡会議 … 毎 日
- (7) まるなか会議（性教育） … 月 1 回
- (8) リーピングケア会議 … 月 1 回
- (9) 運営会議 … 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 ……………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 ……………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒 ……………… 随 時
- エ. 食器消毒 ……………… 毎 日
- オ. 残留塩素調査 ……………… 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断
- イ. 身体測定
- ウ. 職員保菌検査 ……………… 月 1 回 (0157含む)
- エ. 児童保菌検査 ……………… 年 2 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 自動火災報知器の検査 …… 令和7年9月29日、令和8年3月3日
- イ. 火災通報装置の検査 …… 同 上 同 上
- ウ. 特定小規模施設用自動火災報知設備検査 …… 同 上
- エ. 貯水槽検査 ……………… 令和8年2月19日

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 登下校時見送り（小学生、学校指定箇所まで）
- ウ. 交通安全指導

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 学習時間

小学生 （平日）基本的に帰園後。児童との話し合いで随時変更あり。
（休日）午前中

中学生 基本的に1時間以上行う。学習時間については児童の自主性に任せ、その日の担当職員と決める。

2. 通 塾

児童の希望に沿って学習塾などへ通塾

3. 場 所

食堂、学習室、居室、集会室、地域の学習塾

◎生活支援について

生活を共に作るという基本方針に沿って、職員の側から押しつけるのではなく、子どもと話し合いを持ちながら生活プログラムを作成し、一人ひとりがかげがえのない存在であるということを実感できるように支援する。

1. 職 務 分 掌

- (1) 教育費関係 (2) 給 食 (3) 学用品 (4) 日用品 (5) 被服・寝具
- (6) 教養娯楽 (7) 保健衛生 (8) 保育材料 (9) 防災関係 (10) 家庭関係
- (11) 法人委員会 (12) 関係団体等委員 (13) 公用車管理 (14) 安全・保守点検
- (15) 実習生、ボランティア受入

2. 生活指導訓練費について

- ・毎月1日にお小遣いとして支給する。児童の自主性を損なわないように留意しながら、金銭の管理について年齢相応に経験させる。
- ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。（中・高生は各自、小学生は職員と一緒に）

3. 誕生日について

- ・誕生プレゼント
- ・誕 生 会
児童の誕生日の夕食時に行う。メニューは誕生者の希望をとり、ケーキを囲んでお祝いをする。

4. お年玉について

- ・全児童を対象に支給

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床	起 床	14:00	帰 園	
7:00	洗 面・朝 食	洗 面	15:00	おやつ	おやつ
8:00	登 園・登 校	朝 食 学 習	16:00	学 習	
9:00			17:00		
10:00			18:00	夕 食	夕 食
11:00			19:00		
12:00	昼 食	昼 食	20:00	入 浴	入 浴
13:00			21:00	就 寝(小) 自主学習	就 寝(小) 自主学習
			22:00	就 寝(中・高)	就 寝(中・高)

6) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1、12	お花見レク	11	8	鹿島アントラーズ観戦招待
	4	進級進学を祝う会		13	七五三
	6	プロ野球観戦招待		15	海浜公園レク(高学年)
5	6	BBQ	29	水戸ホーリーホック観戦招待	
	16	動物園レク(未就学児)	12	13	テーブルマナー講座
6	14~15	モバイルファイナンス(高校女兒)		25	クリスマス会
	20	ホテル観賞会		27	マックアドベンチャー①
7	23	カラオケレク(小6・中学女兒)		27	そば打ち
	26~27	モバイルファイナンス(高校男児)		28	餅つき
	31	お出かけレク②(小1・2)	29	マックアドベンチャー②	
8	2	映画鑑賞レク	1	1~7	外食
	6	職業体験(ルイヴィトン)		11、12	マックアドベンチャー③④
	7	プールレク(小3)	2	16	七五三撮影ボランティア
	18	お出かけレク②(未就学児・小1)		23	卒業旅行①(ハワイアンズ)
	19	プールレク(小4・5)		28	卒業旅行②(東京観光)
27	水族館レク(小3)	23		卒業旅行①(ハワイアンズ)	
9	19~21, 21~23	キャンプ	28	卒業旅行②(東京観光)	
10	14	動物園レク(未就園児)	3	18	巣立ちの会
	18~19	さららの里ケビン泊		19~20	キッズニア招待
				28	プロ野球観戦招待

7) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	心 理 士	計
県・社 協	1	1	5	10	1	0	18
団 体	8	2	16	23	0	4	53
法人・施設	14	7	124	145	15	15	320
計	23	10	145	178	16	19	391

2. 児童構成(R7.3.31現在)

区分 年令・学年	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生			高 校 生			他	計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3				
男							2	1	2	1	2		1			1	1					11
女		1	1				1	1	2				1	1					1			9
計		1	1	0	0	1	3	1	4	1	2	1	2	0	0	1	1	1				20

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	24	24	25 [1]	25 [1]	25	25	25	24	24	24 [1]	24 [1]	25	294 [6]
入 所 うち()は初日入所		1		1							2	1	5
退 所 うち()は初日退所				1			1				1	6	9
月末在籍	24	25	25	25	25	25	24	24	24	24	25	20	

4. 入所理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚	1	4	5
4. " 不和			
5. " 拘禁	2	2	4
6. " 入院		1	1
7. " 就労		1	1
8. " 精神疾患等	3	2	5
9. " 放任・怠惰	1		1
10. " 虐待・酷使	2	4	6
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難	1	1	2
15. その他	4		4
16. 不詳			
合 計	14	15	29

5. 退園理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立(就職)	2		2
2. 進学			
3. 措置変更	1	2	3
4. 家庭引取り	2	2	4
合 計	5	4	9

6. 在 籍 期 間(R8.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
3	6	5	3	3	20

7. 一時保護・里親レスパイト及びショートステイの受け入れ

- ・一時保護
延べ日数 60日 実人数 1名
- ・ショートステイ
日立市 述べ日数8日 実人数1人
高萩市 述べ日数11日 実人数4人
ひたちなか市 述べ日数26日 実人数5人
計 述べ日数45日 実人数10人

8. 栄養摂取状況

◎嗜好調査………行事、イベント(誕生日は希望カード記入)また、普段より子どもの希望を取り入れたメニューを実施している。

- ・食育アンケート(全児童、全職員対象記述式アンケート実施)年1回。

1. 食 費 1日当たり 527円(原材料費)
2. 熱 量 幼児(3~5歳) 1.493kcal (基準1.100kcal)
学童(6~18歳) 2.166kcal (基準2.154kcal)
3. たん白質 幼児(3~5歳) 47.4g (基準35.6~62.5g)
学童(6~18歳) 68.3g (基準54.3~77.5g) ※学校給食の平均値を含む

入園児童の出身地別の推移（同仁会子どもホーム）

児相年	平成												令和												合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36		37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479	1480	1481	1482	1483	1484	1485	1486	1487	1488	1489	1490

入園理由別総計表（同仁会子どもホーム）

入所理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡								1	1	1	1	1	5
" 行方不明	5	5											10
" 離婚・就労	3	3	2	3	1	2	5	3	1	1	1	1	26
" 傷病・入院	1	1				1	1	1					5
" 精神疾患	2	2	1	3	9	7	7	6	6	7	6	7	63
" 受刑	6	8	7	6	8	7	10	8	8	9	7	7	91
" 被虐待・被冷遇	2	11	11	12	12	9	9	11	10	11	10	9	117
その他	8	8	6	7	1								30
小計	27	38	27	31	31	26	32	30	26	29	25	25	347

入所理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡													2
" 行方不明	1	1											-
" 離婚												5	5
" 不和													-
" 拘禁	8	8	8	3	2	2	4	4	4	3	3	3	56
" 入院								2	2	2	2		11
" 就労	1	1	1	1						1	1	1	8
" 精神障害	7	7	7	7	6	4	4	4	2	6	6	5	70
" 放任怠惰					1	1	1	2	2			1	9
" 虐待	6	6	7	14	14	12	10	7	6	10	10	11	119
棄児													-
養育拒否	2	2	1	1	2	2	3	2	2	1	1	1	20
破産等経済的理由													-
児童の監護困難							1		1			2	4
その他の				1	1	3		2	2		3	5	21
不詳													-
小計	25	25	24	27	26	24	25	23	21	23	26	27	29
合計													325

※平成25年度より集計項目変更

10. 児童養護施設 内原和敬寮

1) 令和8年度運営計画

昨年度は自立による退所が4名ありましたが、入れ替わるように2名の入所があり、今年度は28名でのスタートとなりました。分園、本館共に引き続きひとり一人にきめ細かいケアが行き届くような支援を心がけていきます。また日々の丁寧なお世話と整えられた環境を通して、大人との心地よい関係性や自分が大切にされているという実感に繋がる支援を目指します。また、アフターケアとして退所児や家庭復帰後のケースへの対応も増えているため、様々な機関と連携しながら対応していきます。

今年度は3年ごとに実施している同窓会「いちょうの会」を開催する予定があるため、滞りなく準備を進めていきます。

一時保護専用施設「和（なごみ）の家」については、保護された子どもが安心と安全を感じ、落ち着いた生活が送れるよう支援していくと共に、アセスメントの支援を持ちながら児童相談所と密な連携体制を築いていけるよう取り組みます。

今後も市町村からのショートステイの積極的な受け入れや、施設としての里親支援の拡充等を通して、多様な形での地域支援を実施すると共に、より具体的な多機能・高機能化の取り組みを模索し続けていきたいと考えています。

1 福祉サービスの質の向上

- (1) 自立支援計画と多角的アセスメントに基づく子ども・家族への理解と支援
- (2) 年齢に応じた個別・複数人（にこまる）での生・性教育の実施
- (3) 家庭復帰と家族再統合に向けての家庭調整及びアフターケアの充実
- (4) 里親支援の充実（レスパイト受け入れ、施設内研修への参加を含む）
- (5) 子育て支援短期利用事業の積極的な受け入れ等、地域支援機能の強化
- (6) 一時保護専用施設の安定的な運営とアセスメント機能の強化
- (7) アドボケイトの活用や協働を通しての子どもの意見表明権の保障

2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価の実施
- (2) グループ（チーム）ケア体制の強化と組織全体としての協力・連携体制の構築
- (3) 業務のICT化によるグループウェアの更なる有効活用
- (4) 地域との積極的な関わりを通しての相互理解と施設機能の還元

3 人材育成と人材の確保

- (1) 法人内外の研修への積極的参加と園内研修の充実
- (2) 職員の資質向上および相談体制の強化（OJT、資質向上計画、その他の個別面談等）
- (3) 採用2年次未満の職員に対してペアレントトレーニングの実施
- (4) 実習生の積極的受け入れと指導内容の充実

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算執行
- (2) コスト削減、節約意識の徹底
- (3) ICTの積極的な活用と業務効率化によるペーパーレス化の推進

5 食育の推進及び環境問題対策

- (1) 調理体験（日々の暮らしならびに行事等）の充実
- (2) ゴミの分別と資源の有効利用の徹底

2) 運営の概況

昨年度は一時保護専用施設「和の家」を開設し、併せて小規模ユニット棟を分園型に変更したという、運営面において大きな変化があったスタートでした。職員体制や環境の変化もあり少なからず子どもや職員に心理的な負荷がかかる部分もありましたが、施設全体で連携・協力し、安定した生活が送れるよう努めてきました。

一時保護専用施設においては概ね満床状態で、年間21名の入所（延べ1,283日利用）がありました。専用施設の必要性を再認識すると共に、安全に保護するだけでなく、児童相談所との連携体制とアセスメント等の機能をより強化していくことが不可欠であると感じています。

本体施設においては、施設ならびに学校でのよりよい対応等について児童相談所とも密に連携しながら支援者間でアセスメントを共有し、共通理解を図りながら支援することに努めてきました。今年度は、医療的ケアが必要な子どもの入所があり、医療や学校とより綿密な連携が必要な状況です。施設や学校において安全に暮らせる環境と見守り体制を強化していきます。

また、一時保護委託やショートステイ利用の多さは変わらない状況です。今後も地域支援の機能として施設の専門性をどう発揮・還元できるか模索しながら積極的な受け入れをしていきたいと思えます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指しています。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを3つに分け、更に5つのユニットに分けてきょうだい関係を重視した少人数の縦割りグループによる支援を行います。また、生活上の約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけて、子どもたちの安定した生活につなげています。

一方、学習面では学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行います。希望する中学生は地域の塾へも通っています。その他、地域子ども会やスポーツ少年団への参加をするなど、地域の中での運営・支援を心がけています。

ロ) 基本的目標

○ 法人理念・綱領「合掌深敬の心」を実践し、子どもが将来社会的自立ができるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS(笑顔)・G(挨拶)・N(名前)・T(感謝)を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」と言える場面を作る。(あなたを必要としています)

ハ) 処 遇 目 標

○ 児童処遇の向上

- (1) 安心して落ち着いた生活が送れるよう支援する。
- (2) 規則正しい生活リズムを作れるよう支援する。
- (3) 個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする。
- (4) 基礎学力の向上、高校進学等への進路の支援をする。
- (5) 自立支援計画に基づいた支援を行う。
- (6) 早期の家庭復帰を目指し、家庭との関係を密にするため、児童相談所と連携し定期的な連絡、面会、帰省等を行う。

ニ) 学 習

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。就職・進学への支援。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・子ども一人ひとりの学力や適性に応じた、就職・進学への計画的な支援の実践。(個別面談、学習相談、進路相談)
- ・学習塾の活用(中高生の希望者を対象とする)
- ・学習ボランティアの活用

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に落ち着いて生活できる整えられた環境を作る。

(2) 内 容

- ・職員による毎日の清掃の徹底
- ・清潔感を養う (手洗い・歯磨きの習慣化、居室の整理整頓、清潔な服装、入浴の徹底等)
- ・定期保菌検査の実施
- ・非常時 (火災、地震、風水害、不審者対応) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の大切さを知る (自転車の乗り方の指導、通学路の確認等)
- ・草花の栽培

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- | | | | | |
|------------|----|----|-------|---|
| (1) センター会議 | …… | 月 | 1 | 回 |
| (2) 食育会議 | …… | 月 | 1 | 回 |
| (3) ケース会議 | …… | 月 | 1 | 回 |
| (4) 職員会議 | …… | 月 | 1 | 回 |
| (5) 運営会議 | …… | 月 | 2 | 回 |
| (6) 連絡会議 | …… | 毎日 | 午前・午後 | |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- | | | | |
|---------|----|---|-----|
| ア. 室内清掃 | …… | 毎 | 日 |
| イ. 便所消毒 | …… | 毎 | 日 |
| ウ. 寝具洗濯 | …… | 週 | 1 回 |

(2) 身 体 衛 生

- | | | |
|-----------|----|--|
| ア. 健康診断 | …… | 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 5月14日 (未就園児)、2月14日 |
| イ. 身体測定 | …… | 月 1 回 |
| ウ. 散髪 | …… | 随 時 |
| エ. つめ切り | …… | 随 時 |
| オ. 下着交換 | …… | 毎 日 |
| カ. 入浴 | …… | 毎 日 |
| キ. 児童保菌検査 | …… | 年 2 回 |
| ク. 職員保菌検査 | …… | 月 1 回 |

(3) 安 全 管 理

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回) | |
| イ. 火災報知器の検査 (アース防災棟) | …… 令和7年7月10日、令和8年1月9日 |

(4) 児 童 の 安 全

- | | |
|---|--|
| ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回) ・不審者対応 (年 2 回) | |
| イ. 登下校時の送迎 (小学生) | |
| ウ. 交通安全指導 | |
| エ. 環境整備 (毎月末の土曜日) | |

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 平日 (日曜日はなし)
小学生：帰園後
中学生：自主学習 (個人のレベルに合わせて)
中学生の希望者においては塾を利用する
2. 場所 …… 居室・ダイニング
3. 学校の準備、後片付けの徹底

◎生活支援について

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、生活の中に家庭的な雰囲気が感じられ、安心できる場所を与えられるよう、個別に月間生活目標を作成し、支援を行う。また、地域社会の一員として

自立し、自信を持って生活ができるよう、長期計画的な視点で自立支援計画を作成する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。
 - ・貯金の励行（通帳の作成）
 - ・用途は自主性を尊重し、計画的に自由に使えるよう配慮する。
2. 誕生日について
 - ・事前に準備したプレゼントとグループ職員が作成した誕生カードを当日に渡す。
 - ・グループ職員が誕生カードを作成する。
 - ・誕生会
誕生者のいる各ユニットでその都度行い、誕生者の希望するメニューを準備し祝う。
3. お年玉について
 - ・お年玉
元日の朝、施設長から在籍児童へ渡す。
4. 子ども会議の育成
 - ・児童の自主性や主体性を養うことを目的に、グループ毎に行う。
 - ・児童と職員と一緒に年間行事等の協議・検討を行う。
 - ・意見箱を設置する。
5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:00	起床・洗面 朝食		16:00	帰園(小学生) 学習	
7:00		起床	18:00	夕食	夕食
8:00	登校(小学校7:10) 登園(幼稚園8:35) 登校(中学校7:40)	朝食	19:00	テレビ視聴 入浴	テレビ視聴 入浴
12:00	昼食 帰園(幼稚園)	昼食	20:00	就寝(幼児)	就寝(幼児)
14:00			21:00	就寝(小学生) 自主学習	就寝(小学生) 自主学習
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝(中高生)	就寝(中高生)

6) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	1	2	2	1	3	2	1	1	2	4	1	4
保 菌 検 査 (児 童)						4				8		
保 菌 検 査 (職 員)	3	1	5	3	7	4	2	6	4	8	5	5
安 全 管 理 点 検	24	23	25	17		9		26	15	28	27	17
非 常 時 避 難 訓 練	26	24	28	26	23	27	25	22	20	24	28	14

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	29 [1]	28	28	28	28	29 [1]	27	29	29	29	30	30	344
入所 うち()は初日入所						1 (1)	2			1		2	6
退所 うち()は初日退所	1					2						4	7
月末在籍	28	28	28	28	28 [1]	27	29	29	29	30	30	28	342

4. 入所理由別表

入所理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. // 行方不明			
3. // 離婚			
4. // 不和			
5. // 拘禁			
6. // 入院			
7. // 就労			
8. // 精神疾患等	1	2	3
9. // 放任・怠惰	3	4	7
10. // 虐待・酷使	6	7	13
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由		3	3
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他	5	4	9
16. 不詳			
合計	15	20	35

5. 退所理由別表

退所理由	男	女	計
1. 自立(就職)	1	2	3
2. 進学(大学・専門学校)		2	2
3. 措置変更			
4. 家庭引取り	1	1	2
合計	2	5	7

6. 在籍期間 (R8.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
5	6	7	7	3	28

7. 一時保護入所状況

実人数 9名
延べ日数 88日

8. ショートステイ受入状況

実人数 12名
延べ日数 121日

トワイライトステイ受入状況

実人数 0名

9. レスパイト受入状況

実人数 2名
延べ日数 11日

10. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施
年1回記述アンケートにより実施

1. 食費 1日当り 835円
2. 熱量 2,151 Kcal (基準 2,071 Kcal)
3. たん白質 76.2 g (基準 67.3g~103.6g)
(学校給食の平均値含む)

入園理由別総計表（内原和敬寮）

入園理由	平成15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡			1	1	1					1	4
" 行方不明	4	9	7	8	2	2	2	2	2	2	40
" 離婚・就労					2	1	1				4
" 傷病・入院	2	10	8	6	7	6	7	4	3	2	55
" 精神疾患	4	2	3	4	2	4	8	12	9	8	56
" 受刑	5	15	9	8	7	7	5	1	1	1	59
" 被虐待・被冷遇	12	17	17	19	19	18	21	20	21	19	183
その他の	14	5	2	3	5	6	6	5	4	1	51
小計	41	58	47	49	45	44	50	44	40	34	452

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	合計
父または母の死亡	1	1	1	2	2	1	1							9
" 行方不明	2	2	2	1	1						1	1		10
" 離婚														-
" 不和														-
" 拘禁	3	2		1	1	1	1							9
" 入院	2	2	2											6
" 就労	1	2	1	3	4	4	2	1	1	1	1	1		22
" 精神障害	8	7	7	7	6	5	3	3	3	5	6	5	3	68
" 放任怠惰	9	11	9	11	13	14	11	10	9	8	7	8	7	127
" 虐待	12	13	11	13	12	12	22	25	24	27	18	16	13	218
棄児														-
養育拒否	2	2	2	2						1				9
破産等経済的理由								2	2	3	3	3	3	16
児童の監護困難	1													1
その他の	1	4	10	7	6	3	2	2	3	4	7	8	9	66
不詳														-
小計	41	47	45	47	45	40	42	43	42	49	43	42	35	561

※平成25年度より集計項目変更

1 1. 児童養護施設 つくば香風寮

1) 令和8年度運営計画

令和7年度は、分園型小規模施設開設に向けたワーキングチームの検討を進め、運営方針や体制整備の具体化に取り組みました。また、性教育委員会の活動を継続し、施設全体として落ち着いた環境の中で子どもたちの生活を支えることができました。一方で、入所はほぼ満床の状態が続き、ショートステイを十分に受け入れられない状況がありました。こうした課題を踏まえ、地域支援のあり方についても検討を深めた一年となりました。

令和8年度は、いよいよ分園型小規模グループケアが始動する年度となります。子どもたちがより家庭的な環境で安心して暮らせるよう、運営体制の確立と支援内容の充実を図ります。また、児童養護施設としての地域支援の役割を一層推進し、地域の関係機関と連携しながら、相談支援や家庭支援の取り組みを広げていきます。

入所児に対しては、これまで同様、一人ひとりの背景を丁寧に理解し、安心できる生活環境と温かい養育を提供します。アフターケアについても継続して取り組み、子どもたちが自立後もつながりを感じられる支援を大切にしていきます。

今後も、施設の責務を果たしながら、地域と共に子どもたちの健やかな成長を支える施設運営に努めてまいります。

1 施設提供サービスの向上

- (1) 家庭的養育と心理支援的養育を柱とした、安心感のある生活の提供
- (2) アセスメントの強化による子どもと家族の理解
- (3) ペアレントトレーニングを取り入れた養育技術の標準化
- (4) 施設の強みを活かした専門的地域支援
- (5) 分園型小規模グループケアの実践と報連相の徹底

2 人材育成

- (1) 施設内外の研修の計画的参加（施設・職員の課題に即した研修計画）
- (2) 人事考課制度の継続実践
- (3) 実習生の積極的受け入れと実習プログラムの体系化
- (4) 県内他施設との職員交換研修

3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 施設内虐待に関する理解と予防への取り組み
- (3) 職員の意見・考えを積極的に運営に生かす取り組み
- (4) 人材定着のための業務改善と職場環境整備
- (5) 第三者評価の受審と改善への取り組み

4 財政基盤強化

- (1) 物価上昇等の社会情勢を踏まえた予算見直しと執行
- (2) コスト意識、節約意識の徹底
- (3) グループウェアを生かした業務効率化

2) 運営の概況

令和7年度は、1年を通して大きな事故やトラブルもなく安定した運営を継続することができました。入所率は年間を通じて非常に高く、ほぼ満床の状態が続いたため、市町村からのショートステイや一時保護のご依頼に十分に応じられない場面もありました。この状況からも地域における社会的養護や子育て支援のニーズが一層高まっていることが伺えます。

施設としては、開設以来初めてとなる同窓会を開催し、多くの卒園児が参加して盛況となりました。子どもたちの成長した姿に触れられたことは、職員にとっても大きな励みとなりました。また、分園型小規模グループケアの建築工事が順調に進み、年度末には建物が完成しました。現在も運営体制整備をさらに進めている状況にあります。

地域支援の取り組みとしては、つくば市との連携による子育て支援を新たに開始し、地域に根ざした支援の幅が広がりました。地域のニーズに応じた支援体制を整えることは、施設の重要な役割のひとつであり、今後も継続して取り組んでいく必要があります。

職員体制については、退職者はなく安定した配置を維持できた一方で、心身の負担が大きくなる場面も見られ、職員の健康管理や働き方について改めて考える一年ともなりました。子どもたちにとっての「安心感」を支えるためには、職員が安心して働ける環境づくりが欠かせないことを再認識した年度でもあります。

令和8年度に向けても、子どもたち一人ひとりに寄り添ったケアの充実と、地域に開かれた施設運営を目指し、職員一同取り組んでまいります。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活支援において「受容・共感」「支持」「教示」を援助の基本とする。安心と安全の維持に最大限努力し、その子ども一人ひとりの健全な自己実現の助けとなる自立援助を目指す。また、子ども達の意思や選択が反映されたより家庭的な生活支援の実現を目指す。さらに、子ども達の生活支援を地域の暮らしの中で実践し、それらを通して権利擁護意識の啓発、地域児童福祉への専門性の還元を視野に入れながら、地域と一体となった施設運営を目指す。

具体的には、子どもの生活基盤を本体施設では4つのユニットに分けた少人数の縦割り、分園では少人数の小学生以上の女兒グループで支援し、生活を支援する職員のグループを3つとした支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がける。さらに地域子ども会やスポーツ少年団への参加など地域の中で運営・支援していく。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、子どもが将来、社会的自立ができるよう援助指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

ハ) 処遇目標

1. 児童支援の向上

- (1) 日常生活支援の徹底 (社会的、知的及び情緒的自立ができる子どもの育成)
- (2) 個性尊重 (その子の個性を尊重し、固有の良い面を伸ばす。)
- (3) 基本的生活習慣の獲得 (基本的生活習慣を獲得しその維持と自立を目指す。)
- (4) 落ち着いた生活維持 (寮内生活の基本ルールの遵守、自分を大切にし他人の権利を侵害しない。)
- (5) 清潔な環境づくり (整理整頓や清掃、物を大切に扱う習慣を身に付けることができるよう支援する。)
- (6) 努力する心育成 (スポーツ指導や情操教育を通して努力する心、集中力、忍耐力、持続力を養う。)
- (7) 子ども自身の参画 (子ども自身が寮内生活を創っていく心育てる。)
- (8) 潤いのある生活 (安全と衛生面に留意し、安心で潤いのある生活環境を整える。)

ニ) 学 習

(1) 目 的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。その子の特性や固有の力に応じた進学適正、就業適正を網羅した知的自立支援を行う。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う。
- ・基礎学力を養成し学習効果を高める。高校受験の特別支援を行う。
- ・計画的な進路相談を実践する (面談、学習支援、進路相談)。
- ・心理士の助言による進学適性、就業適性を踏まえて、学習支援と児童の発達状況に応じた支援を展開する。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に安心して明るく生活できる環境を作る。

(2) 内 容

- ・手洗い、消毒の習慣化、清潔感を養う (服装、身体)
- ・季節性感染症対策の徹底
- ・健康診断、定期保菌検査の実施
- ・環境整備 (施錠、補修、整備、整理整頓、毎日の清掃)

- ・非常時（火災、地震）対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底（自転車点検、補修、通学路の確認）
- ・環境美化活動（子ども自身が安全面に配慮する、寮内外の環境美化、地域への奉仕活動）

へ) 情 操

(1) 目 的

- ・園芸や作物づくりなど土に触れる体験を通して、豊かな情緒を育む。

(2) 内 容

- ・敷地内への樹木、草花の植栽

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- | | | |
|-----------------|-------|----------------------|
| (1) 職員会議 | | 月 1 回 |
| (2) グループケース会議 | | 月 1 回 |
| (3) 運営会議 | | 月 1 回 |
| (4) 連絡会議 | | 毎日 8:40及び13:20 |
| (5) 里親支援会議 | | 月 1 回 |
| (6) 調理員会議 | | 月 1 回 |
| (6) 心理支援会議 | | 月 1 回 |
| (6) つくば地区心理職会議 | | 月 1 回 |
| (7) 施設内研修 | | 月 1 回 |
| (8) 家庭支援会議 | | 隔月 1 回：内原地区担当者との合同会議 |
| (9) リスクマネージャー会議 | | 隔月 1 回 |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| ア. 室内外の消毒 | | 月 1 回 |
| イ. 寝具日光消毒 | | 好天日随時 |
| ウ. 浴場消毒 | | 毎 日 |
| エ. トイレ消毒 | | 週 1 回 |
| オ. 食器消毒 | | 毎 日 |

(2) 身 体 衛 生

- | | | |
|-----------|-------|--|
| ア. 健康診断 | | 学校保健法に準じて実施
(嘱託医による…6月・12月の嘱託医来訪健診の他、
随時実施。全児年間2回) |
| イ. 身体測定 | | 月 1 回 |
| ウ. 散髪 | | 随 時 |
| エ. つめ切り | | 週 1 回 |
| オ. 下着交換 | | 毎 日 |
| カ. 入浴 | | 毎 日 |
| キ. 児童保菌検査 | | 月 1 回 |
| ク. 職員保菌検査 | | 月 1 回 |

(3) 安 全 管 理

建物設備等点検…業者委託（総合建物サービス（株）、（株）NEW NEXT CLEAN）

- | | | |
|----------------------|-----|-----|
| ア. 空調機保守点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| イ. 換気設備保守点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| ウ. 受水槽清掃・水質検査（年1回） | 6月 | |
| エ. グリストラップ清掃（年2回） | 6月 | 12月 |
| オ. 消防設備点検（機器点検・総合点検） | 5月 | 11月 |
| カ. 巡回設備点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| キ. ダムウェーター点検（年6回） | 奇数月 | |

(4) 児 童 の 安 全

- | | | |
|---------------------------|-----|----------------------------|
| ア. 避難訓練 | ・・・ | 月 1 回 |
| イ. 登下校時の送迎 | | |
| ウ. 環境整備 | ・・・ | 毎日（朝の連絡会議終了後）、月 1 回の環境美化活動 |
| エ. ヒヤリハットレポートによる未然事故の予防検討 | | ：毎月職員会議内にて |
| オ. アルソックによる警備システム配備 | | |

6. 係

個人情報管理者 処遇システム管理 研修委員 情報公開委員 親睦会
 学校関係 子ども会 学習塾 スポーツ少年団 県南西8施設研修 人材育成
 (茨児協関係) 研修部
 (行事関係) 個別レク 夏休み係 冬休み係

8) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
保菌検査(児童・職員)	9	14	4	9	6	3	8	5	3	7	4	4
安全管理点検	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	30
非常時避難訓練	24	26	26	17	28	25	23	19	18	22	26	18

9) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	13、20、30	誕生会	10	29	誕生会
5	21、22、23	誕生会		10～11、13	18、25
	5、11	こどもの日、母の日	11	11	誕生会
6	29	個別外出		4、13、22	
	1、9、10	誕生会	12	7	誕生会
	15	父の日		21	個別外出
2～3	男児キャンプ	24、25		クリスマス会	
7	27 29～30	個別外出、温泉旅行		28	餅つき
	5、9	誕生会	1	2、27	誕生会
8	11	グループレク		5、6	初詣
	13、18、27	誕生会	2	6、10、18	誕生会
	2、3	夏祭り	3	30、31	誕生会
21	夕涼み会	7、8		グループレク	
9	9、13、16	誕生会			
	14	グループレク			

10) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	指導員	保育士	心理士	調理員等	計
県・社協			17	9	1	2	29
団 体	8	5	32	30	4	7	86
法人・施設	7	9	178	140	10	20	364
計	15	14	227	179	15	29	479

2. 児童構成 (R8.3.31現在)

区分 年令・学年	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生			高 校 生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	0	0	2	1	0	2	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	3	1	0	15
女	0	0	0	1	2	1	3	0	1	1	0	1	1	0	0	3	1	0	1	16
計	0	0	2	2	2	3	4	0	2	3	2	1	1	0	0	3	4	1	1	31

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	359
入 所 うち()は初日入所	1											1	2
退 所 うち()は初日退所												1	1
月末在籍	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	31	361

4. 入寮理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明	2		2
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁		1	1
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	3	4	7
9. " 放任・怠惰	3	5	8
10. " 虐待・酷使	6	5	11
11. 棄児	1		1
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他		1	1
合 計	15	16	31

5. 退寮理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立 (就職)			
2. 進学 (大学・専門学校)			
3. 措置変更			
4. 里親委託			
5. 家庭引き取り		1	
6. その他			
合 計	0	1	1

6. 在籍期間 (R8.3.31現在)

1 年未満	3 年未満	5 年未満	1 0 年未満	1 0 年以上	計
2	11	5	9	4	31

7. 一時保護受入状況

実人数 0名 延べ日数 0日

8. ショートステイ受入状況

実人数 0名 延べ日数 0日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施(お誕生日メニュー)
令和7年10月在籍児童に嗜好調査アンケート実施
(アンケートについて年少児童は職員の介助による。)

- 1. 食 費 1日当り 879 円 (原材料費)
- 2. 熱 量 1,929 Kcal (基 準 1,930 Kcal)
- 3. たん白質 60.3 g (基 準 43.7~82.8 g)

入園理由別総計表（つくば香風寮）

入園理由	平成23	24	合計
父または母の死亡	1	1	2
” 行方不明			-
” 離婚・就労	7	7	14
” 傷病・入院		1	1
” 精神疾患	2	2	4
” 受刑	5	3	8
” 被虐待・被冷遇	12	17	29
その他・未成年等			-
計	27	31	58

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	合計
父又は母の死亡					1	3	2	2	2	2	2	2	2	0
” 行方不明														18
” 離婚	4	3	3	3	1	1								15
” 不和	1			1	2	1								5
” 拘禁	3	5	4	3	3		3	3	3	4	2	1	1	35
” 入院			1	1	1	1	2	2						8
” 就労														0
” 精神疾患等	7	6	4	2	3	4	5	5	6	5	6	7	7	67
” 放任・怠惰	3	6	4	6	7	9	9	11	8	9	9	9	8	98
” 虐待・酷使	5	11	12	13	14	6	7	7	10	11	15	10	11	132
棄養			1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	12
” 拒否		1		1	1	3	2							8
破産等の経済的理由	1			1										2
児童の問題による監護困難	1						1							2
その他の	1	2	1		2		2	1	1	1	1	1	1	14
計	26	34	30	32	36	30	34	32	31	33	36	31	31	416

※平成25年度より集計項目変更

12. 乳児院 同仁会乳児院

1) 令和8年度運営計画

家庭的なユニットケアでの生活も4年目を迎え、各ユニットの個性も現れ、子どもたちも「自分のお家」感覚が養われています。

入所傾向としては、療育支援や医療的ケアを必要とする乳幼児が増えており、今まで培ってきた専門性を生かすとともに職員のスキルアップの向上を図ってまいります。

令和6年度も児童虐待相談件数は22万件を超え、困難を抱える家庭など地域の子育て支援、在宅支援も視野に入れて高機能化・多機能化の準備をする必要があります。

また、令和6年度より意見表明措置が始まり、乳児院においても児童相談所から子どもたちへの意見表明の聞き取りが増えました。乳幼児の意見形成・表明権については大変難しく全国乳児福祉協議会において検討が行われています。意見表明は権利擁護であり、養育の質の向上を目指すものです。2年前から権利擁護の学習会を進めており、今年度、当院独自の「同仁会乳児院憲章」の完成を予定しています。

令和8年度も関係機関との連携を図り、安心安全の施設作りを目指し、以下の運営を取り組んでまいります。

1 福祉サービスの向上

- (1) 自己肯定感を育む養育、安心、安全基地となる支援の強化
- (2) 社会性を育める日常生活体験の充実（買い物、外食、調理体験等）
- (3) 地域子育て支援、在宅支援への協力（栄養士、心理士、保育士、看護師の派遣）
- (4) 家庭支援専門相談員を中心として家庭支援の充実（親子宿泊訓練等）
- (5) 里親養育支援への強化

2 組織体制の強化

- (1) 職員相互の共有と理解、チームワークの連携と強化
- (2) 同仁会乳児院独自の権利憲章の完成
- (3) 第三者評価の受審と改善
- (4) 各種記録のICT化で業務の効率化を図る

3 人材育成

- (1) 園内研修の充実と外部研修への積極的参加
- (2) 人事考課制度の継続実施
- (3) 次世代リーダーの育成
- (4) 個別面談など相談体制の充実

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 時間のコスト意識や節約意識の徹底
- (3) 入所児童やショートステイの受け入れ確保

2) 運営の概況

昨年度の在籍率97%で入所児6名、退所児7名、一時保護児10名でした。

退所児の内訳は児童養護施設への措置変更が4名、家庭引き取りが2名、里親委託が1名となっています。

里親委託は1名でしたが、今年度早々に里親委託の幼児、里親選定予定の乳児が各1名います。

茨城県は3歳未満の里親委託を推進しており、乳幼児緊急里親事業も開始され、乳児院への措置は減少傾向になると予想しています。この現状を踏まえながら乳児院の機能転換は喫緊の課題です。

乳児院が今まで培ってきた乳幼児の専門養育、親子関係再構築、里親支援等を関係機関と連携協力し、地域の子育て支援に繋いでいきたいと考えています。

入所児童については昨年度の病虚弱児申請数は一時保護を含め7名、入院延べ人数15名、延べ日数は88日。また、水戸の豊学校へ月1回通園している幼児がいます。今年度からくれよんクラブ高萩へ2名の幼児が通所し、医療的ケアや発達に課題を抱える乳幼児が増加しています。より丁寧な支援をおこなうため看護師を増員員一丸となり子どもたちの健やかな成長のため頑張りたいと思います。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力していきます。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別対応の養育を行います。
2. 子ども達がよりよい生活を送ることができるよう、環境の整備を行います。
3. 家庭支援専門相談員を中心に、子ども・家庭・地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行います。
4. 心理療法担当職員による専門的な関わりや、家族の心理的不安の軽減に努めます。
5. 里親支援専門相談員を中心として、地域の里親支援を行います。
6. 職員の研修機会を多くし、子ども達の処遇向上に努めます。
7. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行います。

ロ) 基本的目標

法人理念 「合掌深敬」 感謝と共生の心

法人理念・綱領を実践し、乳幼児が養育者と共に、時と所を共有し、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に豊かな人間関係を培い、社会の一員として参画できる基礎作りを目指します。

ハ) 養育目標

1. 基本的生活習慣の確立 …… 個々の発達段階をふまえて一貫した養育を行う。
 - 0 才 児 …… ミルクの自律栄養、離乳食（食べる意欲の基礎づくり）、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
 - 1 才 児 …… 食事の練習（スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる）、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への意識づけ。
 - 2 才 児 …… 食事の自立（食の体験を広げる）、言語の獲得（単語より二語文へ、また会話ができる）、排泄の自立に向けての練習、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。
 - 3 才 児 …… 食事は自立するが個人差や偏食がしやすいので楽しい雰囲気をはたかせる。自我も確立する時期（個々の興味や自発性を大切にす）自分の気持ちを伝えられるようになり、相手の気持ちも分かるように職員は仲立ちとなる。
2. 基礎体力の増進 …………… 身体の鍛錬をする。
ベビーマッサージや乳児体操の実施と外遊び、薄着の習慣付けをする。
3. 情緒の安定
落ちついた環境でおだやかな働きかけを行い、基本的欲求を満たす。
社会生活への適応性の涵養に心がける。
4. 生活支援
基本的生活習慣を身につけると共に、子どもの持っている素質を充分にのばす。

4) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|--------------|----------------|--------------------|--------------------|
| 1. 被服(寝具等含む) | 2. 日用品 | 3. 保健衛生 | 4. 教養娯楽 |
| 5. 消耗品 | 6. 環境製作(手作り玩具) | | 7. 器具・什器 |
| 8. 環境美化 | 9. 環境整備 | 10. 院車管理 | 11. 防火管理 |
| 12. ボランティア | 13. 事務用品管理 | 14. 実習生指導 | 15. パソコン担当 |
| 16. 諸記録用紙管理 | 17. 親睦会 | 18. 給食(ミルク、おやつ等管理) | |
| 19. 県内乳児院連絡会 | 20. ブログ担当 | 21. 保護者会担当 | 22. 茨城県児童福祉施設協議会担当 |

2. 職員会議

1. 職員会議（管理・運営全般・・・月1回）
2. 運営会議（管理・運営全般・・・月1回）
3. 養育会議（ケース検討、保育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回）
4. 給食会議（献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回）
5. ユニットリーダー・サブ会議（各ユニットのケース検討、保育内容等・・・月1回）
6. 全ユニットリーダー・サブ会議（全ユニットの情報交換等・・・年4回）
6. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
7. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・年6回）
8. 五者会議（家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員、看護師、心理士・・・月1回）

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施

- 月例健診・・・月1回（嘱託医 滝 有希子先生）
検 便・・・年2回（株式会社 江東微生物研究所）
乳幼児健診・・・随 時
入所時健診・・・ //

2. 身体計測の実施 … 月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）

3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨、整髪）

4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）

5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）24時間換気機能とオゾン発生装置を利用

6. 鍛 練（薄着の励行、乳児体操、ベビーマッサージ、外気浴、体育遊び等）

7. 安全な環境の確保と充分な目配り

8. 玩具等の保安全管理点検

9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき、ヒヤリ・ハットの記録と検証）

10. 院内外危険箇所等の確認及び保全点検 …………… 月1回

11. 非常時（火災・地震）対策・訓練の実施 …………… 月1回

12. 不審者対応訓練の実施 年1回
13. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約
14. 建物設備等点検 … 業者委託
- ② 自動火災報知器の検査(作業検査) 年1回
 - ③ 非常通報装置の点検 年1回
 - ④ ガス湯沸器清掃点検 年2回
 - ⑤ スプリンクラーの点検 年1回
 - ⑥ エレベーターの点検 月1回
 - ⑦ ウォーターサーバーの点検 年2回

5) 養育の展開

① 担当制

担当は入所から退所まで原則として変えない。

担当者は担当児との愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。

② 指導計画・自立支援計画

子どもの成長、発達を支援するため、アセスメントシートを活用し、担当者が毎月、月目標と留意点を作成し、ユニット会議で関わり方など話し合い、養育会議でカンファレンスを行う。

③ 健康管理

嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

④ 生活

ユニットごとの活動を中心にして、個別的な対応を多く持つなど工夫する。

より家庭的な暮らしを心がけ、子ども達と一緒に洗濯や食事作りなどの経験を増やしていく。

養育手順マニュアルに沿った養育をする。

⑤ 日中の保育の充実

年間保育目標(別表)月案、週案に基づきつつ、ユニットごとにその日の保育内容を決めて行う。

⑥ 年間保育行事計画に基づく行事(別表)

⑦ 定期的行事

- ・肥前山へのお参り…入所後の健やかな成長を祈願する。1か月未満児はお宮参りを兼ねる。
- ・お食初め……生後3～4ヶ月の間
伝承行事。一生丈夫で、また、食べ物に困らないようにという願いを込めて行う。
- ・誕生会……誕生日を迎えたその日にみんなでお祝いをする。また、満1歳の誕生児には一升餅を
背負わせお祝いをする。
- ・スキンシップデー…… 該当月(担当職員と1日、1対1で過ごす)
《1歳》
担当者と1対1でスキンシップを図る。
《1歳6か月》
社会体験の一つとして担当者と外出し、公園で遊んだり散歩をしたりしてスキンシップを図る。
《2歳・2歳6か月》 ※3歳超過児は半年ごと
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、担当者と外出しバスや電車の体験・レストランでの
食事・図書館やお店の見学・おもちゃの買い物などを体験させる。
- ・食育
家庭的な雰囲気の中で簡単なおやつや、食事を作り、手作りの楽しさやおいしさを味わう。
また、野菜や果物の原物を見たり、触れたりすることで食べる意欲を高める。栄養士による企画
は、季節ごとに年4回実施。
- ・買い物体験……行けるときいつでも
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、各ユニットの子ども達を対象に自分でお金を払って物
を買う体験をさせる。併せて、その体験を通し満足感を味わうとともに、物を大切にする気持ちを
養う。
- ・ハッピーデー……2～3か月に1度実施
時間に制約されず十分に遊び、軽い食事をする。
- ・外食体験……年6回
レストランでの外食体験を楽しむ。
- ・臨海学園、同仁会子どもホームとの交流
学園の幼児とは日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては積極的に交流の
場を設ける。
- ・地域子育て支援への参加
同仁会地域子育て支援事業に参加し、地域の親子と交流する。
キフトにて保育士によるベビーマッサージ講座、栄養士による離乳食、栄養指導、3歳児健診、
すこやか健診への心理士派遣
- ・同仁会児童家庭支援センターへの協力
- ・保護者会
子どもの日、縁日の行事に参加してもらい、職員との交流を図る。

- ・励ます会
乳児院から巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。
- ・いとの会
乳児院を退所した子ども達や保護者等との交流と支援の繋ぎを図る。

⑧日 課

時間	ほし、つき	そら、にじ	時間	ほし、つき	そら、にじ
6:00	起床 検温・着替え	起床 検温・着替え	14:00	起床 検温	起床
7:30	授乳 自由遊び	朝食 自由遊び	14:30	授乳・離乳食	間食
9:15	職員朝礼	職員朝礼	15:00	入浴	あそび
9:30	授乳 離乳食	間食	16:00	あそび	あそび
10:00	あそび	あそび	17:00	職員終礼	職員終礼
11:30	授乳	昼食	17:30	あそび	夕食
12:00	午睡		18:30	授乳	入浴
12:30		午睡	19:00	就寝	
			20:00		就寝
			23:00	授乳	

*授乳は自律栄養を心がける

6) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
月例健診	18	16	20	18	22	19	17	14	19	16	13	13
児童・職員の保菌検査	14	12	9	14	12	8	14	10	8	13	9	9
安全管理点検	10	24	20	14	12	10	21	23	21	13	28	29
非常時避難訓練	23	30	8	21	29	19	28	24	29	22	25	8

7) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	23、24	院外保育(かみね公園)	10	14、22	院外保育(ハレニコ)
	22	スキンシップデー		15	院外保育(福祉センター)
	18	誕生会		2、23	誕生会
5	5	こどもの日の集い、初節句	11	1、17、29	スキンシップデー
	3、11	誕生会		19	いとの会
	22	スキンシップデー		31	ハローウィン
6	3、16	スキンシップデー	12	7、18、22	誕生会
	13	院外保育(福祉センター)		5、10、19、26	スキンシップデー
	16、18	院外保育(アクアワールド)		12、13、14	七五三
	21、23、25、27	スキンシップデー		28	励ます会
7	4	院外保育(アクアワールド)	1	23	クリスマス会
	7	七夕の集い		26	スキンシップデー
	15	誕生会		27	餅つき
	22	スキンシップデー	15	初詣、外食体験	
	23	花火大会	8、18	スキンシップデー	
26	高萩まつり	11、24	誕生会		
8	12、13、19、27	スキンシップデー	2	21、27、28	スキンシップデー
	24	縁日		3	節分
	26	誕生会		13、16、18	スキンシップデー
9	4	院外保育(ハレニコ)	3	11	誕生会
	8	花火大会		26、27	いちご狩り
	18、19	誕生日		27	励ます会
	23、30	スキンシップデー		3	ひな祭り
	24	院外保育(かみね公園)		3、4	いちご狩り
				17	お食い初め、お宮参り
		18	スキンシップデー		
		23	お楽しみ会		
		8、26、27	励ます会		

8) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	院長	事務	看護師	保育士	指導員	FSW	里親支	栄養士	心理士	調理員	計
団体	3	2	2	8		1	2		3		21
県社協・県北・茨児協	1	1	4	44		4	4	2	3	1	64
法人・施設	12	3	25	139		11	10	11	12	2	225
計	16	6	31	191		16	16	13	18	3	310

2. 児童構成 (R8.3.31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	3	1	3	1			8
女	0	1	6				7
計	3	2	9	1			15

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	16 [1]	15	15	16	18	18	19	19	19 [1]	19	19	18	211
入 所 うち()は初日入所			1	2		1			1		1		6
退 所 うち()は初日退所	1								1		2	3	7
月末在籍	15	15	16	18	18	19	19	19	19	19	18	15	210

4. 入院理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁			
6. " 入院			
7. " 就労		3	3
8. " 精神疾患等	2	2	4
9. " 放任・怠惰			
10. " 虐待・酷使	8	3	11
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由		3	3
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他(育児能力 若年出産等)		1	1
16. 不詳			
合 計	10	12	22

5. 退院理由別表

退 院 理 由	男	女	計
1. 家庭引き取り	1	1	2
2. 里親委託		1	1
3. 措置変更	1	3	4
4. その他			
合 計	2	5	7

6. 在院期間 (R8.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
4	5	6	0	15

7. 一時保護入所状況

延べ人数 10名
延べ日数 636日

8. ショートステイ受入状況

延べ人数 19名 (東海村、高萩市)
延べ日数 42日

9. レスパイトケア

延べ人数 0名
延べ日数 0日

10. 栄養摂取状況

1. 食費 1日当たり 650円
2. エネルギー 1,132Kcal (基準 900~1,300Kcal)
3. たん白質 36.4g (基準 29.3~65g)
4. 嗜好調査 毎月誕生月の幼児に対して実施

13. さくらの森乳児院

1) 令和8年度運営計画

令和7年度は満床に近い状態が長く続き、空きが出て入所や一時保護の受け入れで埋まってしまい、入所や一時保護・ショートステイをお断りしてしまうことが多くありました。特にショートステイの受け入れについては入所状況を踏まえながらより積極的に受け入れるよう努めていきます。

昨年度は感染症の蔓延などは少なく比較的健康的に過ごせた1年でした。今年度も看護師を中心に感染対策を行い子どもたちの健康管理に努めていき、ケアニーズの高い児童が増えてきていることを踏まえ、人員の増加や病院との連携許可を進め、受け入れ態勢の強化に努めます。また、業務で確認を怠るなどのミスが多く見られたため、子どもたちの生活の安定を図るうえでも手順の確認を徹底するなど、基本的な業務執行の見直しを進めていきます。

里親支援については、里親訪問等支援事業においてケースの増加や相談内容の複雑さから対応が逼迫している状況が見られており、関係機関と連携を図ると共に体制を強化していきます。

1 福祉サービスの質の向上

- (1) 子どもたちの安心安全の保障とその子に合った成長発達の促進
- (2) 養育マニュアルの定期的な見直しと改定
- (3) ケアニーズの高い児への対応を見据えた受け入れ態勢の構築
- (4) フォスタリング機関を中心とした里親支援の充実と体制強化
- (5) 食育の推進（仕上げ調理や手作りおやつ等の充実、誕生日のお好み献立、野菜などの栽培）

2 人材の育成

- (1) 法人・外部研修への積極的な参加と学習会の充実
- (2) 資質・意識の向上とOJT強化
- (3) 組織性を意識した人材の育成
- (4) 人事考課制度の継続実施
- (5) 同仁会乳児院やつくば香風寮との交流研修の実施

3 組織体制の確立

- (1) 第三者評価の受審
- (2) スーパーバイズ体制の活性化による養育支援の質の向上
- (3) 職員間の協力体制の強化（情報の共有・報告・連絡・相談）
- (4) 働きやすい職場を目指した業務の省力化と環境の整備

4 関係機関等との連携

- (1) 児童相談所との連携強化（保護者支援、里親支援など）
- (2) 子育て短期支援事業などでの市町村との連携・協力関係の強化
- (3) 養成校の学生の積極的な受け入れ

5 財政基盤の強化

- (1) 物価上昇などを踏まえた計画的な予算の執行と執行状況の把握
- (2) コスト意識や節約の徹底

2) 運営の概況

昨年度は入所が11名、退所が8名、一時保護が16名でした。入所児で慢性疾患を抱えている児が長期で入院し、ケアニーズの高い児の対応について外部連携をするなど看護師を中心に対処を模索してまいりました。また、一年を通じて満床の期間が長く、入所や一時保護の受け入れが難しい時期がありました。特に年度の後半は0才児の入所が続き、乳児の受け入れ時期を調整してもらうこともありました。社会のセーフティネットとして児童の受け入れが滞ることのないよう努めます。

フォスタリング事業については、受託している3事業で連携しながらより包括的な里親支援を行っています。フォスタリング事業に対する里親子のニーズも高く、業務が逼迫することもあり、より効果的に業務が進められるようにしていきます。今年度より里親委託推進等事業を受託し、4事業で連携を深め里親養育の推進に努めます。

今年度は子どもも職員も安心して過ごせる乳児院を目指して、組織的な運営基盤を築き、子どもとのより丁寧な関りを大切にしていきます。また、高機能・多機能化に向けた取り組みも進めていきます。

イ) 基本方針

乳児院における養育の基本は、乳幼児が養育者と時と場所を共有して、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に要求が満たされることである。さらに、在院期間だけの養育過程ではなく「生涯」にわたる人間形成の基礎を築き、子どもが生きる力を培い、生きがいのある人生を切り開いていく土台としての役割を担うものである。

具体的には、子どもたちの生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力する。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別的対応や、小規模グループでの養育を行う。

2. 子どもたちがよりよい生活を送ることができるよう、人的な環境の整備を行う。
3. 子ども、家庭、地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行う。
4. 心理療法担当職員が発達検査をしてその子に応じた発達支援を行うと共に、保護者対応のための助言を行う。
5. フォスタリング専門員や里親支援専門相談員を中心として地域の里親支援を行う。
6. 積極的に研修に参加して、職員の養育技術向上に努める。
7. 家庭や、地域社会との連携を密にして、豊かな人間関係の基礎を培う。
8. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行う。

ロ) 基本目標

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

- 1 S (Smile) 笑顔
常に笑顔で接する。(和顔愛語)
- 2 G (Greeting) 挨拶
常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)
- 3 N (Name) 名前
必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)
- 4 T (Thanks) 感謝
「ありがとう」の気持ちをたくさん伝える。(あなたを必要としています)

ハ) 養育目標

1. 「愛着関係」を形成する。

担当養育者を中心に、一貫性を持った養育を行う。

- 0歳・・・気持ちに寄り添ってさまざまな要求を読み取り、あるがままを受けとめ、基本的な信頼関係を育てる。
- 1歳・・・「やりたい」という気持ちの芽生えを大事にして、できた満足感を味あわせるとともに、新しい体験(初めて会う人や場所など)への不安を受けとめて、安心して行動できるように支える。
- 2歳・・・「自分で」という気持ちを大事にして、今まで培ってきた愛着関係を基盤に、まわりの物や、未知の物に自分から働きかけていけるようにゆるやかに自立を促す。

2. 基本的な生活習慣のゆるやかな確立

個々の発達段階を踏まえた養育を行う。

- 0歳・・・ミルクの自律栄養、離乳食(食べる意欲の基礎づくり)、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
- 1歳・・・食事の練習(スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる)つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への興味。
- 2歳・・・食事の自立(食の体験を広げる)、言語の獲得(単語から二語文へ、また会話ができる)、排泄の意識づけ、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。

3) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 1. 消耗品 | 2. 器具・什器 | 3. 修繕 | 4. 給食 |
| 5. 保健衛生 | 6. 被服 | 7. 教養娯楽 | 8. 日用品 |
| 9. 保育材料 | 10. 公用車管理 | 11. 防火管理 | 12. 環境美化 |
| 13. 実習生指導 | 14. ボランティア担当 | | |

2. 職員会議

1. 職員会議(管理・運営全般・・・月1回)
2. 運営会議(管理・運営全般・・・月1回)
3. 養育会議(ケース検討、養育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回)
4. 献立会議(献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回)
5. グループ会議(各グループのケース検討、養育内容等・・・月1回ずつ)
6. 連絡会議(朝・夕の業務引継・・・毎日)
7. 看護会議(看護師間の連絡調整・・・月1回 その他必要な時)
8. 職場内研修(学習会・・・月1回)

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施

月例健診・・・月1回（嘱託医 伊藤陽子先生）

保菌検査・・・年2回（江東微生物研究所）

※調理・給食・直接処遇職員は月1回

乳幼児検診・・・随時

入所時検診・・・随時

2. 身体計測の実施・・・月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）

3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨き、整髪）

4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）

5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）

6. 鍛錬（薄着の励行、ベビーマッサージ、日光浴、外気浴、体育あそび等）

7. 安全な環境の確保と十分な目配り

8. 玩具等の保安全管理点検

9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき）

10. 施設内外の危険箇所等の確認及び保全点検・・・月2回

11. 非常時（火災・地震・不審者）対策、訓練の実施・・・月1回

12. 建物設備等点検・・・業者委託（総合建物サービス株式会社・NEW NEXT CLEAN）

① 空調機保守点検（年2回）

② 換気設備保守点検（年2回）

③ 受水槽清掃・水質検査（年1回）

④ グリストラップ清掃（年2回）

⑤ 消防設備点検（機器点検・総合点検）（年2回）

⑥ 巡回設備点検（年2回）

4) 養育の展開

1. 担当養育制

- ・養育者が受けもつ子どもを決めて、入所から退所まで原則として変えない。
- ・養育者は受けもつ子どもとの愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。
- ・保護者に共感的に寄り添い子どもとの関係構築を支え、養育支援を行う。

2. 自立支援計画

- ・子どもの成長、発達を支援するため、担当養育者は2ヶ月毎に自立支援計画を作成し、評価・反省を行う。

3. 健康管理

- ・嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

4. 生活

- ・小規模グループケアを行い、個別的な対応を多く持つ。
- ・養育マニュアルを基本とし、個々の発達に応じた養育をする。

5. 日中の養育の充実

- ・年間養育目標に基づいて、豊かにあそびを展開する。
（あそびを通じて運動能力、知的発達、手指の操作性、他者との関係能力などを高めていく）

6. 行事

① 季節、伝承の行事

- ・お宮参り …… 生後1ヶ月頃
氏神様に無事に生まれた報告をし、健やかな成長を願う。
- ・氏神様へのお参り …… 生後2ヵ月以上で入所した児
氏神様に乳児院へ入所したことを報告し、健やかな成長を願う。
- ・お食い初め …… 生後3～4ヶ月
一生食べることに困らないようにという願いを込めて行う。
- ・一升餅 …… 1歳の誕生日に
1歳まで無事成長したことを祝い、これからも健やかに成長することを願って、餅（一升の米）を背負わせる。
- ・こどもの日（5月5日） ・七夕（7月7日） ・花火（7月）
- ・ハロウィンパーティー（10月31日頃）
- ・七五三（11月15日） ・クリスマス（12月22日） ・節分（2月2日）
- ・ひなまつり（3月3日） ・おたのしみ会（3月最終木曜日）

② その他の行事

- ・誕生会 …… 誕生日を迎えたその日にグループでお祝いする。

保護者の希望など状況によっては家族だけでお祝いする。

- ・動物園遠足（春） 水族館遠足（秋）
- ・スキンシップデー
社会体験の一つとして、担当養育者と外出し、公園で遊んだり、外でお弁当を食べたり、公共交通機関の利用や外食、お店見学、買い物などを体験する。また、担当養育者とお泊まり体験をして家庭的な雰囲気を味わう。
- ・つくば香風寮との交流
児童養護施設の幼児と日常的に遊びの交流を行う。また、兄姉のいる子どもに対しては、積極的に交流の場を設ける。
- ・お別れ会
乳児院を巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

7. 日課

時間	乳 児	幼 児	時間	乳 児	幼 児
5:00			13:00	めざめ あそび	
6:00	めざめ	めざめ	14:00	離乳食	めざめ おやつ
7:00	検温、授乳 あそび	朝食	15:00	あそび	あそび
8:00		あそび	16:00	あそび 入浴	
9:00			17:00		夕食
10:00	離乳食		18:00		入浴
11:00			19:00	就寝準備 就寝	
12:00	午睡	昼食 午睡	20:00		就寝準備 就寝

5) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	28	26	30	28	25	29	27	25	30	26	23	30
月 例 健 診	3	1	5	3	7	4	2	6	4	17	5	5
保 菌 検 査 (職 員)	11	16	6	11	8	5	10	7	5	9	6	6
保 菌 検 査 (児 童)						5					6	
安 全 管 理 点 検	14	12	9	8	5	8	10	14	8	13	9	10
	23	28	25	23	28	24	22	26	24	28	26	25
非 常 時 避 難 訓 練	24	24	25	12	27	13	22	26	26	28	14	14

6) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	10, 21, 22, 23 18, 25, 30	スキンシップデー かみね動物園遠足	10	2, 8, 9, 14, 16 17, 28, 31 29 18, 25	スキンシップデー ハロウィン 合同レク
5	5 28 8, 13, 19, 27, 28 17, 24	こどもの日の集い 誕生会 スキンシップデー 合同レク	11	15 4, 7, 9, 16, 21 11, 27	七五三 スキンシップデー みかん狩り
6	4, 6, 13, 20, 30 22	スキンシップデー 誕生会	12	3, 6, 10, 11, 17 21 23 28 3	スキンシップデー クリスマス会 誕生会 もちつき お食い初め
7	7 18, 24, 28 23 23 10	七夕 スキンシップデー 夏祭り 花火大会 お宮参り・お食い初め	1	16, 28 14, 3	初詣 スキンシップデー 誕生日
8	2, 3, 4 6, 8, 14, 15, 25 21	誕生会 スキンシップデー 夕涼み会	2	3 28 3, 5, 7, 10, 16, 18, 20, 24, 25, 28	節分 誕生日 スキンシップデー
9	9, 10, 17 4, 6, 12, 18, 22 4, 6, 7, 16,	水族館遠足 スキンシップデー 誕生会	3	3 5, 11 10, 18 25	ひな祭り スキンシップデー 誕生会 お楽しみ会

7) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	看護師	保育士	指導員	栄養士	心 理	調理員	計
団 体	2	2	5	30	27	3	2	2	73
県・社協		2	5	13	5	1			26
法人・施設	12	14	39	169	42	11	10	19	316
計	14	18	49	212	74	15	12	21	415

2. 児童構成 (R8. 3. 31現在)

性 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計
男	2	4	2	0	0	8
女	2	2	4	1	0	9
計	4	6	6	1	0	17

[]は停止

3. 各月初日在籍及び入退所児童

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	14	15	17	18	18	18	16	18	19	18	17	17	205
入 所 うち()は初日入所	1	2	1		1		2	1	1 (1)		1	1	11
退 所 うち()は初日退所					1	2		1	1	1	1	1	8
月末在籍	15	17	18	18	18	16	18	18	18	17	17	17	207

4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			0
2. // 行方不明			0
3. // 離婚			0
4. // 不和			0
5. // 拘禁			0
6. // 入院			0
7. // 就労			0
8. // 精神疾患等	4	4	8
9. // 放任・怠惰		1	1
10. // 虐待・酷使	6	5	11
11. 棄児			0
12. 養育拒否	2	1	3
13. 破産等の経済的理由		1	1
14. 児童の問題による監護困難			0
15. その他		1	1
16. 不詳			0
合計	12	13	25

5. 退院理由別表

退院理由	男	女	計
1. 親元解除	1	1	2
2. 里親委託	2		2
3. 措置変更	1	3	4
合計	4	4	8

6. 在院期間 (R8.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
11	5	1	0	17

7. 一時保護入所状況

人数 16名
延べ日数 802日

8. ショートステイ受入状況

つくば市 6名 下妻市 1名 ひたちなか市 1名 守谷市 1名
かすみがうら市 1名 銚田市 1名 阿見町 1名
計 12名 (延べ日数 40日)

9. 栄養投与状況

1. 食費 1日当たり 650円
2. 熱量 954Kcal (基準 933Kcal)
3. たん白質 34.1g (基準 30.3g~46.9g)

入院理由別総計表（さくらの森乳児院）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死亡			-
” 行方不明	1	2	3
” 離婚・就労			-
” 傷病・入院	2	4	6
” 精神疾患	3	6	9
” 受刑	3	3	6
” 被虐待・被冷遇	4	6	10
” 棄児・迷子		1	1
その他・未成年等	4	8	12
計	17	30	47

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	合計
父又は母の死亡	1													1
” 行方不明	1			1	1									3
” 離婚														0
” 不和	1	1	1	1										4
” 拘禁	1	2	2	3	3	2	2		1	1	1	1		18
” 入院	3	3	2	1		2								11
” 就労														0
” 精神疾患等	5	6	6	8	5	6	9	8	8	10	6	7	8	92
” 放任・怠惰	2	1	1	1			3	1	3	3	4	3	1	23
” 虐待・酷使	2	2	1	2	6	6	7	12	12	11	6	8	11	86
棄児	1	1	1			1								4
養育拒否	5	6	3	1		1			1	1	1	1	3	22
破産等の経済的理由				7	1	1	1	1	1		1		1	14
児童の問題による監護困難	2													2
その他の		7	7	2	11	7	1	1		1	2	2	1	42
不詳														0
計	24	29	24	27	27	26	23	23	24	27	21	22	25	322

※平成25年度より集計項目変更

1 4. 児童心理治療施設 内原深敬寮

1) 令和8年度運営計画

令和8年度は、内原深敬寮の新たな中・長期運営計画(後期行動計画)の4年目となりますが、計画が達成できるよう努めます。特に令和8年度は、後期中期運営計画の後半年度で、計画が達成できなかった項目の継続推進と新たな運営計画の推進を図っていきます。

また、令和7年度の第三者評価の受審を踏まえて、施設の改善点に対しての取り組みを図り福祉サービスの向上や組織体制の強化を図ります。

人材確保については、前年度職員募集に対して、求人者数に応募が満たないなど、人材確保は大きな課題となっているので、令和8年度は計画的な人材確保に努めます。

財政基盤の強化については、施設改築後13年目となることや入所児童の特性により修繕箇所が多くなっているため、計画的な予算執行に取り組んでいきます。

1 福祉サービスの向上

- (1) 施設運営改善委員会における業務改善の実施
- (2) 権利擁護意識の醸成、拡大を図る研修の実施
- (3) 退所児童の相談体制の推進を図り、今後自立担当職員の配置の検討
- (4) 児童に対する個別支援プログラムの実施
- (5) 児童自立支援計画と連動した心理療法の計画と見直しによる、適切な心理療法の実践
- (6) 施設機能の強化を進め、地域貢献に向けた取組の実施

2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価の事故評価の実施
- (2) 施設のニーズにあった、ボランティアを活用した支援の工場

3 人材の育成と人材確保

- (1) 業務改善をふまえた園内研修の実施
- (2) 法人研修への積極的参加
- (3) 職員の外部研修の計画的受講によるスキルアップ
- (4) 人材確保のため、積極的な施設PRの実施

4 財政基盤の強化

- (1) 法人計画に基づく計画的な施設積立実施等、健全な予算執行の推進
- (2) 印刷製本・水道光熱費の前年度1%の節約
- (3) 職員及び子どもたちへの節約意識の啓蒙

2) 運営の概況

令和4年度より入所定員を40名から35名に変更しましたが、更に入所率が下がって、令和7年度は暫定定員が30名となったことで、令和8年度からは入所定員を30名に変更するなど、適切な入所定員となるよう県と調整いたしました。

また、令和7年度は、入所児童の特性対応や児童間の安全確保のために、ユニット間や居室に鍵を設置するなどして、入所児童の安全配慮に努めました。

令和8年度においても、運営改善委員会で業務改善を進め、児童の権利擁護意識の醸成や児童自立支援計画と連動した支援で治療計画の推進を図ります。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

当施設は、児童心理療育施設として、福祉・医療・教育が協力・連携した総合環境療法のなかで、情緒的不適応をおこした子ども達に対して、総合・多面的に援助を行い、心の成長と自立を促して21世紀の担い手として一人ひとりが、心身ともに健やかに成長していく支援を行って行きます。

① 法人綱領、基本理念を尊重し、具体化しての実践。

子どもの権利擁護を中心に位置付け、施設の特徴をできるだけ活かした支援を実践する。

そして、それは「人権を守る」ことであり、一人ひとりの個々の問題に焦点を合わせ、的確な見立てと、最善の治療方針を模索して、治療者との人間関係を通じて情緒の改善を図っていくプロセスとなります。私たちは、子ども達に対して、常に一人の人間として尊重して対応して、心身ともに健やかな成長を育める環境を造ってまいります。

② 安心して生活できる場、再育的関わり。

施設が安心できる場所となり、子ども達が本来体験し発達の文脈にそくして成長する機会を保障できる生活環境を整備してまいります。

③ 福祉・医療・教育・の3部門の連携・協力

子ども達の持つ課題に対して、3部門が協力（チームアプローチ）して多角的な視点と総合的な関わりによって、最善の支援を行ってまいります。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布 施 （人にやさしく、感謝の心をもって生きる）

- (1) やさしき・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 （約束やきまりを守って生きる）

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智 慧 （目標を持ってたくましく生きる）

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 内原深敬寮での実践において、権利擁護を中心に位置づけ、子どもとの人間関係を大切にしてい、「生きる力」を大きく培える支援を実践します。

【あなたのことを知っています】

かならず名前を呼ぶことで、子どもであっても個人として尊重します。

【あなたに関心があります】

挨拶は人間関係を築く最初の基本であり、常に明るく挨拶を心掛けます。

【あなたを必要とします】

ありがとうの言葉は、一人の人間お互いに尊重できる言葉であり、常にその環境を造っていきます。

ハ) 支援目標

1. 児童支援の向上

- (1) 児童の安定 （安心して落ち着いた生活が送れる）
- (2) 日常生活の援助指導 （規則正しい生活リズムを作る）
- (3) 個性の尊重 （個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする）
- (4) 学習指導の強化 （基礎学力の向上と進路指導）
- (5) 自立支援 （児童自立支援計画に基づいた援助）
- (6) 家庭との連携 （家庭通信・帰省・面会・行事への参加）

ニ) 学習指導

(1) 目 的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

(2) 内 容

・自ら学習計画を作成し、自主的な学習につなげる。

ホ) 環 境（安全・保健・環境）

(1) 目 的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。（毎月安全委員会開催）

(2) 内 容

- ・手洗い・消毒の習慣化
- ・清潔感を養う（服装、身体）衛生検査の実施（身体、頭髪、爪、耳垢等）
- ・入浴指導の徹底
- ・定期検便の実施
- ・年齢による段階的な洗濯の習慣化
- ・環境整備（施錠、補修、整備、整理整頓）
- ・安全点検日（職員が安全面の定期点検をする）
- ・非常時（火災、地震）対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底（自転車、点検、補修）

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 職員会議 …………… 月 1 回
- (2) 給食会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース会議 …………… 月 1 回
- (4) インテーク会議 …………… 月 2 回

- (5) 担当者会議 …………… 月 1 回
- (6) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後
- (7) 分教室連絡会議 …………… 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

- ア. 室内外の消毒（オスバン） …………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 …………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒（日光消毒） …………… 毎 日
- エ. 浴場消毒（オスバン） …………… 週 1 回
- オ. 食器消毒（熱 風） …………… 毎 日
- カ. 残留塩素調査 …………… 毎 日

(2) 身体衛生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 2月21日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 3ヶ月に2回
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安全管理

- ア. 電気設備の検査（関東電気保安協会） …………… 月 1 回
- イ. 火災報知器の検査（アース防災㈱） …………… 7月10日 1月9日

(4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 交通安全指導（自転車通学・通塾時）
- ウ. 環境整備（毎月第2水曜、第4水曜）

5) 児童の支援計画

◎学習指導について

1. 基礎学力養成のためのドリル学習
2. 平日の学習について … 帰園後に実施するのが通常であるが、児童の状況によって変更もある。
3. 場 所 …… 食堂・居室・学習室
4. 意欲、目標を持ち自分から学習する習慣
5. 学校の準備、後片付けの徹底

◎心理療法について

1. 個人心理療法実施 … 週1回（45分）
2. グループワーク … 年間計画により実施（小学生7回、中学生7回）
3. 家族療法事業による個別心理療法の実施

◎生活支援について

毎日の基本的な生活習慣を身につけるほか、集団生活の中での適応力を育てることで温かい人間関係が持てるよう援助する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・管理を児童の年齢や状況に応じて経験させ、その指導を行う。
2. 誕生日について
 - ・誕生日プレゼントを用意し、ケーキを囲んで皆で祝う。
 - ・誕生日会は児童の誕生日の夕食時に行う。
 - ・夕食のメニューは誕生者の希望するもの。
3. お年玉について
 - ・未帰省児童に支給
4. 子ども会議の育成
 - ・職員・児童が一緒になっての年間行事等の協議・検討。
 - ・意見箱の設置

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
7:00	起床・清掃・洗面	起床・清掃・洗面	16:00	宿題 グループ活動 自由時間	グループ活動
7:20	朝食		18:00	夕食	夕食
8:20	登校 (セラピー)	朝食	19:00	入浴	入浴
9:00	昼食	清掃 自由遊び	20:00	テレビ視聴	テレビ視聴
11:00	帰園	昼食	21:00	就寝 (小学校低学年)	就寝 (小学校低学年)
12:00	昼食		21:30	就寝 (小学校高学年)	就寝 (小学校高学年)
13:30	登校 (セラピー)	自由遊び	22:00	就寝(中学生)	就寝(中学生)
14:00	帰園				
15:00	おやつ	おやつ			

6) 令和7年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	30	31	30	31	31	30	31	28	26	30	27	31
保 菌 検 査 (児 童)						1					2	
保 菌 検 査 (職 員)	1	1	2	1	1	1	1	4	1	5	2	2
安 全 管 理 点 検	9	14	11	9	27	10	8	12	10	14	18	4
非 常 時 避 難 訓 練	26	24	28	26	23	27	25	22	20	24	28	14

7) 令和7年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	高校入学式	10	13	男子おやつ作り
	9	分教室中学校入学式		21	男子誕生会
	15	男子誕生会	11	2	男子誕生会
	27	女子誕生会		23	男子外食
5	3~6	男子グループ外食		29	女子遠足(那須ハイランド)
	6	女子未帰省児レク		30	女子誕生会
	6	女子おやつ作り	12	25	クリスマス会
	25	女子誕生会		31	大晦日
6	11	男子誕生会	1	2	男子初詣(水戸市有賀神社)
	15	男子おやつ作り		5	女子初詣(水戸東照宮)
	30	女子誕生会		11~12	女子未帰省児レク(牛久市)
7	23~24	女子映画鑑賞会		14	男子誕生会
	27	女子誕生会		23~24	女子未帰省児レク(土浦市)
	29	男子誕生会		25	女子誕生会
	30	男子プール(銚田市)	2	3	節分
8	4~5	女子グループキャンプ(城里)			7
	5	男子プール(銚田市)		11	男子おやつ作り
	16	男子・女子夏祭り(内原地区)	3	7~8	女子未帰省児レク(つくば市)
	19	女子映画鑑賞会		25	男子卒業・進級を祝う会
31	女子誕生会	26		女子卒業・進級を祝う会	
9	21	女子映画鑑賞会		29	女子誕生会
	23	男子未帰省児レク(水戸市)		30	男子誕生会
	30	男子誕生会		30~31	女子未帰省児レク(つくばみらい)

8) 令和7年度資料

1. 職員の研修

	園長	事務	指導員	保育士	栄養士	調理員等	看護師	セブピスト	計
県・社協			3	2			1	1	7
団体	2	2	20	1	3			6	34
法人・施設	3	4	172	22	5	7	11	42	266
計	5	6	195	25	8	7	12	49	307

2. 児童構成 (R8.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3			
男									1	1	1		2	4	1	1	2				13
女												1	1	2	5	2	1				12
計									1	1	1	1	3	6	6	3	3				25

3. 各月初日在籍及び入退園児童 (入所)

[]内は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	29	30	30	29	28	28	28	28	28	28	29	29	344
入所 うち()は初日入所	1	1	1	1		1				1			6
退所 うち()は初日退所		1	2	2		1						4	10
月末在籍	30	30	29	28	28	28	28	28	28	29	29	25 [1]	340

4. 各月初日在籍及び入退園児童 (通所)

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	32
入所 うち()は初日入所													
退所 うち()は初日退所								1					1
月末在籍	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31

5. 男女別問題行動別在籍児童数 別紙1参照

6. 退園理由別表 (入所)

退園理由	男	女	計
1. 自立(就職)	1	2	3
2. 進学(専門学校)		2	2
3. 措置変更		1	1
4. 家庭引取り	3	1	4
合計	4	6	10

7. 在園期間 (R8.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
5	14	3	3		25

8. 一時保護の受入状況

人数 0名
延べ日数 0日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施、年1回記述アンケートにより実施

- | | | | |
|---------|-------|------------|--------------------|
| 1. 食費 | 1日当り | 1,112円 | (原材料費) |
| 2. 熱量 | 小学生 | 2,082 Kcal | (基準 2,221 Kcal) |
| | 中学生 | 2,417 Kcal | (基準 2,474 Kcal) |
| 3. たん白質 | 小学生 | 68.2g | (基準 72.2g ~111.0g) |
| | 中・高学生 | 79.9g | (基準 80.4g ~123.7g) |

入園児童の出身地別の推移（内原深敬寮：通所含む）

児相年	年度																合計	
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
中	北茨城市				1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	15	
	高萩市									1	1	1	1	1	1		6	
央	日立市	1	1	2	2	1	1	3	3	3	4	4	3	2	2	1	2	35
	ひたちなか市			2	1	1	2	2	4	3	3	1						22
	常陸太田市			1	1	1	2	2	1	2	1	3	2	1	2	1	1	22
	常陸大宮市			3	1	1												5
児	笠間市	1	1	3	4	3	2	2	1	3	2	1	1	1	1	1	1	26
	久慈郡			1									1	2	2	1	1	12
	東茨城郡			1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	17
童	西茨城郡	1	1	4	3	3	1	2	2	3	1	2	3	3	3	3	2	37
	那珂郡			4	6	4	5	3	7	5	8	7	4	3	3	5	8	82
	鹿嶋市			1	2	1	2	1	2	1	1	2	2	2	2	3	2	20
相	行方郡			2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	水戸市				2	2												7
	鹿嶋市																	5
談	那珂市																	6
	茨城町									1	3	2						6
	城里町			1	2	2	1											1
	大洗町			1	3	2	1						1	2	2	1	2	18
	大子町																	5
所	東海村			1	2					1	1							5
士	小計	3	11	24	25	21	24	23	23	24	28	28	23	19	18	21	20	362
浦	土浦市	1	3	3	2	4	3	1	2	1	2	4	7	7	5	8	7	71
	石岡市																	-
児	龍ヶ崎市																	10
	取手市	1	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	4	2	24
	牛久市	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	4	2	1	1	1	1	19
童	つくば市	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	3	2	20
	つくばみらい市			1	1													4
相	かすみがうら市	1	2	1	1													2
	稲敷市									1	1	1	1	1	2	4	3	13
	筑波郡																	8
談	北相馬郡			4	4	3	2	2	2	2	3	1	1	1	2	2	1	34
	阿見町																	-
	美浦村			2	2	2	2	1										9
	利根町																	-
所	小計	4	9	10	8	13	8	8	7	8	12	15	13	16	19	22	21	214
下	水海道市			1	1	1												6
館	下館市	1	1	3	4	3	3											25
児	古河市			1	1													11
童	結城市	1	2	2	1	1	1											7
	下妻市																	-
相	岩井市																	7
	真壁郡	1	1	1	1	2	1	1										10
談	結城郡																	2
	猿島郡	1	1															-
所	小計	2	5	7	8	6	9	7	3	1	1	3	3	4	3	3	4	68
計	9	25	34	37	43	47	36	35	31	32	39	46	45	42	41	43	45	644

※平成17年度より市町村合併等整理のため別表

男女別問題行動別在籍児童数（1名3カウントまで）

領域	愁訴や問題の内容	男			女			計					
		入	所	通	所	小	計	入	所	通	所	小	計
総 数		51	6	57	54	3	57	105	9	114			
I 対人関係の問題	1. 内気、小心、孤立、いじめられなど												
	2. 癩癩、衝突、いじめなど	4	1	5	1		1	5	1	6			
	3. 場面緘黙や寡黙、極端な羞恥など				1		1	1		1			
	4. 対人恐怖、醜形恐怖、自己臭恐怖など												
	5. 過剰反応、気の遣いすぎなど												
	6. その他		2	2	1		1	1	2	3			
II 社会生活の問題	1. 盗み、暴力行為、放火など	1		1				1		1			
	2. 喫煙、シンナー、薬物乱用等の嗜好												
	3. 性をめぐる問題および行動化				3		3	3		3			
	4. 自傷行為、希死念慮～自殺企図	1		1	3		3	4		4			
	5. 事故、災害、犯罪被害												
	6. その他												
III 学校生活の問題	1. 学校恐怖ないし登校拒否	3		3	2		2	5		5			
	2. 学校怠けおよびその傾向												
	3. 級友や教師とのもめ事												
	4. 情緒不安定や落ち着きの無さ、協調の無さ	1		1	3		3	4		4			
	5. 校内での暴力、破壊行為	1		1				1		1			
	6. 学業不振				2		2	2		2			
	7. その他												
IV 家庭生活の問題	1. 家族関係の欠乏や過剰、不和	6		6	6		6	12		12			
	2. 家庭崩壊やその傾向												
	3. 被虐待やそのヒストリー	8	1	9	13	1	14	21	2	23			
	4. 家族の事故や喪失				1		1	1		1			
	5. 居場所のなさ、徘徊、放浪、家出など	1		1	3		3	4		4			
	6. 激しい反抗や暴力	10		10	3		3	13		13			
	7. 家庭内での嘘や盗みなど				1		1	1		1			
	8. その他					1	1	1	1	1			
V 習癖上の問題	1. 頻尿・遺尿・遺糞など排泄上の問題	1	1	2	1		1	2	1	3			
	2. チックや汚言症												
	3. 吃音、早口症、書痙												
	4. 抜毛症、爪噛み、身体いじり				1		1	1		1			
	5. 洗手強迫、強迫行為、儀式行動など												
	6. その他		1	1					1	1			
VI 心身・身体症状	1. 拒食、過食、肥満、異食などの食行動異常												
	2. 腹痛、下痢、嘔吐など消化器症状												
	3. 不眠、夢中遊行などの睡眠障害												
	4. 頭痛、他諸種の疼痛												
	5. 失神、過呼吸、視力低下、失失歩など												
	6. 喘息・湿疹などのアレルギー症状												
	7. 低身長や第二次性徴などの身体的発達の遅れ												
	8. てんかん発作												
	9. その他												
VII 精神症状	1. 抑鬱気分、不全感など												
	2. 怒りっぽさ、興奮、パニック	2		2				2		2			
	3. 感情易変性	1		1	1		1	2		2			
	4. 不安、緊張、過敏、怯え				1		1	1		1			
	5. 恐怖症、強迫観念												
	6. 妄想様念慮、異常体験												
	7. アパシー、無為、引きこもり												
	8. 解離性症状												
	9. その他												
VIII 発達上の問題	1. 注意転動性、過反応性、多動性	6		6	2		2	8		8			
	2. 特定学習能力の障害												
	3. 微細協調運動の不器用												
	4. 自閉症近縁の自己中心性や関われなさ	5		5		1	1	5	1	6			
	5. 構音障害、言語発達の遅れ												
	6. 知能のムラや遅れ				5		5	5		5			
	7. その他												

令和8年度当初予算書

単位：千円

合 計	本 部	臨海学園	同仁会乳 院	同仁東保学園			同仁会児 童家庭支 援セン ター	同仁会子 どもホー ム	くれよん クラブ高 萩	内原和敬寮		内原深敬寮	児童家庭 支援セン ター あ いびー	つくば香 風寮	さくらの 森 乳児院	COLORS つくば
				同仁東保 学園	ゆうゆう クラブ	地域子育て 支援センター				内原和敬寮	和の家					
事業活動収入	715	281,982	277,638	207,342	12,470	9,902	63,334	193,492	35,641	295,490	24,397	313,287	88,882	341,522	355,409	36,700
施設設備等収入	0	0	0	4,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動収入	20,290	422	4,596	15,000	3,500	0	5,000	434	10,000	350	0	530	0	0	0	2,682
収入合計	21,005	282,404	282,234	226,342	15,970	9,902	68,334	193,926	45,641	295,840	24,397	313,817	88,882	341,522	355,409	39,382
事業活動支出	21,267	264,559	256,392	219,948	16,698	14,703	68,929	189,320	45,781	259,135	20,536	293,660	86,362	304,048	323,211	39,163
施設設備等支出	0	0	540	40,170	0	0	200	0	0	14,900	0	17,924	4,395	11,956	4,863	0
その他活動支出	448	6,498	26,543	4,799	81	80	449	1,027	231	21,384	116	1,510	413	4,434	26,802	219
支出合計	21,715	271,057	283,475	264,917	16,779	14,783	69,578	190,347	46,012	295,419	20,652	313,094	91,170	320,438	354,876	39,382
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引残高	△ 710	11,347	△ 1,241	△ 38,575	△ 809	△ 4,881	△ 1,244	3,579	△ 371	421	3,745	723	△ 2,288	21,084	533	0

前期末支払資金残高	519,467	10,967	70,257	81,215	58,735	1,135	7,448	1,810	49,657	6,841	85,462	6,201	3,085	27,508	91,716	3,000
当期末支払資金残高	510,780	10,257	81,604	79,974	20,160	326	2,567	566	53,236	6,470	85,883	9,946	797	48,592	92,249	3,000

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

社会福祉法人 同 仁 会

I 資産の部	3,997,792,173円
1 流動資産	777,296,009円
ア 現金	2,211,325円
イ 預金	332,125,060円
ウ 有価証券	0円
エ 事業未収金	367,457,679円
オ 未収金	367,730円
カ 未収補助金	68,720,264円
キ 貯蔵品	531,006円
ク 立替金	517,184円
ケ 前払金	3,946,937円
コ 前払費用	1,418,824円
2 固定資産	3,220,496,164円
(1) 基本財産	2,419,039,112円
ア 土地	175,771,332円
イ 建物	2,243,267,780円
(2) その他の固定資産	801,457,052円
ア 土地	96,138,598円
イ 建物	239,698,599円
ウ 構築物	59,493,047円
エ 機械及び装置	719,057円
オ 車輛運搬具	558,409円
カ 器具及び備品	48,272,979円
キ 建設仮勘定	0円
ク 権利	767,843円
ケ 長期貸付金	370,000円
コ 退職給付引当資産	113,898,520円
サ 施設整備等積立資産	131,900,000円
シ 建設積立資産	40,000,000円
ス 保育所施設・設備整備積立資産	15,000,000円
セ 損害賠償積立預金	50,000,000円
ソ 備品等購入積立預金	3,000,000円
タ 進学支援積立資産	1,640,000円
II 負債の部	873,158,833円
1 流動負債	413,553,313円
ア 事業未払金	162,031,312円
イ その他の未払金	89,553,599円
ウ 1年以内返済予定設備資金借入金	50,129,000円
エ 預り金	200,000円
オ 職員預り金	3,251,902円
カ 前受金	40,500円
キ 賞与引当金	108,347,000円
2 固定負債	459,605,520円
ア 設備資金借入金	345,707,000円
イ 退職給与引当金	113,898,520円
III 差引正味財産	3,124,633,340円

資 金 収 入 支 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

単位：千円

	合 計	法人本部	臨海学園	同乳児院	同保育園	同仁児童養育施設	東くれよんクラブ	児童家庭支援センター	同仁子どもホーム	内原和敬寮	あいびー	内原深敬寮	つくば風寮	くばさくらの森乳児院	COLORS
事業活動収入 (1)	2,476,951	1,070	282,091	293,441	244,164	35,522	60,389	202,242	326,533	75,313	283,675	279,303	356,508	36,700	
事業活動支出 (2)	2,229,619	19,810	245,882	238,304	231,858	44,660	63,599	182,546	261,310	67,496	285,639	257,083	295,180	36,252	
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	247,332	△ 18,740	36,209	55,137	12,306	△ 9,138	△ 3,210	19,696	65,223	7,817	△ 1,964	22,220	61,328	448	
施設整備等による収入 (4)	47,368											47,368			
施設整備等による支出 (5)	180,227		3,265	3,226	3,484		540	2,643	18,800	5,146	21,415	112,484	8,507	717	
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 132,859	0	△ 3,265	△ 3,226	△ 3,484	0	△ 540	△ 2,643	△ 18,800	△ 5,146	△ 21,415	△ 65,116	△ 8,507	△ 717	
その他活動による収入 (7)	84,008	40,120	42	752	1,047	10,000		129	409		1,049	30,000		460	
その他活動による支出 (8)	134,146	20,444	1,315	51,441	1,409	230	3,422	948	1,468	8,315	1,442	1,830	41,691	191	
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 50,138	19,676	△ 1,273	△ 50,689	△ 362	9,770	△ 3,422	△ 819	△ 1,059	△ 8,315	△ 393	28,170	△ 41,691	269	
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	64,335	936	31,671	1,222	8,460	632	△ 7,172	16,234	45,364	△ 5,644	△ 23,772	△ 14,726	11,130	0	
前期末支払資金残高 (11)	457,883	10,470	37,843	76,487	62,009	7,123	8,666	34,696	46,119	9,095	40,974	43,982	77,419	3,000	
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	522,218	11,406	69,514	77,709	70,469	7,755	1,494	50,930	91,483	3,451	17,202	29,256	88,549	3,000	

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

貸借対照表

令和8年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	777,296	656,815	120,481	流動負債	413,554	346,978	66,576
現金	2,211	1,614	597	事業未払金	162,031	195,123	-33,092
預金	332,125	234,443	97,682	その他の未払金	89,554	357	89,197
事業未収金	367,458	333,278	34,180	1年以内返済予定設備資金借入金	50,129	50,129	0
未収金	368	363	5	預り金	200	130	70
未収補助金	68,720	76,281	-7,561	職員預り金	3,252	3,285	-33
貯蔵品	531	1,041	-510	前受金	41	37	4
立替金	517	418	99	賞与引当金	108,347	97,917	10,430
前払金	3,947	5,756	-1,809				
前払費用	1,419	3,621	-2,202				
				固定負債	459,605	501,318	-41,713
固定資産	3,220,496	3,152,710	67,786	設備資金借入金	345,707	395,836	-50,129
基本財産	2,419,039	2,387,022	32,017	退職給付引当金	113,898	105,482	8,416
土地	175,771	169,809	5,962				
建物	2,243,268	2,217,213	26,055	負債の部合計	873,159	848,296	24,863
その他の固定資産	801,457	765,688	35,769				
土地	96,139	102,101	-5,962	純 資 産 の 部			
建物	239,699	248,630	-8,931	基本金	49,038	49,038	0
構築物	59,493	59,137	356	基本金	49,038	49,038	0
機械及び装置	719	535	184	国庫補助金等特別積立金	1,219,310	1,222,116	-2,806
車両運搬具	558	594	-36	その他の積立金	241,540	200,440	41,100
器具及び備品	48,273	48,540	-267	施設整備等積立金	131,900	113,900	18,000
権利	768	39	729	建設積立金	40,000	20,000	20,000
長期貸付金	370	190	180	保育所施設・設備整備積立金	15,000	15,000	0
退職給付引当資産	113,898	105,482	8,416	備品等購入積立金	3,000	0	3,000
施設整備等積立資産	131,900	113,900	18,000	損害賠償積立金	50,000	50,000	0
建設積立資産	40,000	20,000	20,000	進学支援積立金	1,640	1,540	100
保育所施設・設備整備積立資産	15,000	15,000	0	次期繰越活動増減差額	1,614,745	1,489,635	125,110
備品等購入積立資産	3,000	0	3,000	次期繰越活動増減差額	1,614,745	1,489,635	125,110
損害賠償積立資産	50,000	50,000	0	(うち当期活動増減差額)	166,210	184,012	-17,802
進学支援積立資産	1,640	1,540	100	純資産の部合計	3,124,633	2,961,229	163,404
資産の部合計	3,997,792	3,809,525	188,267	負債及び純資産の部合計	3,997,792	3,809,525	188,267

注 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

令和 8 年度事業概要

令和 8 年 6 月 1 8 日発行 (850部)

発行者 社会福祉法人 同 仁 会
理事長 塩 澤 幸 一
〒318-0011 茨城県高萩市肥前町1-80
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260
ホームページ <https://doujinkai.or.jp>
